

少子高齢化時代の 地域コミュニティの在り方を探る

地域は何を望んでいるか？ ～住民アンケート調査から見てきたこと～

最 終 報 告 書

(平成 31 年 3 月 31 日)



厚田区地域協議会
住民アンケート会議

目 次

I. はじめに	1
II. 住民調査に至る経緯	2
III. 住民アンケートの分析結果	9
IV. 分析結果を踏まえた提言	66
V. おわりに	79
VI. 資料編	
1. アンケート用紙	81
2. 問12の（自由回答）	86
3. 厚田区への想い、意見（自由回答）	101

I. はじめに

厚田村は平成 17 年、石狩市との合併により自治区（厚田区）となり、地域協議会が設置されました。地域住民で組織された地域協議会は、行政との協働により地域課題を洗い出し、その解決に向けた検討が行われ、“地域でできることは地域で”を合言葉に活動を行い、幾つかの活動団体が軌道に乗り、それぞれの組織が点から線へ結ばれ、活動範囲も厚田区全体へと広がりを見せています。

住民の繋がりが地域活動へと発展し、その活動が認められ「重点道の駅」が昨年（平成 30 年）4 月オープンしました。“近説遠来”（地域住民喜ぶて暮らせば、遠方より人々集まり活気あふれる）という地域の夢が道の駅石狩「あいろーど厚田」によって現実のものとなりました。この実現は、“近説遠来”という地域活性化への扉の一つ“遠来”（交流人口の増加）を開いたことになります。「あいろーど厚田」はオープンから僅か 5 カ月で 50 万人もの人々を迎えることが出来ました。

近説遠来のもう一方の扉は、“近説”＝「地域住民喜ぶて暮す」です。

少子高齢化の波は、相変わらず過疎化に拍車をかけ、地域課題の解決を年々難しいものにしていきます。地域活性化に向けた努力は今後も続けられ、住民と行政との協働が試されています。今一度“地域でできることは地域で”の合言葉を掲げ、住民と行政との良好な関係をイメージしながら、住みよい快適な地域・厚田を残す努力を続けることによって、少子高齢化時代の新たなコミュニティである住民自治組織の誕生を実現する必要があります。

近説遠来の二つ目の扉、少子高齢化時代のコミュニティの扉を開くために、住民アンケートを実施しました。住民アンケート会議では、15 歳以上の地域住民の皆様に、様々な地域課題について、率直な意見をお聞きして、厚田区の一人でも多くの皆様に地域課題を共有していただきたいという理由で実施いたしました。そこには、「自分のできること（自助）から地域で出来ること（共助）へ、そして行政が行う政策（公助）へと輪を広げ、住みよい地域を後世に残したい」という願いが込められています。

2 月に実施したアンケートの集計結果は、8 月の中間報告を受けて、各自治会長、各町内会長および各地域団体への説明と検討を重ね、最終報告書といたしました。

厚田区地域協議会 住民アンケート会議
座長 河合 徳秋

Ⅱ．住民調査に至る経緯

1．厚田区地域協議会を中心とした主な活動経過

- 平成 17 年：厚田村、石狩市と合併
厚田区地域協議会（第 1 期）スタート
- 平成 18 年：厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」発足
地域協議会にワーキンググループ「地域交通分科会」発足
- 平成 19 年：地域協議会（第 2 期）
- 平成 20 年：あつたの森支援の会「やまどり」発足
NPO 法人「あつたライフサポートの会」設立（「地域交通分科会」より発展）
- 平成 21 年：地域協議会（第 3 期）
あつた資料室リニューアル構想策定協議会 発足
- 平成 22 年：地域協議会にワーキンググループ「地域教育分科会」発足
厚田資料室リニューアル・オープンに伴い、「あつた資料室リニューアル構想策定協議会」が
「厚田資料室サポートの会」に名称変更
厚田アクアレール実行委員会 発足
- 平成 23 年：地域協議会（第 4 期）
- 平成 24 年：厚田こだわり隊 発足
北の海「厚田アクアレール」第 1 回水彩画展 開催
「あい風図書館」オープン
- 平成 25 年：地域協議会（第 5 期）
地域協議会にワーキンググループ「複合施設建設構想策定委員会」発足
- 平成 26 年：地域おこし協力隊 第 1 期生（2 名）着任
- 平成 27 年：地域協議会（第 6 期）
複合施設構想が「重点道の駅」に選出
- 平成 28 年：複合施設「道の駅」の検討
「厚田ふるさと平和・文学賞」創設
- 平成 29 年：地域協議会（7 期）
地域おこし協力隊 第 2 期生（2 名）着任
- 平成 30 年：道の駅石狩「あいロード厚田」オープン
地域おこし協力隊 第 3 期生（1 名）着任

2．厚田区が目指す「近説遠来」の具現化・実現化に向けた取り組み

「近説遠来」とは、「住んでいる人々が喜んで暮らしていると、うわさを聞きつけ、遠くからも人々が集まり活気にあふれる」という意味です。この孔子の言葉をまちづくりに置き換えると、厚田を訪れた人々が「景色も良い、食べ物も美味しい、人も親切、この地に住んでみたい」と言ってもらえる地域づくりを目指すということです。

(1)「近説遠来」の実現

近説＝「厚田に住んでいる人々が喜んで暮らしている」＝「厚田は良いところ、暮らしを見たい！」

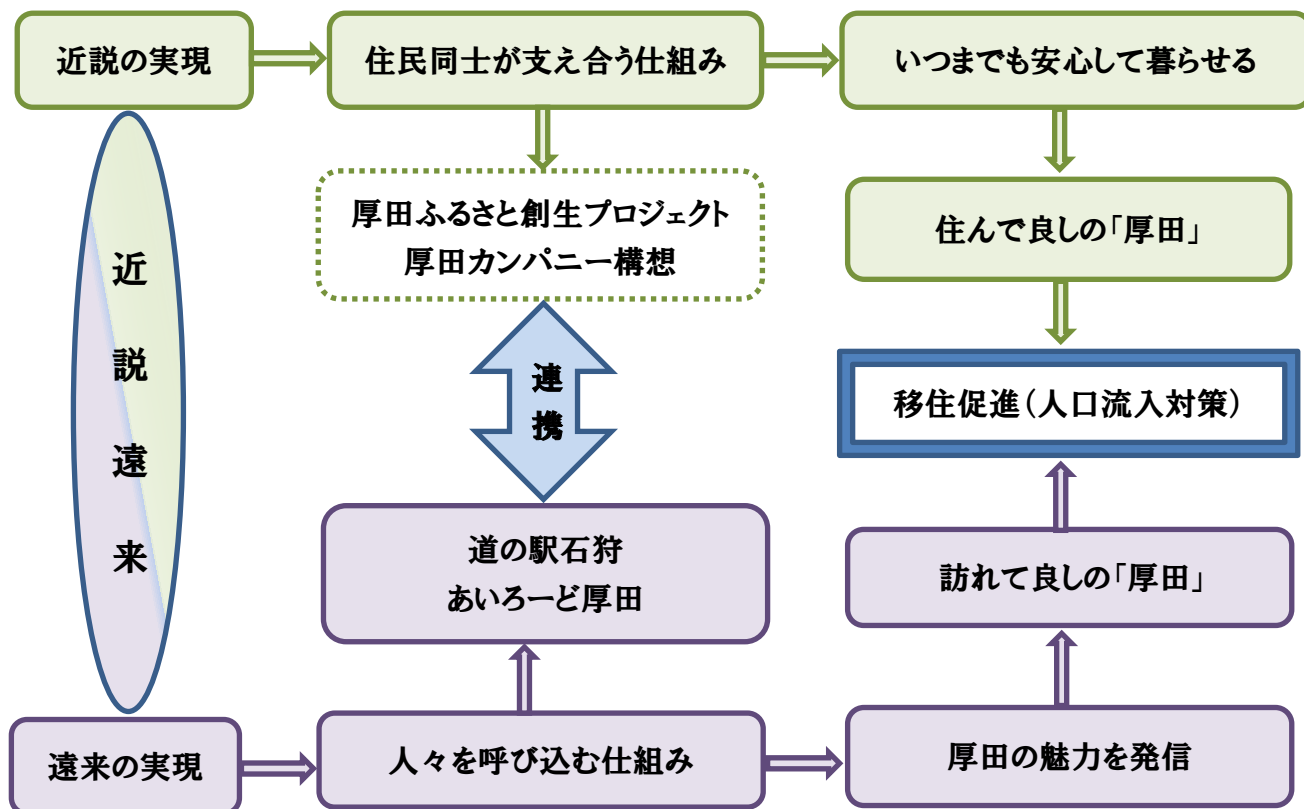
厚田に住む人々が、自信をもって言える、そんな地域のキャッチフレーズが「**住んで良し**」

遠来＝「厚田区外から多くの人々が訪れる」＝「景色が素晴らしい！ 食材が新鮮で何を食べてもおいしい！

住民も親切だ！ 自然に恵まれ、子どもの教育環境として最高！ 行ってみたい！」

キャッチフレーズが「**訪れて良し**」

近説遠来の実現が地域活性化・地域創生に繋がる



道の駅に 50 万人もの
人が来たんだって、
驚いたね！！

厚田の魅力を知
って、ここで暮
らす人が増える
と、にぎやかにな
るのにね！！

魅力ってなに？
厚田に住んでいる人
は、どう思っている
んだろう？
聞いてみたいね！！



(2) 道の駅石狩「あいろーど厚田」と「厚田カンパニー構想」

① 時代背景：急速に進む少子高齢化問題

- ・ 2025 年問題 ⇒ 団塊世代が全て 75 歳以上となり、社会保障費が膨張
- ・ 2040 年問題 ⇒ 団塊ジュニア世代が全て 65 歳以上、大量退職者で後継者不足
全国自治体の半数近くが「消滅の危機」（日本創生会議）

6 年先（2025 年問題）と 21 年先（2040 年問題）は避けられない！！

- ・ 地域協議会 ⇒ 合併後、厚田では地域の声を生かし、住民自らが地域活性化に向けた企画、提案を行い、協働の取り組みが進められてきた。
- ・ 協働の取り組みから生まれた地域振興団体 ⇒ 厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」、あつたの森支援の会「やまどり」、NPO 法人あつたライフサポートの会、厚田資料室サポートの会、地域教育分科会、厚田アクアレール実行委員会、厚田こだわり隊、地域賑わい呼びおこし隊、「厚田ふるさと平和・文学賞」実行委員会

協働の取り組みが国交省に認められ「重点道の駅」に選定される

- ・ 観光分野での集客数 ⇒ 道の駅 50 万人（9 月 27 日現在、オープンから 5 ヶ月）
キャンプ場 5,000 人／年（5 月～10 月）
朝市 24,000 人／年（4 月～10 月）
海浜プール 12,000 人／シーズン（30 日間）
パークゴルフ 9,000 人／シーズン（5 月～10 月）
戸田墓苑（桜の時期）40 万人／5 月中旬

年間 100 万人以上の人々が厚田を訪れる（「交流人口」を「流入（定住）人口」へ）

- ・ 厚田区の人口推移 ⇒ 厚田区の将来人口シミュレーション結果(超簡易推計)

地区	H17.10	H24.10	H29.4	H34.4	H39.4	H44.4
厚田	745	586	492	388	330	269
濃昼	12	8	6	4	3	3
小谷	98	83	43	39	38	32
古潭	74	56	54	41	37	30
聚富	377	331	281	251	225	198
虹が原	481	406	360	340	326	286
別狩	357	314	287	266	240	214
嶺泊	51	27	25	17	15	13
望来	565	430	393	328	290	243
安瀬	19	13	8	5	5	5
厚田区計	2,779	2,254	1,949	1,679	1,509	1,293

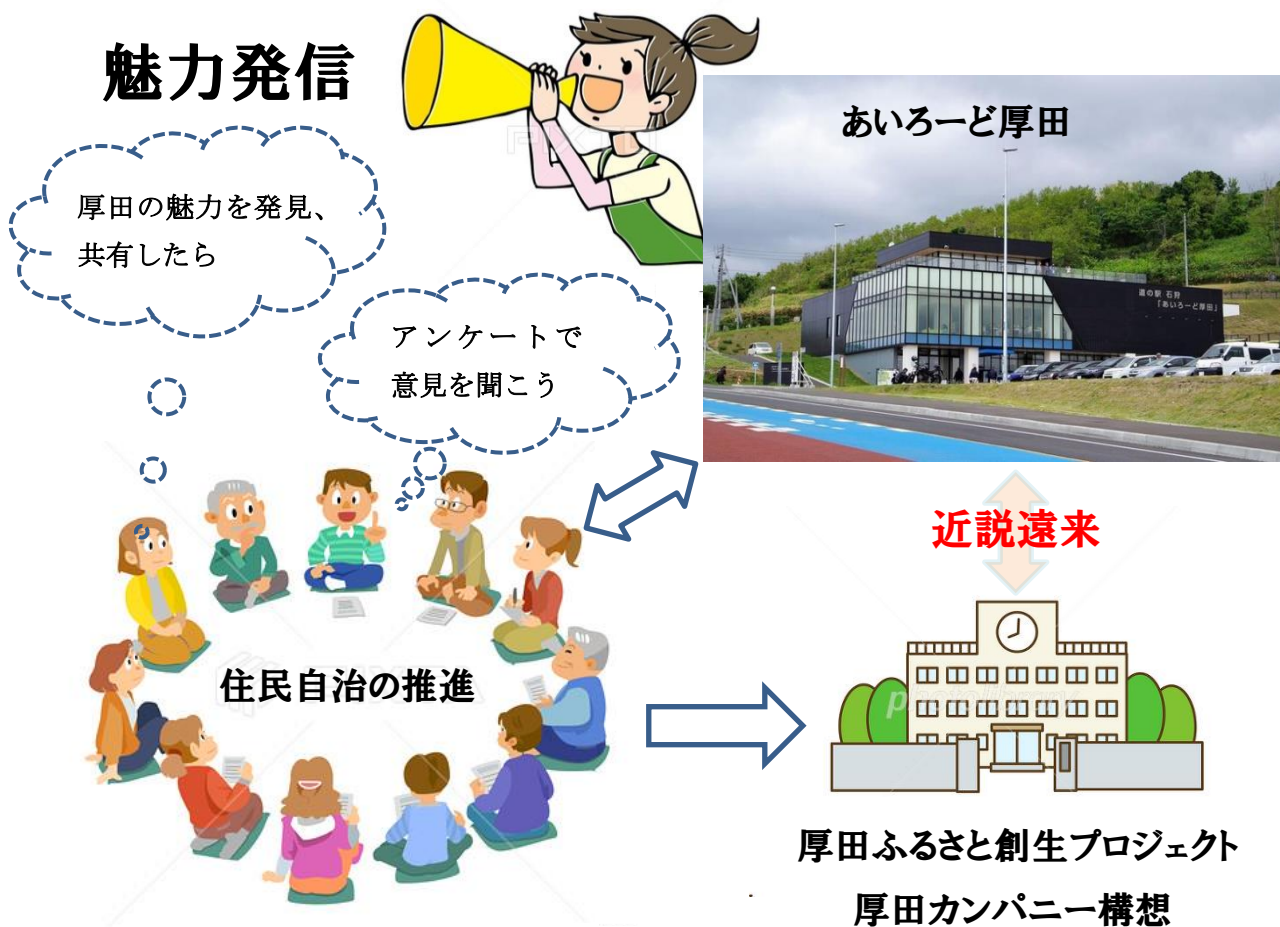
・厚田区の65歳以上の人口推移 ⇒ 厚田区の将来人口シミュレーション結果(超簡易推計)

地区	H17.10	65歳以上	H24.10	65歳以上	H29.4	65歳以上	H34.4	65歳以上	H39.4	65歳以上	H44.4	65歳以上
厚田	293	39%	276	47%	268	54%	207	53%	184	56%	146	54%
濃屋	7	58%	5	63%	4	67%	2	50%	2	67%	3	100%
小谷	18	18%	18	22%	11	26%	7	18%	8	21%	5	16%
古潭	39	53%	32	57%	32	59%	20	49%	19	51%	13	43%
聚富	109	29%	106	32%	119	42%	110	44%	100	44%	97	49%
虹が原	56	12%	79	19%	116	32%	136	40%	165	51%	158	55%
別狩	77	22%	104	33%	101	35%	101	38%	91	38%	80	37%
嶺泊	19	37%	16	59%	16	64%	13	76%	12	80%	12	92%
望来	185	33%	166	39%	188	48%	155	47%	138	48%	109	45%
安瀬	11	58%	9	69%	5	63%	3	60%	4	80%	5	100%
厚田区計	814	29%	811	36%	860	44%	754	45%	723	48%	628	49%

② 急激な人口減少（過疎化）と高齢化率上昇への対策

・対策 ⇒ 交流人口を流入（定住）人口に結び付ける

道の駅石狩「あいろーど厚田」と「厚田カンパニー構想」との連携



厚田ふるさと創生プロジェクト「厚田カンパニー構想」とは？

これまでの取り組み



諮問

答申

区民

地域
協議会

支所

合併から13年経過

地域活性化の
取り組み

高齢化が進み⇒身の回りのことが困難
運転免許返上⇒移動・買物が不便

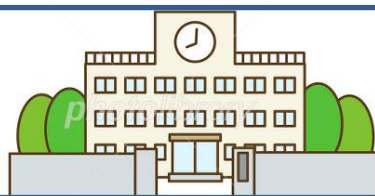
組織のスリム化⇒職員の減少
退職・異動⇒地元出身職員の減少

住み慣れた厚田で
いつまでも暮らした
いね！

周りがみんな年
寄りで、将来が
心配だ！



住民同士が共に支
え合う地域を実現



住民が中心となったまちづくり
カンパニー構想

夢ある将来像

PDCA(Plan-Do-Check-Action)

魅力ある地域づくりに参加

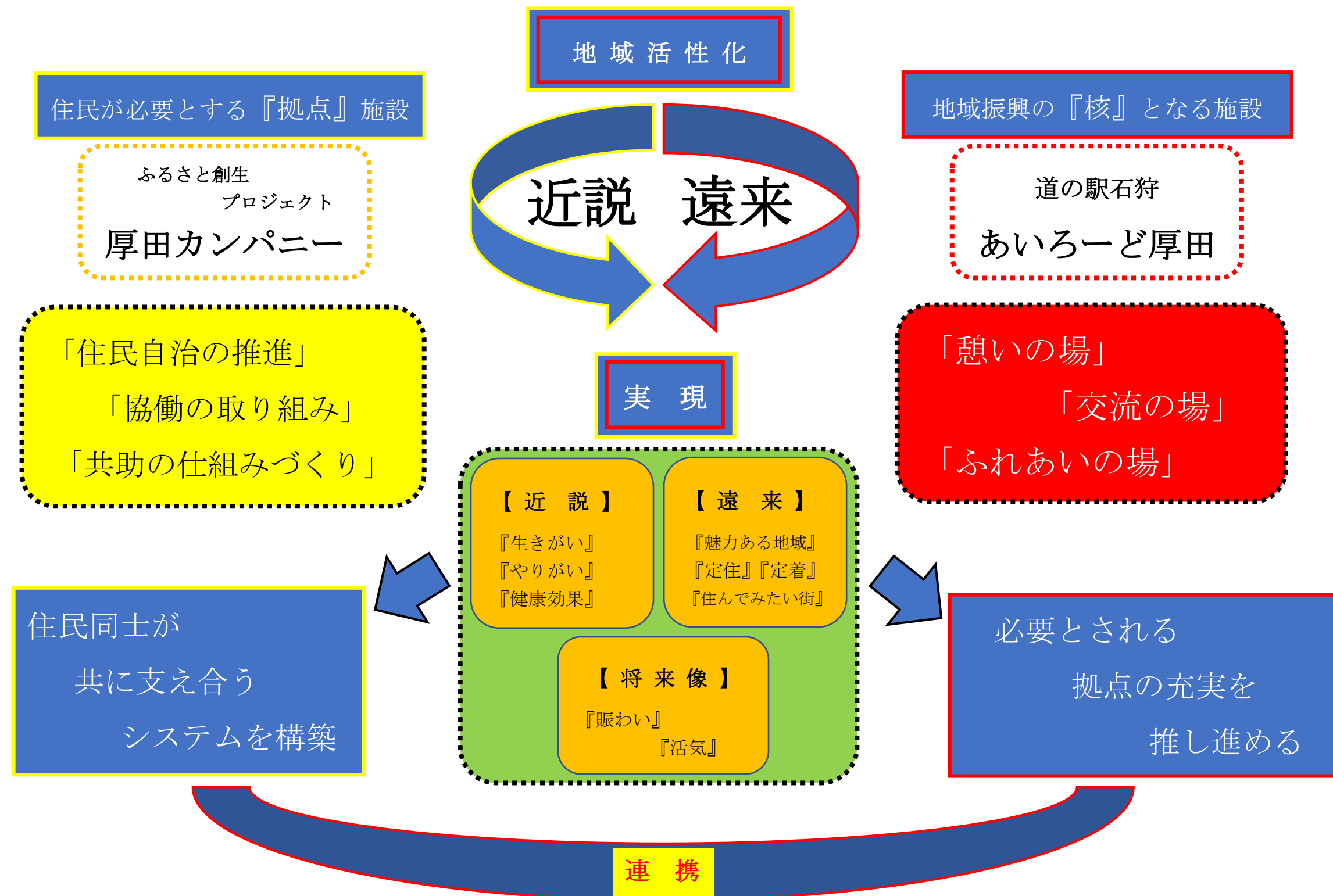
健康寿命促進

移住・定住促進

賑わい・活気ある街に

【地域協議会】 第7期 (H29.10～31.09) ↔ 第8期 (H31.10～33.03)

【目標】 厚田区が目指す姿 『近説遠来』(第5期 地域協議会)の具現化・実現化に向けた取り組みの集大成



ふるさと創生プロジェクト 厚田カンパニー構想

地域活性化に向けた これまでの取り組み

合併後、厚田区では地域の声を活かし、住民自らが地域活性化に向けた企画、提案を行い、地域協議会での審議を経て、協働の取り組みが進められてきた。



〔地域振興団体〕

- ・厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」 (H18.10～)
- ・あつたの森支援の会「やまどり」 (H20.03～)
- ・NPO 法人あつたライフサポートの会 (H20.03～)
- ・厚田資料室サポートの会 (H21.02～)
- ・地域教育分科会 (H22.02～)
- ・厚田アクアレーン実行委員会 (H22.12～)
- ・厚田こだわり隊 (H24.03～)
- ・地域賑わい呼びおこし隊 (H28.05～)



住民自治の推進

地域協議会

協働の取り組み

合併から12年が過ぎ

地域では

- ◆高齢化が進んだ
- ◆身の回りのことができない？
- ◆一人での生活が不安？
- ◆運転免許証を返上せざるを得ない？
- ◆買物・病院に行く手段がない？

いつまでも愛着ある我が家に住み続けたいけど限界がある… 好きな厚田から離れざるを得ない

これまで支えてきた人たちも高齢となり、今後が心配…

厚田支所

- ◇組織のスリム化
- ◇職員の減少
- ◇退職、異動で顔見知り（地元出身）の職員が少なくなる
- ◇気軽に聞ける、話せる職員が少ない…？

最近は支所に行っても知らない顔ばかりで、行きづらくなった…

困ったときに頼れる人が支所にいない…

好きな厚田から離れざるを得ない

不安要素

将来、地域にいつでも相談できる（求め・頼れる）場所がなくなる

解決策

共 助

地域で互いに助け合うことはできないだろうか？

みんなが必要としていることは何だろうか？

ニーズ調査

住民同士が共に支え合う街を実現



どうすれば、住み慣れた厚田で生涯暮らせるかしら？

仕組みづくり

厚田の賑わいづくりに私たち住民も係っていけないかなあ？

やりがい・生きがい

カンパニー

必要とされる拠点づくり

将来像

近 説 遠 来 （厚田が目指す将来の姿）

区内の人が喜んで暮らしていると、おのずと区外から多くの人が訪れ賑わう活気ある“まち”になる

1. 安心して暮らせる地域 住んでみたい『魅力ある地域』

- ・除雪サポート
- ・デマンド交通
- ・小さな困りごと解決
- ・買物支援



<共に支え合う仕組みの確立>

2. 自分の役割が生まれ 『健康』を導く

- ・生きがい、やりがい
- ・楽しみ、喜び
- ・充実感、達成感
- ・おもてなしの心



<できる事を、できる人が
できる時に…>

3. 『移住』『定住』の促進 厚田を支える『人材の確保』

- ・新しい視点、発想
- ・魅力の発掘、再認識
- ・地域に係る人が増える
- ・若い世代を呼び込む



<人が人を呼ぶ魅力の街>

4. 地域に『賑わい』『活気』 が生まれる

- ・住民自治の確立
- ・協働の仕組み
- ・来訪者の増加
- ・住んで良し、訪れて良し



<近説遠来の実現>

★ カンパニー活動の流れ ★

困りごと【発生】⇒ カンパニー【受付】⇒ サポーターへ【依頼】⇒ 依頼者宅へ⇒ 困りごと【解決】

Ⅲ. 住民アンケートの分析結果

1 調査の目的

少子高齢化による過疎化は年々激しくなり、地域のあちこちで空き家が目立つようになってきました。“地域のことは地域で”の合言葉で進めてきた地域活動はいよいよその真価が問われる時が来ました。今、過疎化の対策に挑戦している地域は、日本の先進地域とされています。その理由は、将来にわたって、地域の人口が減少する少子高齢化の対策として、斬新なアイデア、住民と行政の協働、物質的豊かさから精神的豊かさへの意識改革など、従来までにはない、どこの地域も行っていない難しい試みをコミュニティとして行うという意味で先進的なのです。

今回は、地域の一人ひとりの思いをアンケートという直接的な手段で明らかにし、今後の自治会を中心とする住民と行政との協働の二人三脚による地域づくりに反映させるために実施しました。

2 実施時期

平成 30 年 1 月 5 日（金）～平成 30 年 2 月 28 日（水）

3 調査主体・実施機関

厚田区地域協議会・住民アンケート会議

4 主な調査項目

- (1) フェイスシート（回答者のことについて：問 1～問 7）
- (2) 厚田区についての住民意識（問 8～問 12）
- (3) 日常生活における問題点（問 13～問 18）
- (4) 防災についての現状（問 19～問 22）
- (5) 地域交通についての考え方（問 23～問 24）
- (6) 地域活動に対する意見（問 25～問 28）

5 調査の性格

- (1) 調査地域：厚田区全域
- (2) 調査対象者：厚田区在住の 15 歳以上の者（全数調査）
- (3) 調査方法：自治会役員とアンケート会議委員による直接配布・回収
- (4) 調査状況：配布 1,500 票
回収 1,346 票（回収率：89.7 %）

6 調査用紙：資料（P81）参照

7. フェイスシート（回答者自身）について

(1) 厚田区現在の年代別人口における、回答者の割合

年 代	年代別 人 口	アンケート 回答者	割 合
19 歳以下	58	29	50.0%
20 歳代	109	53	48.6%
30 歳代	143	92	64.3%
40 歳代	218	156	71.6%
50 歳代	260	180	69.2%
60 歳代	369	294	79.7%
70 歳代	362	288	79.6%
80 歳以上	264	163	61.7%
不明		91	

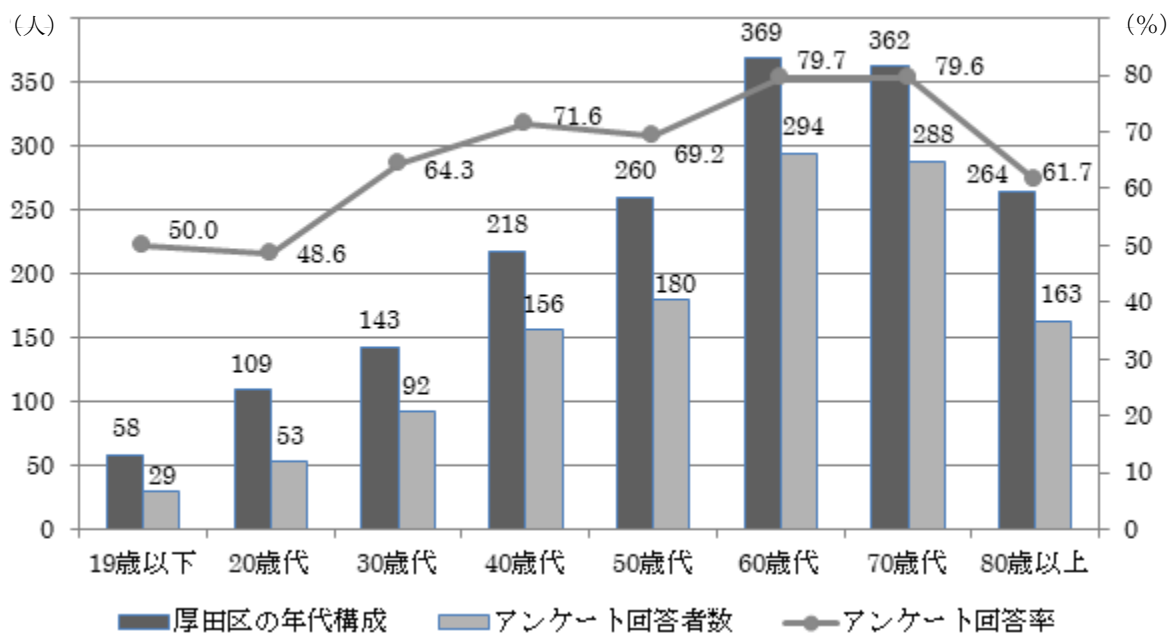
回答者の年代構成の比率に偏りがありましたが、実際の厚田区の年代構成は、左表のようになっています。

現在の 19 歳以下は 58 名、アンケートに答えてくれたのは 29 名、従って実際の 58 人中回答者は 29 名、その回答率は 50.0% です。

このように回答率を年代別にみると 60 歳代、70 歳代は約 8 割弱、40 歳代、50 歳代は約 7 割前後の人々がアンケートに答えてくれていることになります。

本アンケートの信憑性がある程度確保されていると思われます。

【厚田区年代別人口と回答者の年代構成】
(2018 年 4 月現在)



【厚田区の年代構成と回答者の年代構成グラフ】

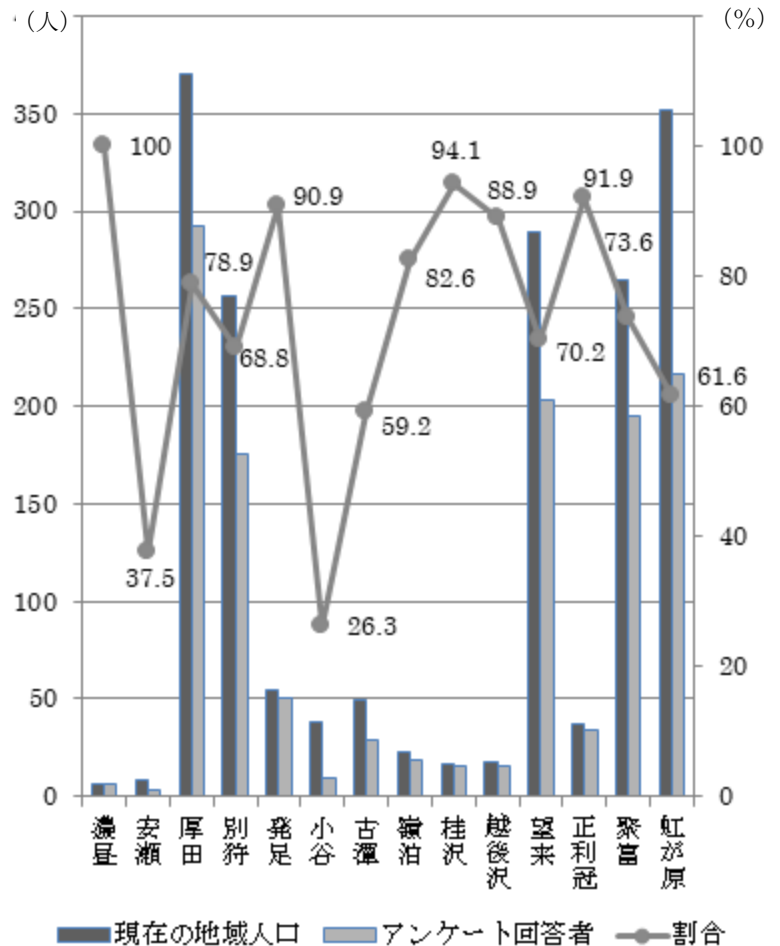
(2) 厚田区現在の地域別人口における、回答者の割合

次ページのグラフは、厚田区の現在の地域人口と、アンケート回答者数、及びアンケート回答率を示しています。

地域人口に対するアンケート回答者が多い場合は回答率が高く、反対にアンケート回答者が少ない場合は、回答率が低くなります。回答率が高ければその地域の意見が広く反映されており、反対に回答率が低くければ、地域の意見がある程度限定的であると解釈出来ます。従って、分析結果のグラフの読み取りには、この回答率を考慮して読み取る必要があります。

No.	地域名	地域別人口	アンケート回答者	割合
1	濃昼	6	6	100.0%
2	安瀬	8	3	37.5%
3	厚田	370	292	78.9%
4	別狩	256	176	68.8%
5	発足	55	50	90.9%
6	小谷	38	10	26.3%
7	古潭	49	29	59.2%
8	嶺泊	23	19	82.6%
9	桂沢	17	16	94.1%
10	越後沢	18	16	88.9%
11	望来	289	203	70.2%
12	正利冠	37	34	91.9%
13	聚富(海側)	265	195	73.6%
14	聚富(山側)			
15	虹が原	352	217	61.6%
	不明		80	

【厚田区地域別人口と回答者の地域構成】
(2018年4月現在)



【厚田区の地域構成と回答者の地域構成グラフ】

南北に細長い厚田区の地域は北の「濃昼」から南の「虹が原」まで、15の地域に分けられています。(住所上では(海側)(山側)の分類がないため、上表では合算して記載しました)ところがそれぞれの地域の居住人口に大きな差があります。2018年4月現在、「濃昼」は6名、「安瀬」は8名、一方「厚田」は370名、「虹が原」は352名です。

上記の表と図は、各地域の高校生以上の人口に対するアンケート回答率を示したものです。「濃昼」は居住者が全員アンケートに回答しているため、その割合は100%となっています。一方、「小谷」は26%、「安瀬」は37%です。

この割合が高ければ高いほど、その地区に住む人々の意見が反映されているものと解釈できます。但し、人口が極端に少ない地域（「濃昼」、「安瀬」）では、アンケートに回答する人数によって、アンケート項目に対する回答率が極端に変化します。例えば、「濃昼」において、ある項目の回答に3名が選択すると、回答率が50%（6名中3名が選択）、2名が選択すると33%（6名中2名が選択）と、1名の変化で17%の変化があります。

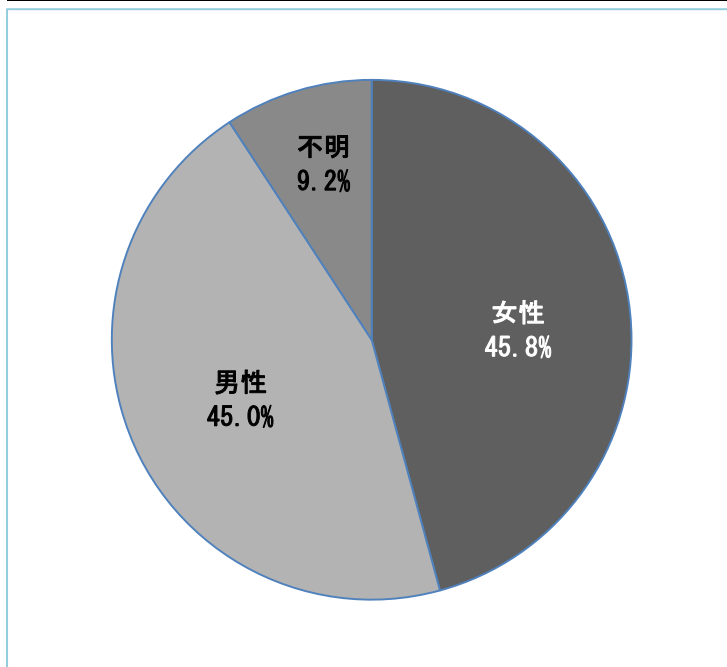
このように、地域人口に対するアンケート回答率、及びアンケート回答者の人数の極端に少ない場合を考慮してデータ解釈（結果の読み取り）を行う必要があります。

年代別、地域別分析で表示される分析データをみて解釈するときにも、上記のような母集団のバラツキを考慮して読み取っていただきたいと思います。

8. 単純集計

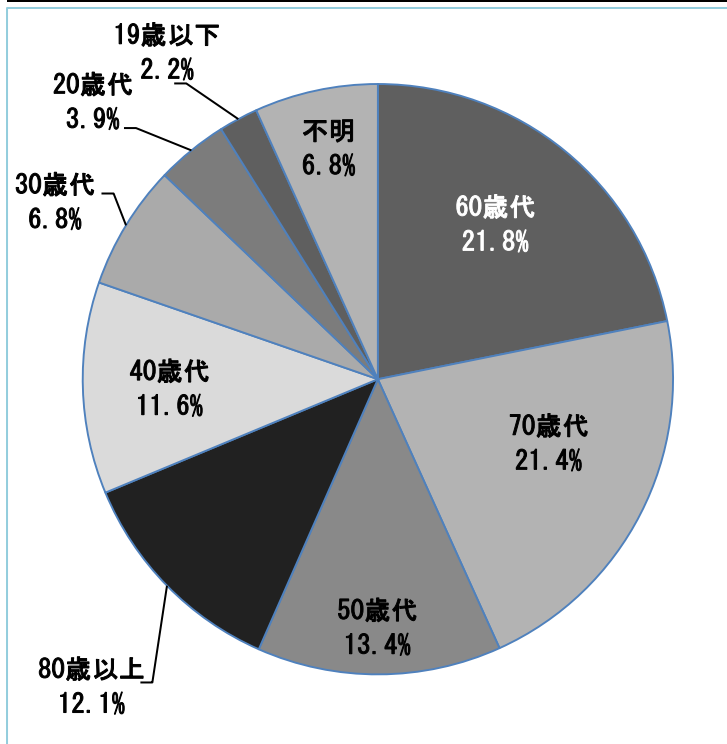
★【あなた自身】（回答者）のことについてお聞きします。

【問 1】 あなたの性別は	1. 男性	2. 女性
---------------	-------	-------



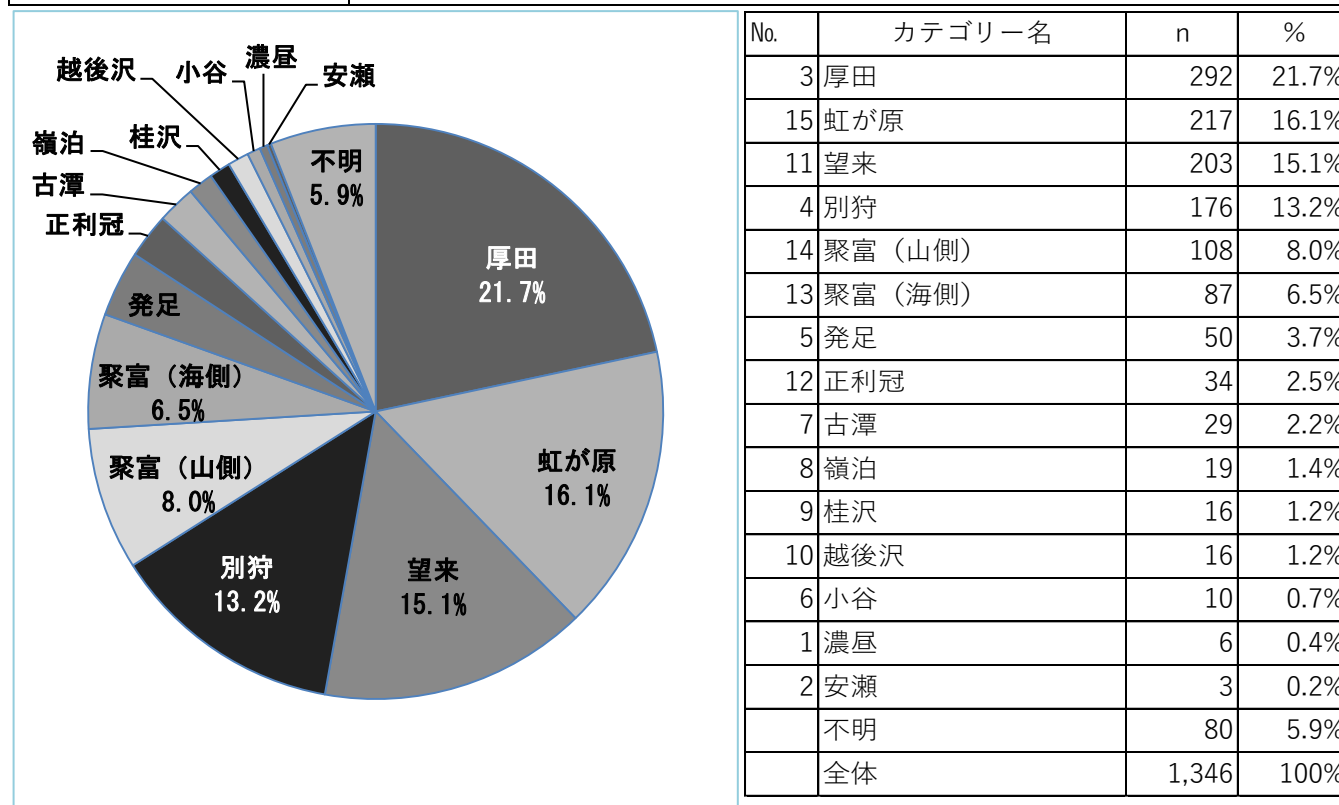
No.	カテゴリー名	n	%
2	女性	616	45.8%
1	男性	606	45.0%
	不明	124	9.2%
	全体	1,346	100%

【問 2】 あなたの年齢は	1. 19 歳以下	4. 40 歳代	7. 70 歳代
	2. 20 歳代	5. 50 歳代	8. 80 歳以上
	3. 30 歳代	6. 60 歳代	

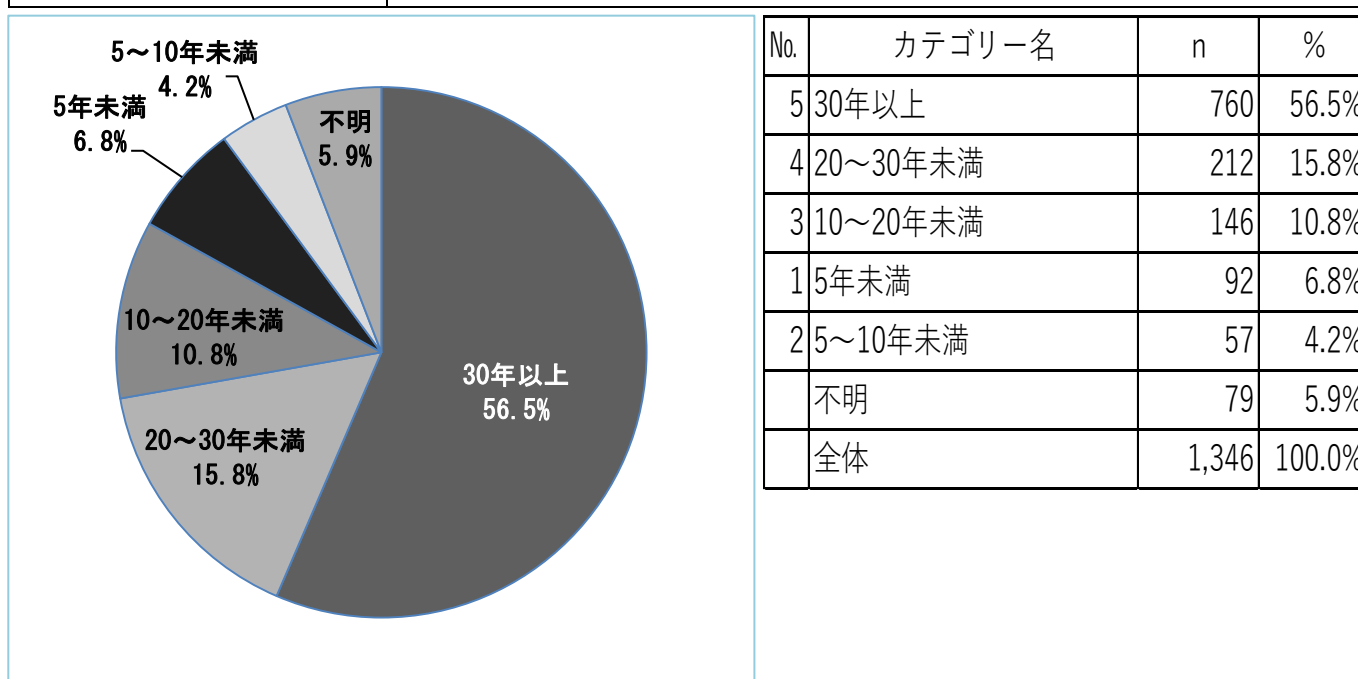


No.	カテゴリー名	n	%
6	60歳代	294	21.8%
7	70歳代	288	21.4%
5	50歳代	180	13.4%
8	80歳以上	163	12.1%
4	40歳代	156	11.6%
3	30歳代	92	6.8%
2	20歳代	53	3.9%
1	19歳以下	29	2.2%
	不明	91	6.8%
	全体	1,346	100%

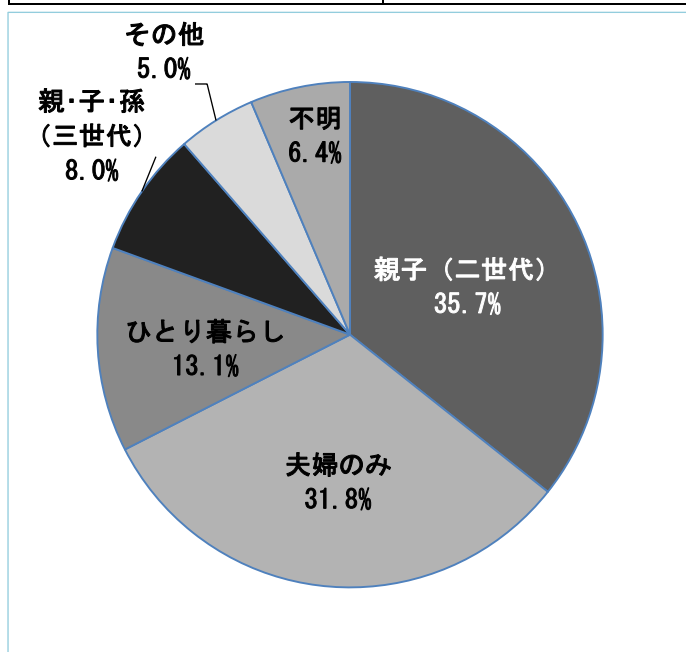
【問3】あなたのお住まいの地区は	1. 濃屋	6. 小谷	11. 望来
	2. 安瀬	7. 古潭	12. 正利冠
	3. 厚田	8. 嶺泊	13. 聚富（国道より海側）
	4. 別狩	9. 桂沢	14. 聚富（国道より山側）
	5. 発足	10. 越後沢	15. 虹が原



【問4】厚田に住んで何年になりますか	1. 5年未満	4. 20～30年未満
	2. 5～10年未満	5. 30年以上
	3. 10～20年未満	



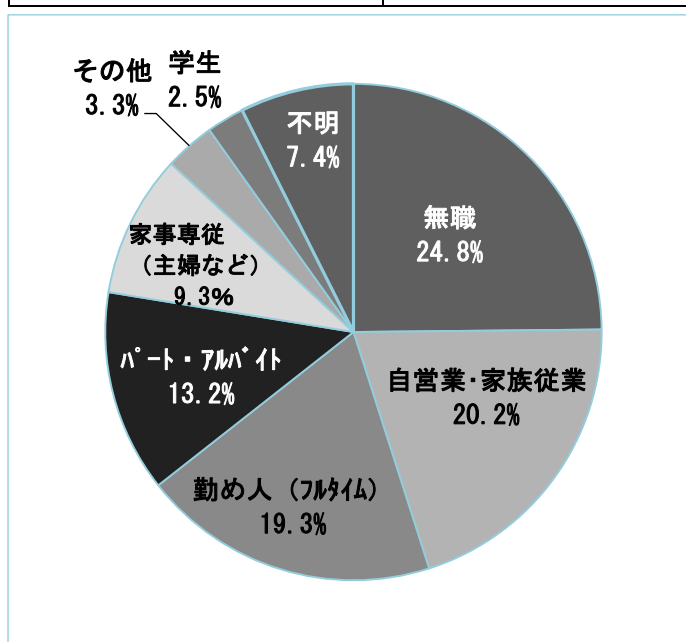
【問5】あなたの家族構成は	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子（二世代）	4. 親・子・孫（三世代） 5. その他 （具体的に_____）
---------------	------------------------------------	--



No.	カテゴリー名	n	%
3	親子（二世代）	480	35.7%
2	夫婦のみ	428	31.8%
1	ひとり暮らし	176	13.1%
4	親・子・孫（三世代）	108	8.0%
5	その他	68	5.0%
	不明	86	6.4%
	全体	1,346	100.0%

5.その他（具体的に）従姉妹夫婦とその娘。両親・父の従姉妹。単身赴任。妹と二人。友人と同居。弟と2人暮らし。姉妹。4世代。グループホーム。親・子・義理の姉。夫婦と義弟。

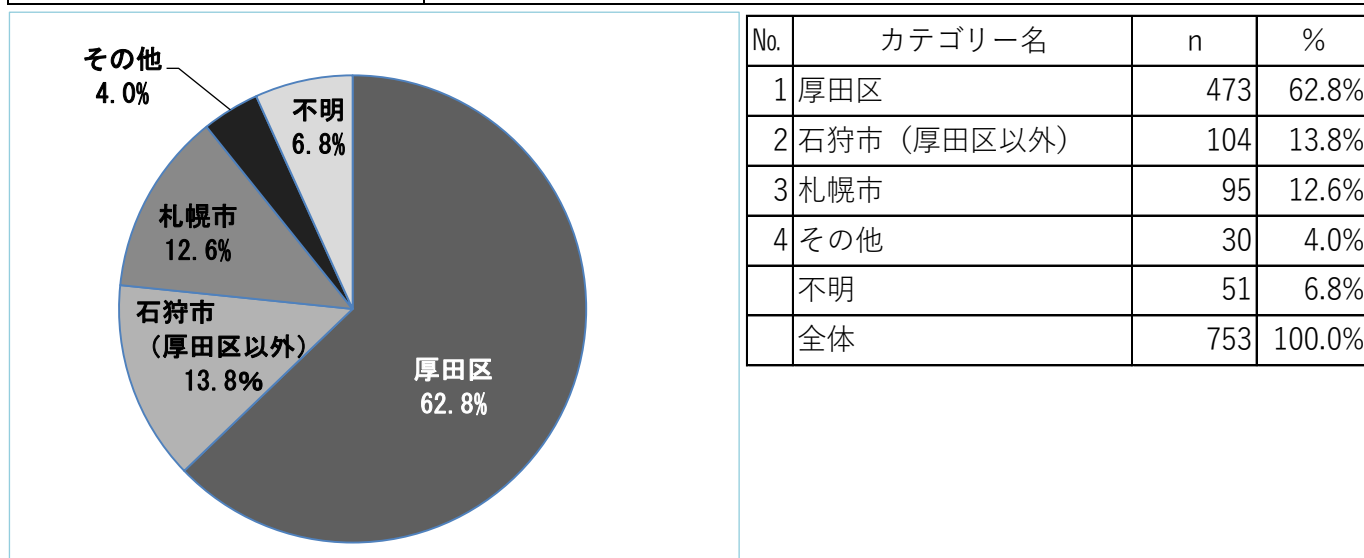
【問6】あなたの職業は	1. 勤め人（フルタイム） 2. 自営業・家族従業 3. パート・アルバイト 4. 家事専従（主婦など）	5. 学生 6. 無職 7. その他 （具体的に_____）
-------------	---	---



No.	カテゴリー名	n	%
6	無職	334	24.8%
2	自営業・家族従業	272	20.2%
1	勤め人（フルタイム）	260	19.3%
3	パート・アルバイト	177	13.2%
4	家事専従（主婦など）	125	9.3%
7	その他	44	3.3%
5	学生	33	2.5%
	不明	101	7.4%
	全体	1,346	100%

7.その他（具体的に）画家。

【問7】主な勤務先は ※問6で1から3を選択した方	1. 厚田区 2. 石狩市（厚田区以外） 3. 札幌市	4. その他 （具体的に_____）
------------------------------	-----------------------------------	-----------------------

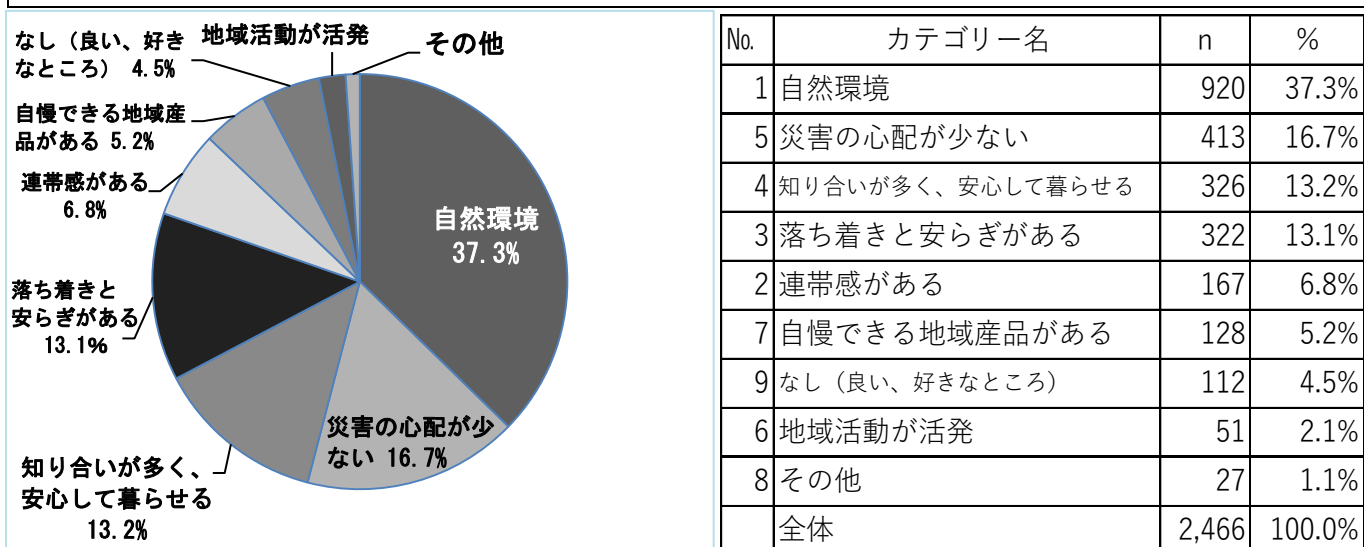


4.その他（具体的に）日高。道内。当別町。江別市。北広島市。南幌町。千歳市。函館市。岩見沢市。小樽市。日本全国。

★【厚田区】についてお聞きします

【問8】あなたは厚田区のどのようなところを良いところ、好きなところと感じていますか（主なもの3つまで）

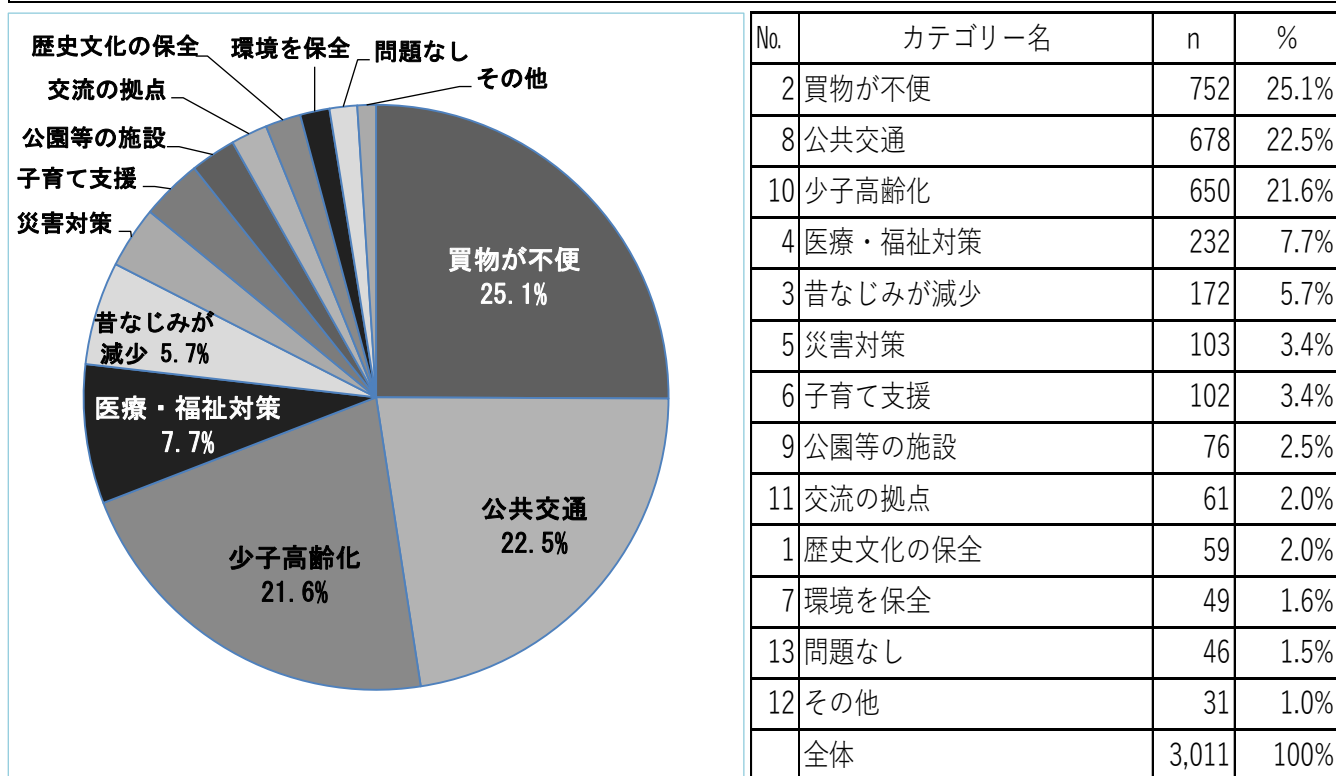
1. 自然環境に恵まれている	6. 各種の地域活動が活発に行われている
2. 地域の連帯感がある	7. 他の地域に自慢できる産品がある
3. 落ち着きと安らぎがある	8. その他（具体的に_____）
4. 知り合いが多く、安心して暮らせる	
5. 大きな災害の心配が少ない	9. 良いところ、好きなところはない



8.その他（具体的に）：食べ物がおいしい。札幌に近い。いつも気にかけてくれる近隣住民がいる。人々がとても暖かい。人が少ない。犬をたくさん保護している為・犬達にも良いので。生まれた時から住んでいるから。住めば都。海が近いところ。都会の人と親しみにくいところ。福祉サービス。農産物・海産物など質が高い。交通が少ないので基本的に外が静か。創価学会ゆかりの土地だから。家・土地があるから。

【問9】 あなたは厚田区のどのようなところを課題と感じていますか（主なもの3つまで）

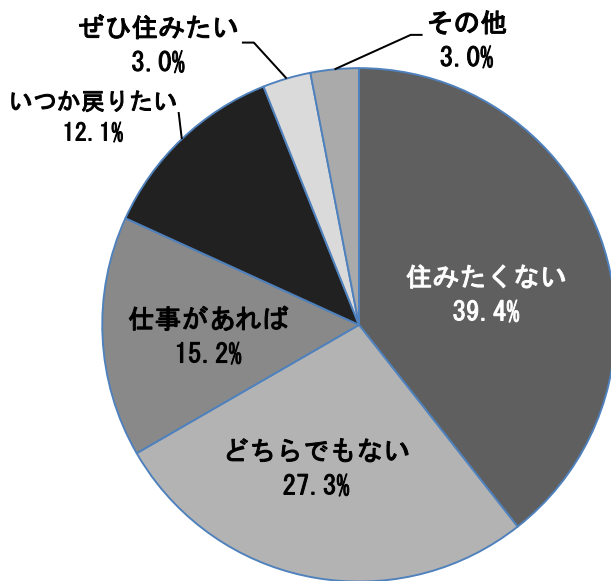
- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 歴史や文化の保全が十分でない | 8. バス等の公共交通機関 |
| 2. 日常の買物で不便を感じる | 9. 広場、公園等の施設設備 |
| 3. 昔なじみの隣人、知人が少なくなった | 10. 高齢化、人口減少 |
| 4. 高齢者、障がい者等の医療・福祉対策 | 11. 住民交流の拠点がない |
| 5. 地震や風水害等の災害に対する取り組み | 12. その他（具体的に_____） |
| 6. 子育てを支援する取り組み | |
| 7. 自然環境を保全する取り組み | 13. 特に課題や問題点はない |



12.その他（具体的に）：住宅がない。住宅事情（子育て）がかなり悪い。耳鼻科・皮膚科等の専門病院へ冬通うとき大変。冬の運転。住民参加型の行事や講習会、教室等が少ない。土・日に何かあったら役所を頼れない。安定した収入の働き口がない、雇用の確保。公共交通に不便。通院・買い物に不便。活気のなさ。子どもの良い教育が受けられない、複式学級の心配、学力低下、劣等感。長く住み続ける何十年先のビジョンがうかばない、住みたいという魅力がない。望来、厚田でも他の医療機関からでも送迎バスが来ると便利。車が運転できなくなったときの病院通い。冬期間のホワイトアウト対策、暴雪柵、電光矢印板など。無関心、排他的。小さい村の中で一部に全てを集めようとしている。熊やスズメバチ等の危険生物の対策。冬の除排雪。病気になったら冬は道路環境、通院に困る。銀行（道銀・北洋）のATMがコンビニにも無い。吹雪の時の対策、特に見通しのきかない所の夜光印（↓）を増やしてほしい。

【問 10】 問 6 で「5. 学生」を選んだ方にお聞きします。あなたは卒業後も厚田に住みたいと思いますか（○はひとつだけ）

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. ぜひ住みたいと思う | 4. どちらとも言えない |
| 2. 仕事などがあれば住みたい | 5. 住みたくない |
| 3. 他の地域に進学や就職をしてもいつか厚田に戻りたい | 6. その他（具体的に_____） |

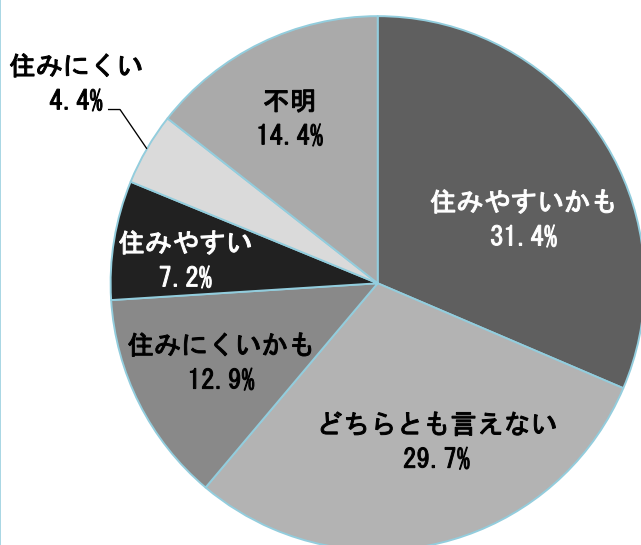


No.	カテゴリー名	n	%
5	住みたくない	13	39.4%
4	どちらでもない	9	27.3%
2	仕事があれば	5	15.2%
3	いつか戻りたい	4	12.1%
1	ぜひ住みたい	1	3.0%
6	その他	1	3.0%
	全体	33	100.0%

6.その他（具体的に）： 高齢者の居る場所でない。ふるさとだから。

【問 11】 あなたにとって厚田区は住みやすい地域ですか。（○はひとつだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 4. どちらかというに住みにくい |
| 2. どちらかというに住みやすい | 5. とても住みにくい |
| 3. どちらとも言えない | |



No.	カテゴリー名	n	%
2	住みやすいかも	423	31.4%
3	どちらとも言えない	400	29.7%
4	住みにくいかも	173	12.9%
1	住みやすい	97	7.2%
5	住みにくい	59	4.4%
	不明	194	14.4%
	全体	1,346	100%

【問 12】 「住みやすい」、または「住みにくい」理由について、具体的にお書きください。

注) 以下では、意見の一部を抜粋して掲載しております。全ての意見は、資料（P 86）に一括して掲載しております。

「住みやすい」（抜粋）

- ・地元なので住みやすい。
- ・他の地域に住んだことがないから。
- ・都会の喧騒から離れ、穏やかな気持ちでいられる。
- ・知り合いが多く、何かと繋がっているので色々助かっている。
- ・自治会の連帯感がある。
- ・自然豊か、都心部にも近い。
- ・意外と自然災害が少ない。
- ・海が近いから。
- ・水産物や農産物などほかの地域に自慢できる産品があること。
- ・災害がないから。
- ・自然に恵まれ、昔からの住民たちの連帯感も強く、気持ちの温かい人が多い。交通の便ほか、冬の厳しさを補う山海の恵みもある。

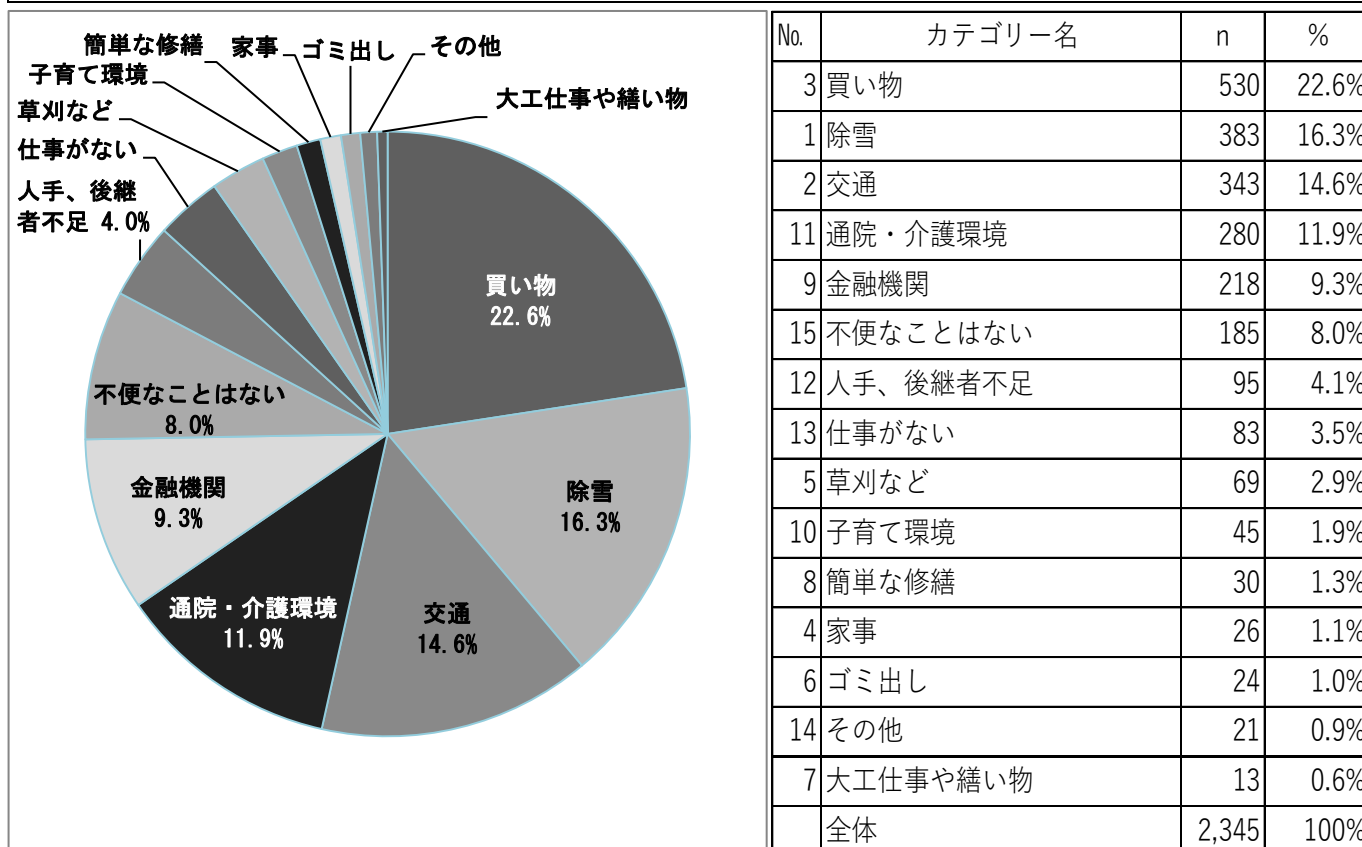
「住みにくい」（抜粋）

- ・交通の便が悪い。
- ・車がないと何も用をたせない。
- ・冬がとても吹雪くから。
- ・除雪の問題。
- ・買い物に不便。
- ・大きな病院が遠い。
- ・医療機関が選べない。冬期間通えない。
- ・仕事場が遠い。
- ・買い物、停電にすぐなる。口うるさい人が多い。
- ・高齢化、就労先の減少など地域生活も疲弊しているように思う。
- ・バス停まで遠く歩行困難。

★【日常生活】についてお聞きします

【問 13】 あなたは、今の生活で不便を感じることや困っていることはありますか。
(主なものを3つまで)

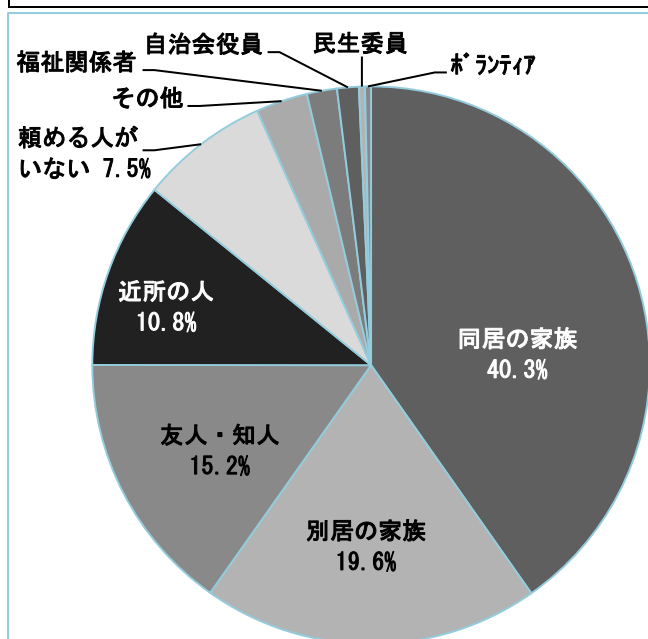
1. 除雪	9. 金融機関（ＡＴＭでの出入金）
2. 交通（日常の足）	10. 子育て環境
3. 買い物	11. 通院・介護環境
4. 家事（食事の支度・掃除・洗濯など）	12. 人手、後継者不足
5. 草刈、庭の手入れ	13. 仕事がない
6. ゴミ出し	14. その他（具体的に_____）
7. 日曜大工仕事や繕い物	
8. 電球交換や家屋の簡単な修繕	15. 特に不便なことはない



14.その他（具体的に）：雨漏り、アンテナ修理等のプロに頼む修繕。今のところ元気なのでその内3～4年後にはあると思う。除雪は今は人に頼んでいる。吹き溜まりなどで玄関が開かないときがある。家の回りベランダ窓が雪に覆われる。厚田の農産物や、魚等、商工会などで買えるといいですが。遊べる環境がもう少しほしいです。あつた中央クリニック以外で診てもらわなきゃいけないとき（皮膚科等）。バスの本数が少ない。将来的に車が運転できないと不便。今は良いが、10年後は？ 冬期の買い物、冬期の通院。仲の良い知人、友人が近くにいない。家事、手が不自由、両手にしびれ。家の前の側溝に流れてきた枯枝などが詰まって、しばしば水があふれ床下に流れ込むこと、自分の不注意で詰まらせているわけではないので、とても困っています。冬の前にする窓などの冬囲い。賃貸住宅。車の免許を返納後の交通手段をどうするか。冬に吹雪になることが多く買物その他出掛けられない。飲み会の時の送迎が困る。バスが少ないので友達と遊びにくい。将来年齢が高くなった時のＡＴＭなど、町内役員など。

【問 14】 あなたは、困っていることを誰かに頼んでいますか（主なものを2つまで）

- | | |
|----------|---------------------|
| 1. 同居の家族 | 6. 自治会役員 |
| 2. 別居の家族 | 7. ケアマネージャーなどの福祉関係者 |
| 3. 友人・知人 | 8. ボランティア |
| 4. 近所の人 | 9. その他（具体的に_____） |
| 5. 民生委員 | 10. 頼める人がいない |

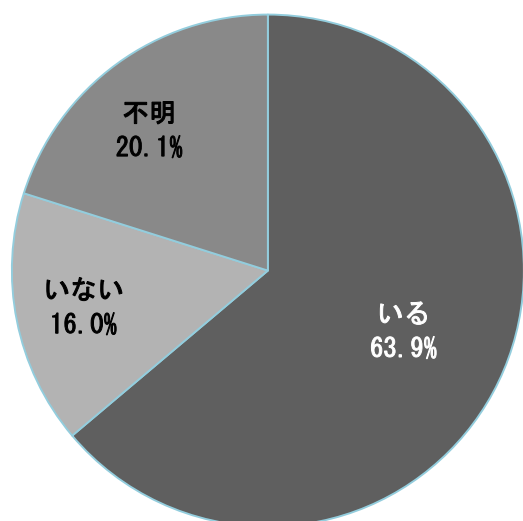


No.	カテゴリー名	n	%
1	同居の家族	575	40.3%
2	別居の家族	280	19.6%
3	友人・知人	218	15.2%
4	近所の人	155	10.8%
10	頼める人がいない	107	7.5%
9	その他	43	3.0%
7	福祉関係者	25	1.7%
6	自治会役員	18	1.3%
5	民生委員	5	0.3%
8	ボランティア	5	0.3%
	全体	1,431	100%

9.その他(具体的に): ヘルパー。連絡して2~3日後でもただ待つ。職場の人。不便を感じるがまだ困っていない。市の子育て支援。業者。アルバイト。警察。

【問 15】 あなたは、何かあればすぐに駆けつけてくれる人はいますか（○はひとつだけ）

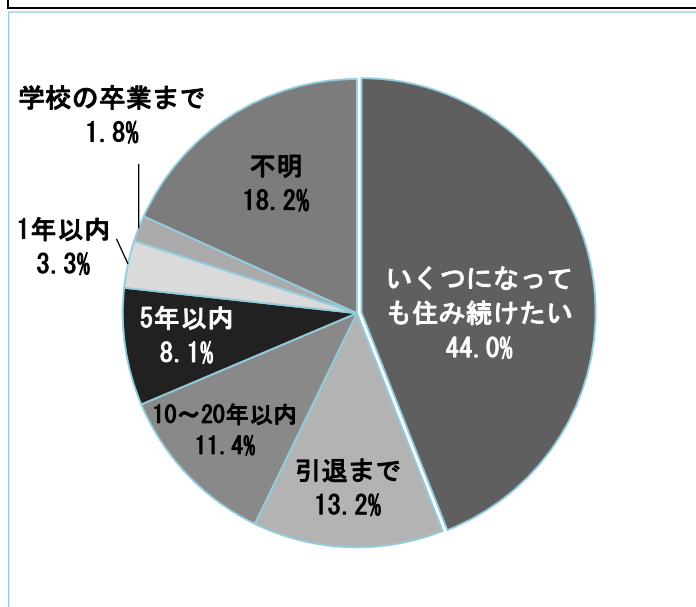
1. いる（具体的に：_____） 2. いない



No.	カテゴリー名	n	%
1	いる	859	63.9%
2	いない	216	16.0%
	不明	271	20.1%
	全体	1,346	100.0%

【問 16】 あなたは、いつまで厚田で生活したいと思いますか（○はひとつだけ）

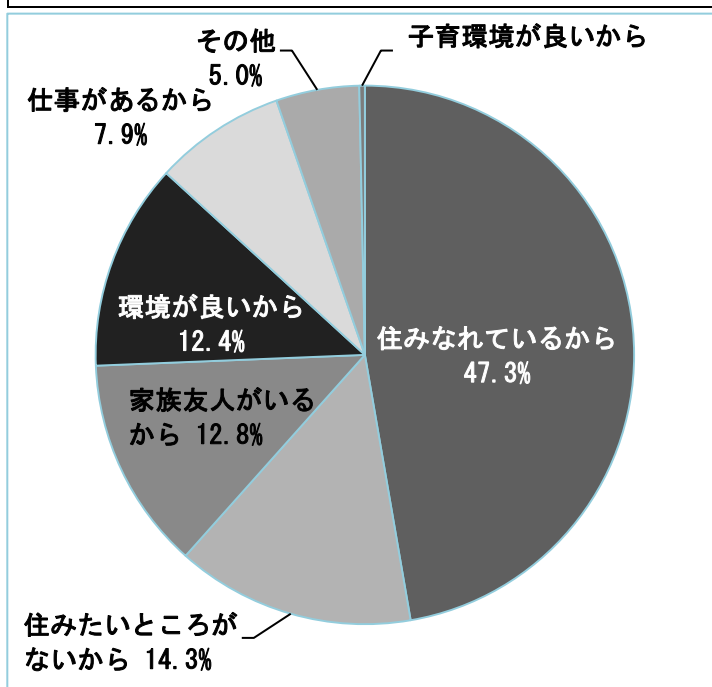
- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 1 年以内 | 4. 自分が学校を卒業するまで |
| 2. 5 年以内 | 5. 仕事を終える（引退）まで |
| 3. 10～20 年以内 | 6. いくつになっても住み続けたい（問 17 へ） |



No.	カテゴリー名	n	%
6	いくつになっても住み続けたい	593	44.0%
5	引退まで	177	13.2%
3	10～20年以内	154	11.4%
2	5年以内	109	8.1%
1	1年以内	44	3.3%
4	学校の卒業まで	24	1.8%
	不明	245	18.2%
	全体	1,346	100%

【問 17】 問 16 で「いくつになっても住み続けたい」と回答した方、なぜそう思いますか。（主なものを 2 つまで）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 長年住みなれているから | 5. 仕事があるから |
| 2. 環境が良いから | 6. 他に住みたいところがないから |
| 3. 家族や友人がいるから | 7. その他（具体的に_____） |
| 4. 子育てに良い環境だから | |



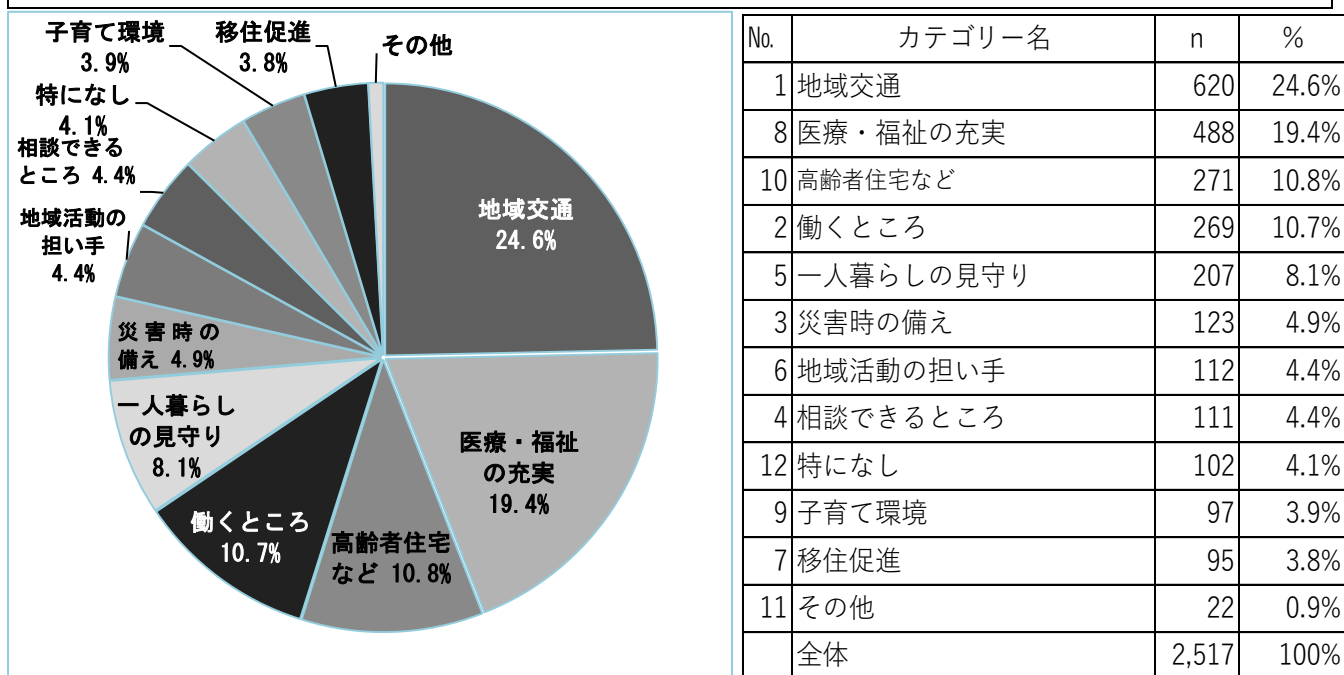
No.	カテゴリー名	n	%
1	住みなれているから	426	47.3%
6	住みたいところがないから	129	14.3%
3	家族友人がいるから	115	12.8%
2	環境が良いから	112	12.4%
5	仕事があるから	71	7.9%
7	その他	45	5.0%
4	子育て環境が良いから	3	0.3%
	全体	901	100%

7.その他（具体的に）：今の所は住みたいので。引っ越す理由がないから。自力生活が出来るうちは、住みたい（車の運転ができるまで）。他に住める所が無いから。高齢になっているので。

自分のことが出来るうち。今更離れる勇気もない。田舎が好きだから。いつまでもとは思いますが、子どもの将来を考えると難しいかと。住み続けるしかない。家があるから。家庭菜園などができる。死ぬまで住み続けるしかない。自分の家だから。体が動く限り。ふるさとだから、生まれ故郷だから。ここが好きだから。持ち家がここにあり経済的にも体力的にも引っ越せないから、ただ、老後の生活に不安がある。人なりに車の運転ができなくなるまで。静かで人が少なく風景が気に入っているから。行くところがない経済的に。そう決めたから。子どもの故郷にしてあげたい。造ったインフラがあるから。自宅があるから続けたいではなく住まねばならぬと思う。農業だから。生きている間いるしかない。創価学会のゆかりの土地だから。住み続けたい訳でもないが、他に住所がない、無駄な出費を控えたい。農家に定年はないし、自分で食べる分は作り続けたい。海が近いから。どれも当てはまりません、決められません、考えられません、老いて、ここで生活できなくなる迄はここにいるしかありませんが、いつか住んでいられない時が来るはずで、それが現状です。

【問 18】 これからもあなたが厚田で生活していくために、地域に何が必要だと思いますか。
(主なものを3つまで)

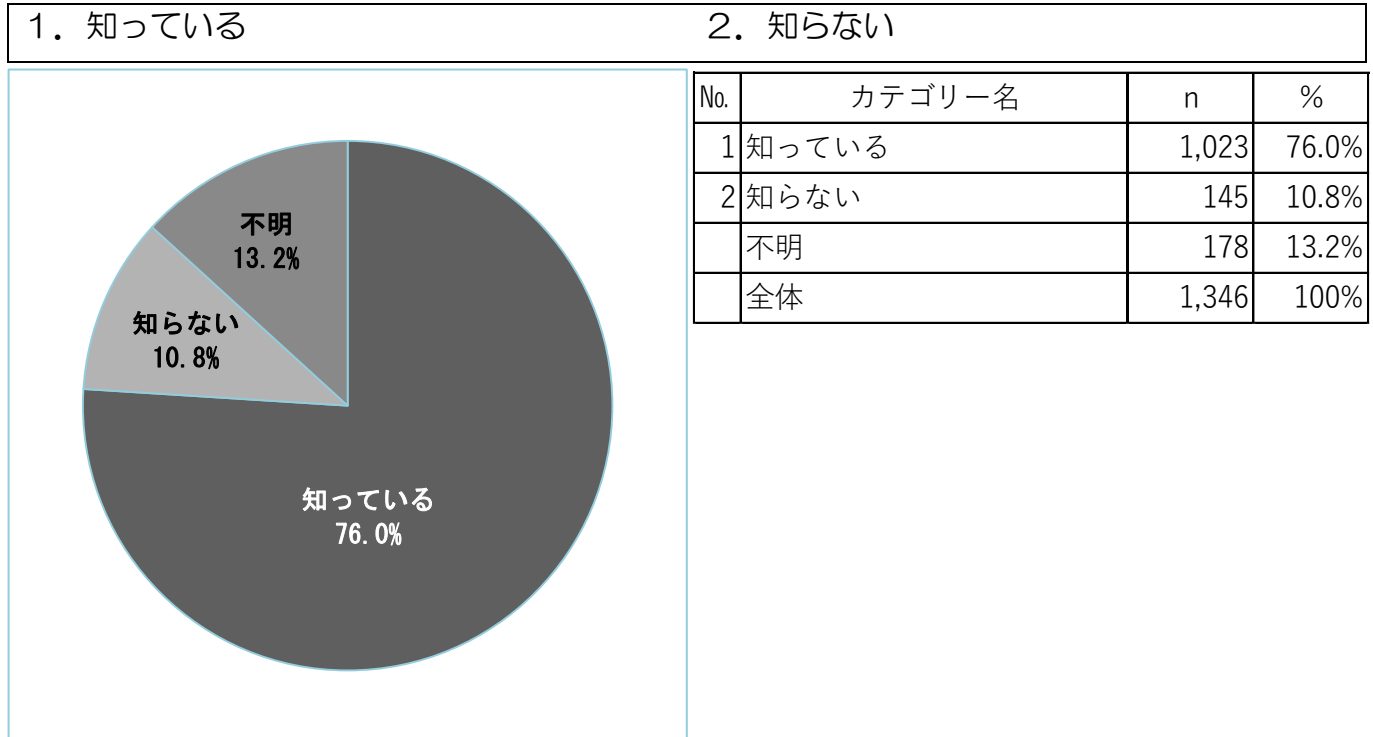
- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 地域交通 | 8. 医療・福祉サービスの充実 |
| 2. 働くところ | 9. 安心して子育てできる環境 |
| 3. 災害時の備え | 10. 高齢者住宅など、いつまでも安心して暮らせる住宅 |
| 4. 困りごとを相談できるところ | 11. その他（具体的に_____） |
| 5. 一人暮らしの見守り | 12. 特になし |
| 6. 地域活動の担い手 | |
| 7. 移住促進 | |



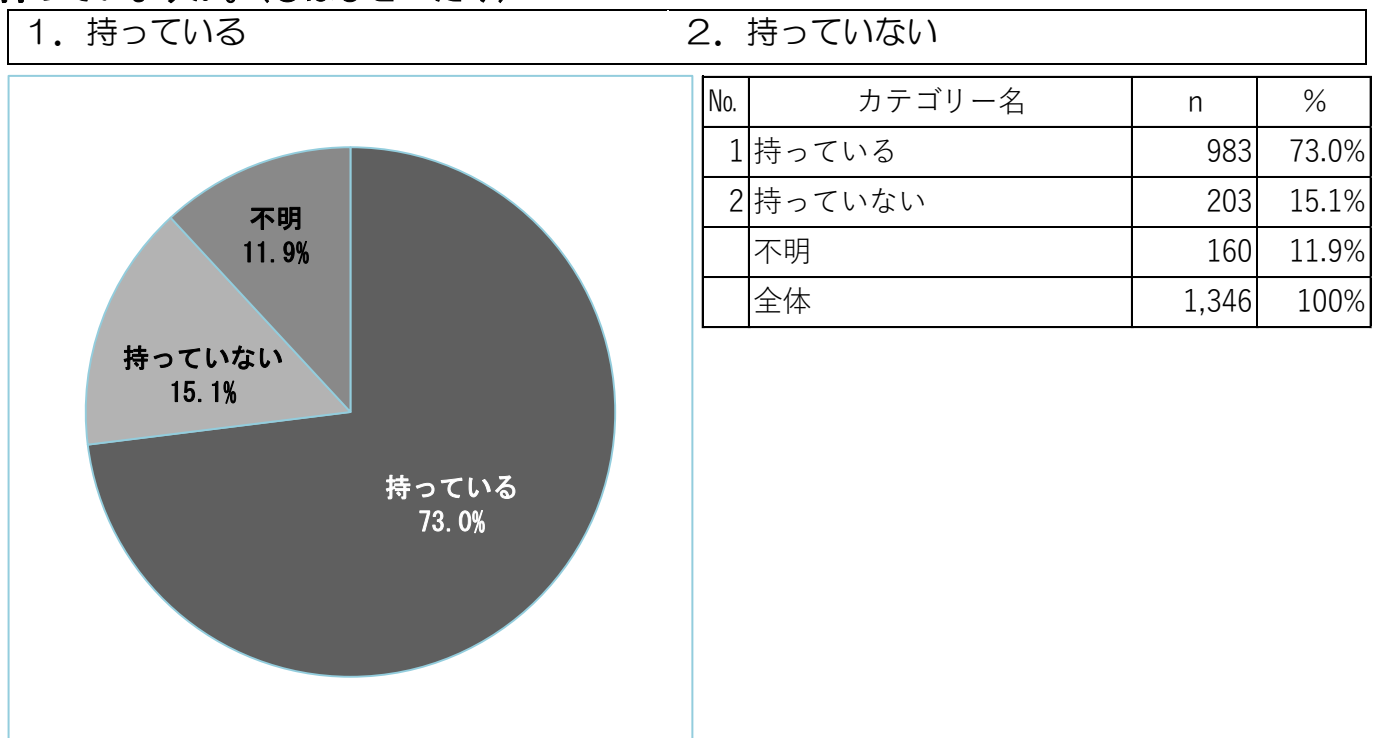
11.その他（具体的に）：住む所。コンビニ。家族連れで住み心地の良い、子どももののびのび走ったり出来るような住宅（子どもがいると荷物も多いので収納場所も多いような）。冬道、ホワイトアウト。商業、飲食施設。スーパー等。自分で出来る頃は自分でやる。車を運転できなくなった時。冬季の生活道路の確保。新規入植者に対する寛容な仕組み・サービス。人口を増やす事、新規就農等。イベントなど。若者が住まない理由として JR、バス等の交通機関が少ないこと。食材の買物。行政など個人住宅の管理、アドバイス。

★【防災】についてお聞きします

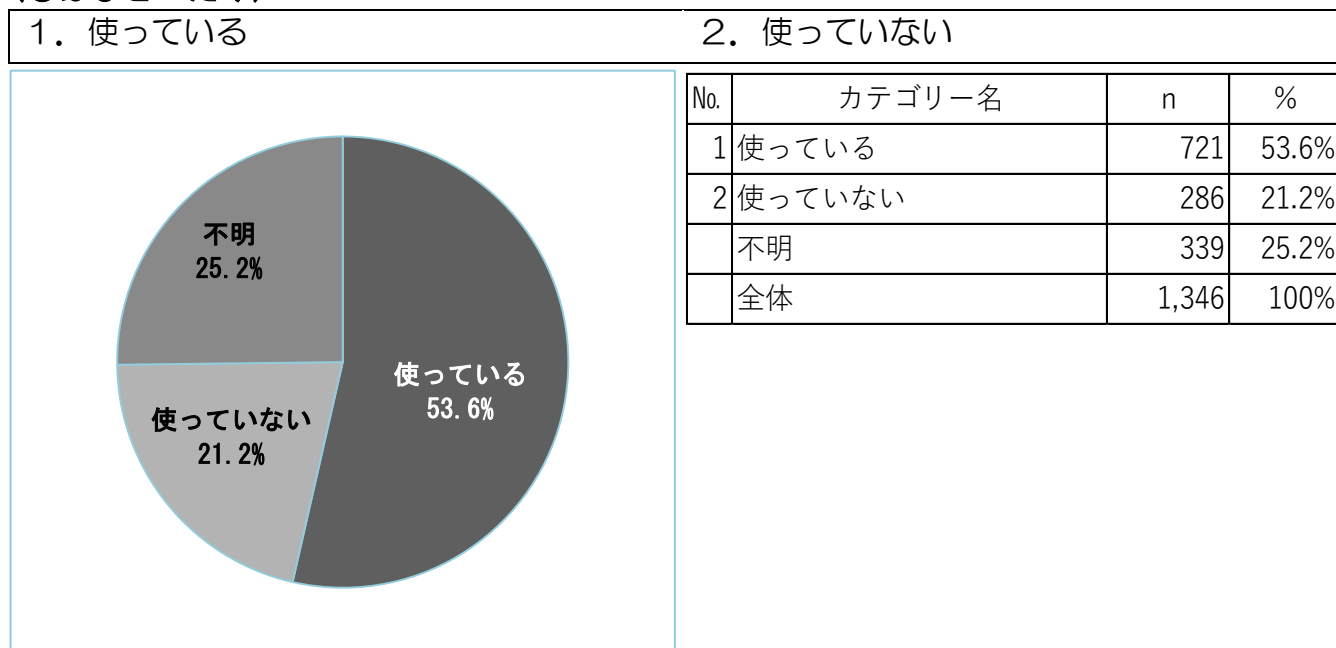
【問 19】 あなたは、地震や水害等の自然災害が起きたときに、どこに避難すればよいか知っていますか。(〇はひとつだけ)



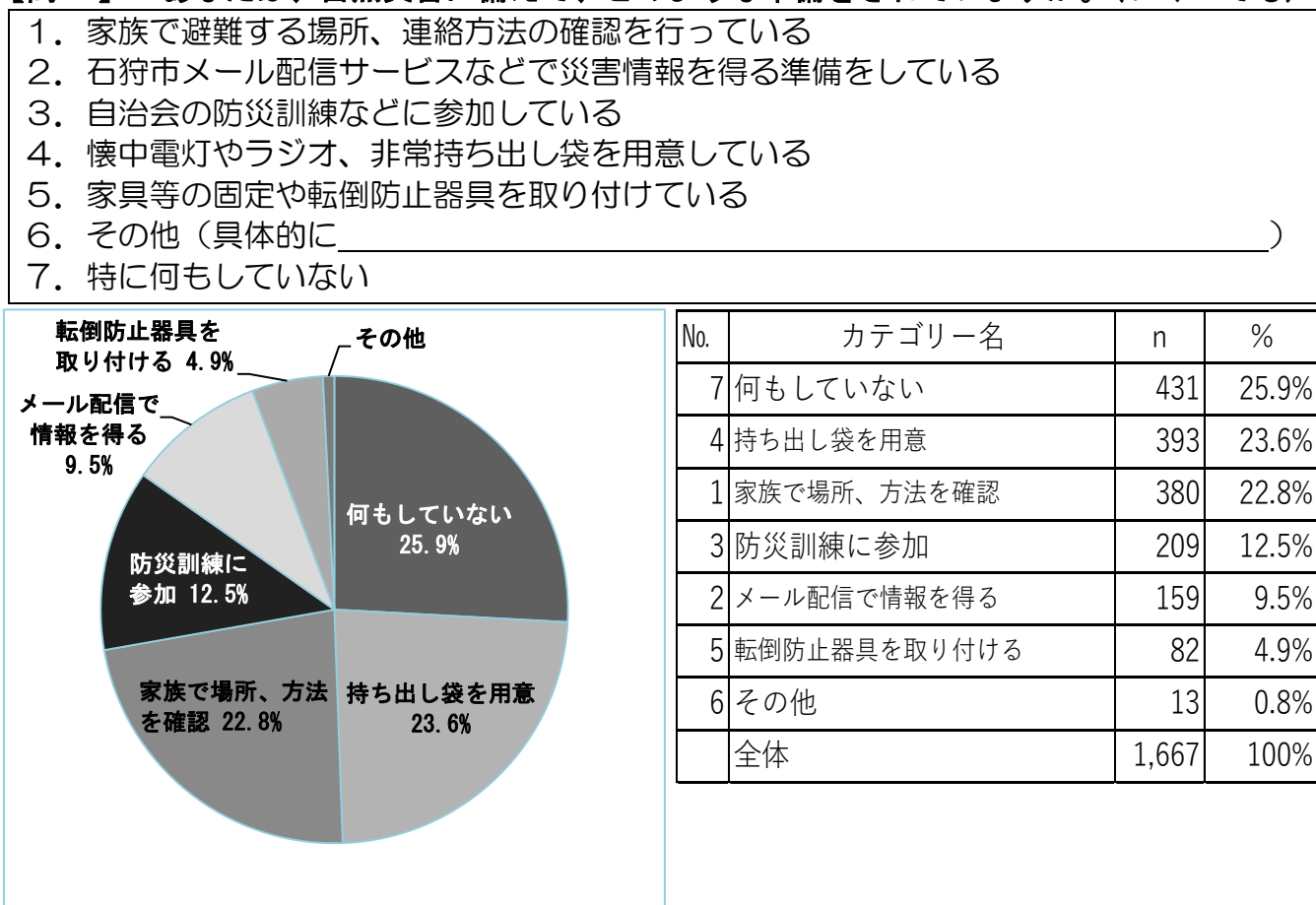
【問 20】 災害時はできるだけ早く情報を得ることがとても重要です。あなたは、携帯電話を持っていますか。(〇はひとつだけ)



【問 21】 問 20で「持っている」と回答した方、メール機能は使っていますか。
(○はひとつだけ)



【問 22】 あなたは、自然災害に備えて、どのような準備をされていますか。(いくつでも)



6.その他(具体的に)：食品の確保。少しのインスタント食品など。食料や飲み水、灯油、暖房機の備蓄や用意。緊急速報メール。今のところ何も用意していないので、持ち出し袋を用意します。高台にいるので避難場所をここに作れたらと思っています。今は備えが足りません。防災無線を直してほしい。聚富小中学校。石狩市でメール配信していますか？放送はありますが(各戸に)あれば教えてください。外にいる時

は事件が分かりませんので、携帯配信が必要と思います。自宅が一番良いと思っている。非常食など準備。近所同士で助け合う、普段から話している。家で避難生活を送るための非常食、電池、水などの確保。自家発電機、食料の準備。

★【地域交通】についてお聞きます

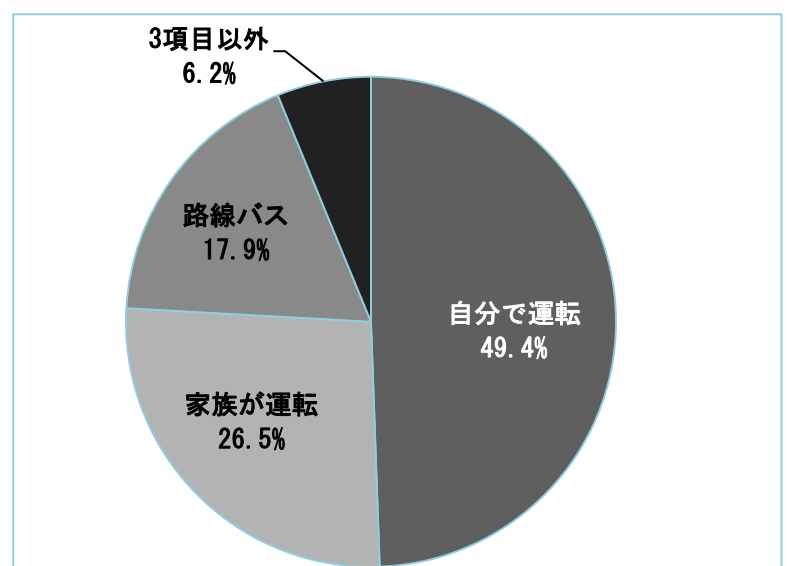
【問 23】 あなたが、現在厚田区で利用している交通手段をお選びください。（いくつでも）

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 自分で運転する自家用車 | 7. 『あつたライフサポートの会』（※）の運送事業 |
| 2. 家族が運転する自家用車 | 8. 高齢者や障がい福祉の移送支援 |
| 3. 路線バス | 9. その他（具体的に_____） |
| 4. デマンドバス | 10. 外出していない |
| 5. スクールバス（混乗含む） | |
| 6. タクシー | |

※『あつたライフサポートの会』とは、
居宅から最寄のバス停、集会施設及び高齢者福祉施設まで有償にて運送事業を実施している団体。（会員制で登録した厚田区民が利用対象）

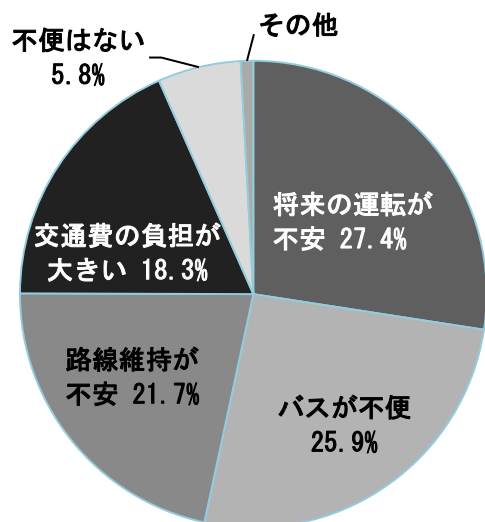
No.	カテゴリー名	n	%
1	自分で運転する自家用車	828	49.4%
2	家族が運転する自家用車	443	26.5%
3	路線バス	300	17.9%
7	『あつたライフサポートの会』の運送事業	28	1.7%
6	タクシー	20	1.2%
8	高齢者や障がい者福祉の移送支援	19	1.1%
5	スクールバス（混乗含む）	12	0.7%
10	外出していない	12	0.7%
9	その他	11	0.7%
4	デマンドバス	2	0.1%
	全体	1,675	100%

6.2%



【問 24】 あなたは、厚田区内の交通事情についてどのように感じですか。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 自分・家族がいつまで運転できるか不安 | 4. 将来、路線が維持されるか不安 |
| 2. バス路線が限られた時間のみで不便 | 5. その他(具体的に_____) |
| 3. 交通費の負担が大きい | 6. 現状で満足、今のところ不便はない |



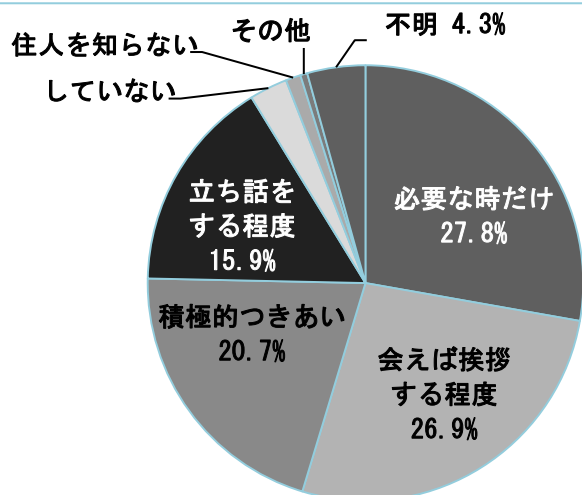
No.	カテゴリー名	n	%
1	将来の運転が不安	635	27.4%
2	バスが不便	599	25.9%
4	路線維持が不安	501	21.7%
3	交通費の負担が大きい	425	18.3%
6	不便はない	133	5.8%
5	その他	20	0.9%
	全体	2,313	100%

5.その他(具体的に): 自分の車でどこにでも行くので不便はない。冬が辛い。吹雪の中での運転が大変。バス停まで遠く歩けなくなったら…と思う。元気な内は困っている人の買物や病院等してあげたい(時間が出来れば)。高齢で車を運転できなくなった人の交通手段が心配だ。自分で運転できなくなると住めない。カーシェアリングなどのシステム。地域ごとのデマンドバス、乗り合いタクシーの普及、導入。ターミナル行きのバスがお昼頃あると便利。冬の交通障害。バス運転手が厚田側に来るとすごく運転が雑。朝8時代のバスが欲しいです。免許の無い嫁が不便そう。手稲・北区などライフサポートの規制緩和が必要。花川方面までライフサポートがあると良い。

★【地域活動】についてお聞きします

【問 25】 あなたのお宅では、ご近所のおつきあいをどのようにしていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 日頃から何でも相談し合うなど、積極的なおつきあい | 4. 会えば、あいさつをする程度 |
| 2. 必要な時だけのおつきあい | 5. 近所づきあいはしていない |
| 3. たまに、立ち話をする程度 | 6. 誰が住んでいるか知らない |
| | 7. その他(具体的に_____) |

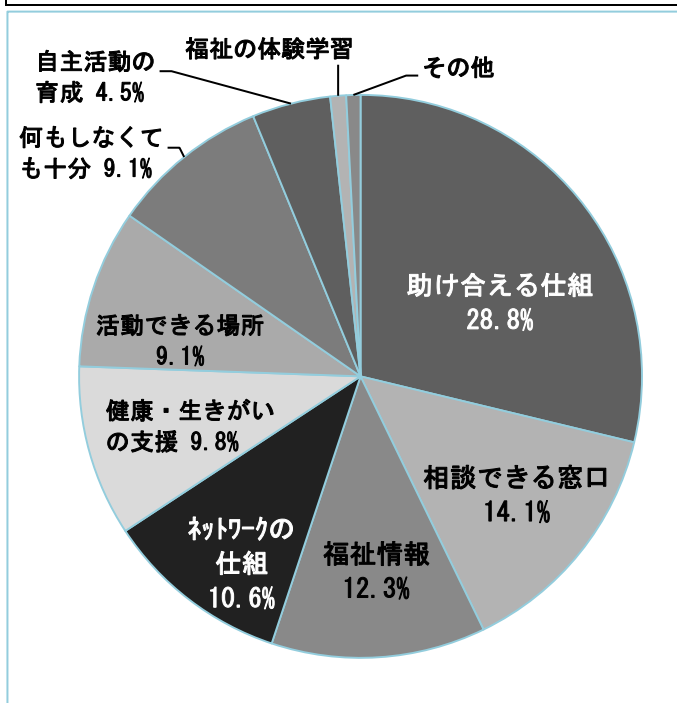


No.	カテゴリー名	n	%
2	必要な時だけ	374	27.8%
4	会えば挨拶する程度	362	26.9%
1	積極的つきあい	278	20.7%
3	立ち話をする程度	214	15.9%
5	していない	38	2.8%
6	住人を知らない	15	1.1%
7	その他	7	0.5%
	不明	58	4.3%
	全体	1,346	100%

7. その他（具体的に）：付合いは面倒である。引っ越したばかりで、まだ何もしてないです……。①と②の中間のほどよいお付き合い。自治会活動、町内会、助け合い、ケースバイケース。高齢者クラブや友人、近所でも色々あるので1つだけでは答えられない。

【問 26】 あなたは、地域とのかかわりで特に何が必要だと思いますか。（主なものを3つまで）

1. 地域住民がお互いに助け合える仕組み
2. 健康づくりや生きがいづくりへの支援
3. ボランティアやNPOなど住民の自主活動の育成
4. 福祉に関する体験学習（手話講習会やヘルパー講座など）
5. 身近に利用できる福祉サービスに関する情報
6. 気軽に相談できる窓口の設置
7. 地域で支援される人、支援する人をつなぐ仕組み
8. 地域で集まり活動できる場所
9. その他（具体的に_____）
10. 特に何もしなくても十分

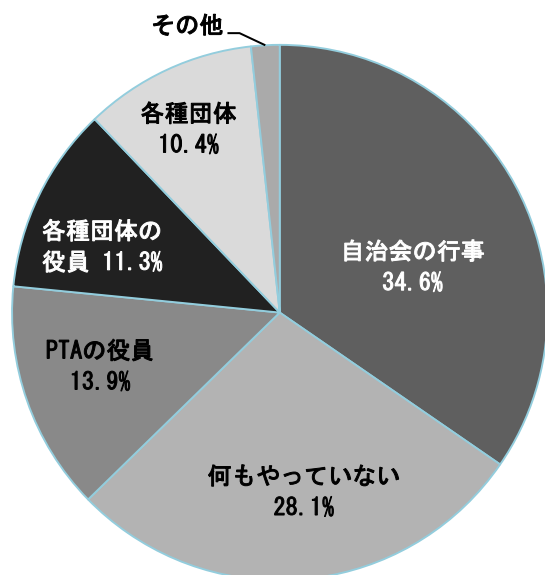


No.	カテゴリー名	n	%
1	助け合える仕組み	598	28.7%
6	相談できる窓口	293	14.1%
5	福祉情報	257	12.3%
7	ネットワークの仕組み	222	10.6%
2	健康・生きがいの支援	205	9.8%
8	活動できる場所	190	9.1%
10	何もしなくても十分	190	9.1%
3	自主活動の育成	94	4.5%
4	福祉の体験学習	19	0.9%
9	その他	17	0.8%
	全体	2,085	100%

9. その他（具体的に）：育児支援の強化は至急必要と思う。親子で集まれる場所だけでも欲しい。働く場があればいいと思う。自分の仕事や家族のことで精一杯です。現在地域の活動をやってはいるが何年できるかは不安である。支える側が高齢化しているのでいずれ支えきれなくなる。若い人が転入できる仕組みに力を入れることが急務だと思う。子どもと地域の関わりを作る。若手・中年の地域を引っ張る人材の育成。地域で集まり活動できる場所での活動そのもの。若い人が住めるように支援。自治会の活動協力、祭りごとなど。活動されている方は多いと思う、でも必要性を感じていない人たちに対してのアプローチが必要。1～8までの項目全て行う必要があると思う。特に地域との関わりは持ちたくない。

【問 27】あなたは、これまでに次のような地域活動に参加したことがありますか。
(いくつでも)

1. 自治会の行事
2. 少年団や高齢者クラブ、消防団などの各種団体の役員または委員
3. PTA の役員
4. 地域振興団体、ボランティア団体、NPO 団体
5. その他（具体的に_____）
6. 特に何もやっていない

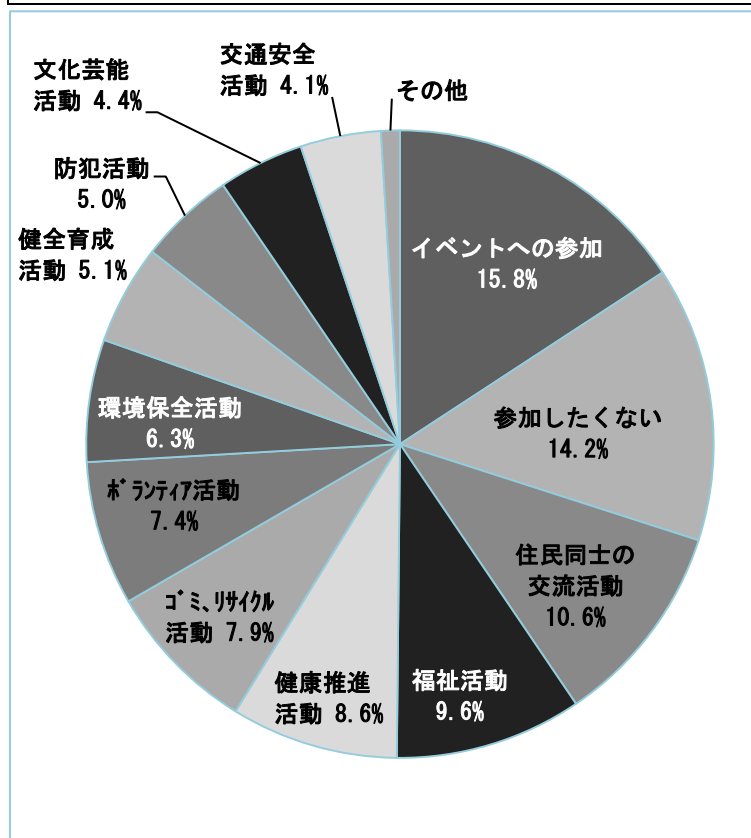


No.	カテゴリー名	n	%
1	自治会の行事	564	34.6%
6	何もやっていない	458	28.1%
3	PTAの役員	226	13.9%
2	各種団体の役員	184	11.3%
4	各種団体	170	10.4%
5	その他	28	1.7%
	全体	1,630	100%

5. その他（具体的に）：別の場所にて。町内会の会合・役など。漁協の女性部青年部のイベント活動。老人クラブ。婦人部の活動。町内会で行われた清掃等。高齢でできない。農業委員会委員 20 年、農業協同組合理事 2 期。公共の建物の花壇づくり等の参加。子ども会。高齢者への食事配りをした婦人会員で作ったもの。町内会の役員・審議会等の委員。獅子舞保存会。趣味のサークル。農協役員・農業委員・水利組合・共済組合・貯水組合。農協青年部、J C など。ごみ拾い。町内会の清掃。子ども会の役員。消防団。地域協議会。パークゴルフ同好会。町内会会長。

【問 28】あなたは、今後どのような地域の活動に参加したいと思いますか。（いくつでも）

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの健全育成活動 | 8. スポーツや健康づくりを推進する活動 |
| 2. 高齢者、障がい者等を対象とする福祉活動 | 9. 文化や芸術、芸能活動 |
| 3. ゴミ、リサイクル等の環境活動 | 10. お祭りやイベントへの参加 |
| 4. 防犯活動 | 11. 趣味や経験、技能を活かしたボランティア |
| 5. 交通安全に関する活動 | 12. その他（具体的に_____） |
| 6. 自然環境を保全するための活動 | |
| 7. 世代間の交流や住民同士の交流活動 | 13. 特に地域の活動には参加したくない |



No.	カテゴリー名	n	%
10	イベントへの参加	293	15.8%
13	参加したくない	263	14.2%
7	住民同士の交流活動	196	10.6%
2	福祉活動	179	9.6%
8	健康推進活動	160	8.6%
3	ゴミ、リサイクル活動	146	7.9%
11	ボランティア活動	138	7.4%
6	環境保全活動	117	6.3%
1	健全育成活動	95	5.1%
4	防犯活動	92	5.0%
9	文化芸能活動	82	4.4%
5	交通安全活動	77	4.1%
12	その他	18	1.0%
	全体	1,856	100%

12. その他（具体的に）：できる範囲であれば何でも。高齢のため活動出来ない。いずれも子育てが落ち着いたら。年齢的に参加してもできるかどうか不安なので…。歴史を掘り起こしたり、現在を記録したりするボランティアがあれば協力したい。厚田の歴史や伝統文化を学ぶこと。参加しても自分がついていけるかわからないから。高齢のため参加が難しい。足が悪く参加が難しい。移住促進。加齢とともに地域活動も徐々にできなくなっている。自分が協力できる事があれば、ケースバイケースで。

9. クロス分析

単純集計で調査項目の傾向を把握することが出来ました。但し、単純集計だけでは、傾向が分かるだけで、更に詳しい分析が必要になります。例えば、【問9】あなたは厚田区のどのようなところを課題と感じていますか（主なもの3つまで）という質問があります。

No.	カテゴリー名	n	%
1	歴史や文化の保全が十分でない	59	2.0%
2	日常の買物で不便を感じる	752	25.0%
3	昔なじみの隣人、知人が少なくなった	172	5.7%
4	高齢者、障がい者等の医療・福祉対策	232	7.7%
5	地震や風水害等の災害に対する取り組み	103	3.4%
6	子育てを支援する取り組み	102	3.4%
7	自然環境を保全する取り組み	49	1.6%
8	バス等の公共交通機関	678	22.5%
9	広場、公園等の施設設備	76	2.5%
10	高齢化、人口減少	650	21.6%
11	住民交流の拠点が無い	61	2.0%
12	その他	31	1.0%
13	特に課題や問題点はない	46	1.5%
	全体	3,011	100.0%

この厚田区の課題について単純集計した結果が左の表です。左の表の**太枠**の部分が20%を超えて、多くの回答者が課題と考えている項目（買物の不便、公共交通の課題、そして少子高齢化）です。

この3つの課題は、調査を少なくとも多くの住民がすでに分かっている事柄です。この分かっている項目でも、それでは、「買物の不便」と感じている人々に対して、もう少し詳しく分析したのがクロス分析です。

「買物の不便」と感じているのは、どの年代層が多いのか？

「公共交通を課題」と思っている

るのは、どの地域に住んでいる人々なのか？ 更に、どのような家族構成なのか？ 等々です。

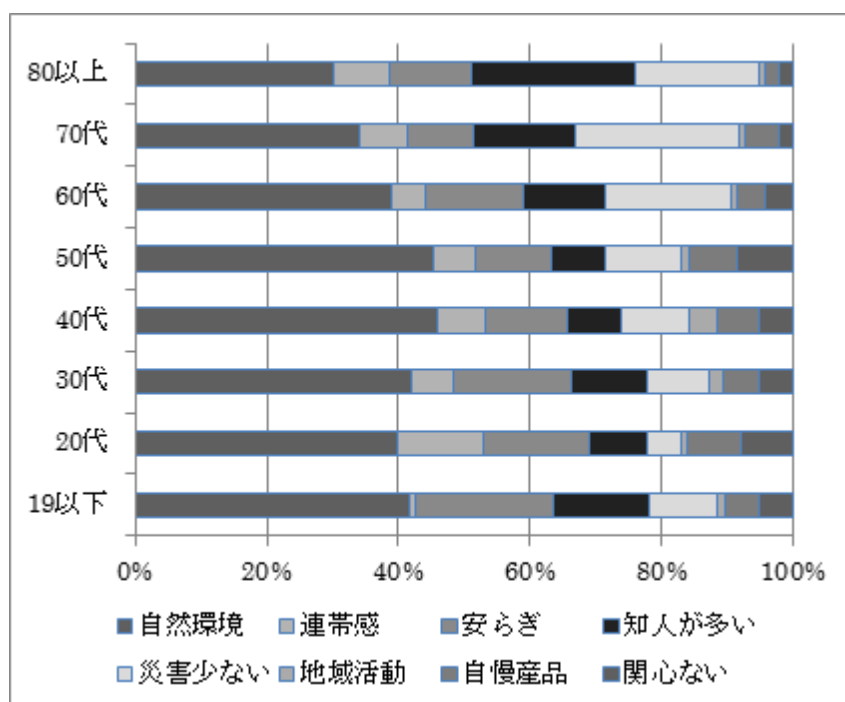
単純集計から見えてくるのは全体の傾向ですが、クロス分析は、年代別や住んでいる地域別、更には家族構成別といった回答者の属性と質問項目をクロスして集計します。その結果、質問項目が年代別に、地域別に、家族構成別により詳しく分析することができます。今回の調査でも、この2つ（単純集計＋クロス分析）を組み合わせながら、地域の人々の考えや思いを反映できるよう分析を行いました。

★【厚田区】についてのクロス分析

【問8】あなたは厚田区のどのようなところを良いところ、好きなところと感じていますか（主なもの3つまで）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自然環境に恵まれている | 6. 各種の地域活動が活発に行われている |
| 2. 地域の連帯感がある | 7. 他の地域に自慢できる産品がある |
| 3. 落ち着きと安らぎがある | 8. その他（具体的に_____） |
| 4. 知り合いが多く、安心して暮らせる | |
| 5. 大きな災害の心配が少ない | 9. 良いところ、好きなところはない |

● 年代別【問2】にみた「厚田の魅力」（【問8】と【問2】のクロス分析）



全ての年代で厚田の魅力を「自然環境」と回答しています。特に40、50代で高くなっています。

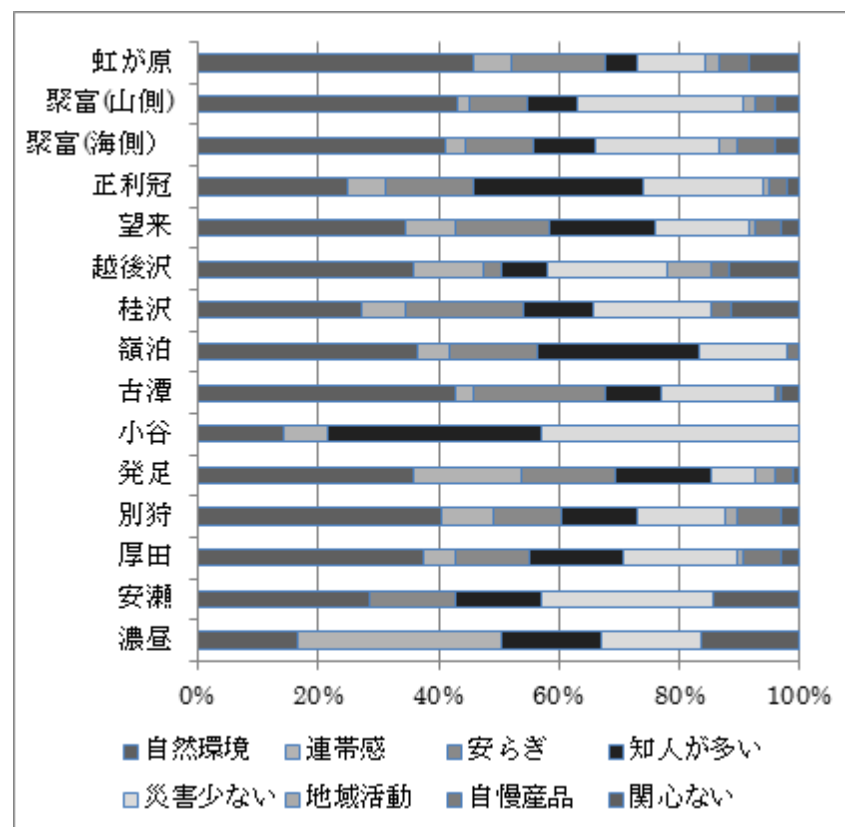
「安らぎ」は10代と30代で高く、

「知人が多い」は10代、70代、特に80代で多くなっています。

「災害が少ない」は、60代、特に70代で高くなっています。

従って、厚田の魅力は「自然環境」に恵まれ、「安らぎ」があり、「災害が少ない」地区であると言えます。

● 地域別【問3】にみた「厚田の魅力」（【問8】と【問3】のクロス分析）



厚田の魅力である「自然環境」を選択した地区として虹が原、聚富、古潭、別狩で高くなっています。

「知人が多い」では小谷、嶺泊、正利冠が高く、

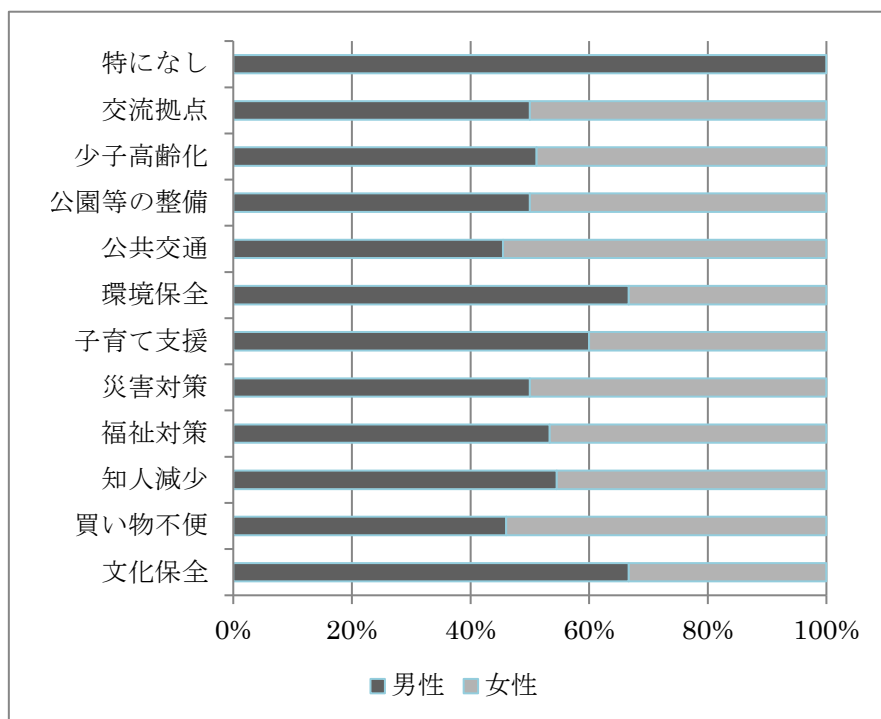
「災害が少ない」では聚富、特に小谷で高くなっています。

また、「連帯感」については発足、濃昼で高くなっています。

【問9】 あなたは厚田区のどのようなところを課題と感じていますか（主なもの3つまで）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 歴史や文化の保全が十分でない | 8. バス等の公共交通機関 |
| 2. 日常の買物で不便を感じる | 9. 広場、公園等の施設設備 |
| 3. 昔なじみの隣人、知人が少なくなった | 10. 高齢化、人口減少 |
| 4. 高齢者、障がい者等の医療・福祉対策 | 11. 住民交流の拠点がない |
| 5. 地震や風水害等の災害に対する取り組み | 12. その他（具体的に_____） |
| 6. 子育てを支援する取り組み | |
| 7. 自然環境を保全する取り組み | 13. 特に課題や問題点はない |

● 男女別【問1】にみた「地域課題」（【問9】と【問1】のクロス分析）

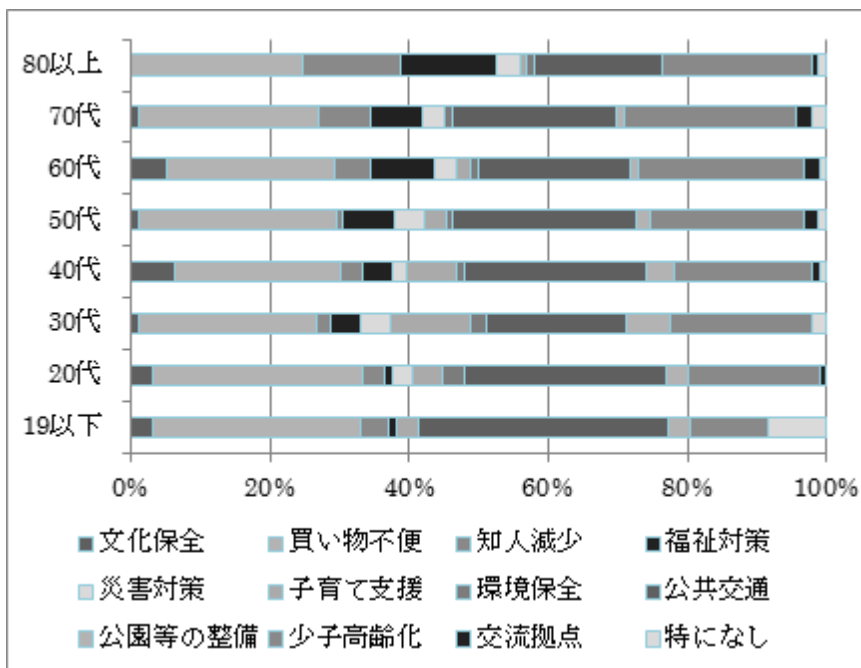


厚田の三大課題である「買物の不便」、「公共交通」、「少子高齢化」に関しては、男女差はあまりありませんが、

男性は「文化保全」、「環境保全」、「子育て支援」を、

女性は「買物の不便」、「公共交通」、「公園等の整備」を、課題としてあげています。

● 年代別【問2】にみた「地域課題」（【問9】と【問2】のクロス分析）

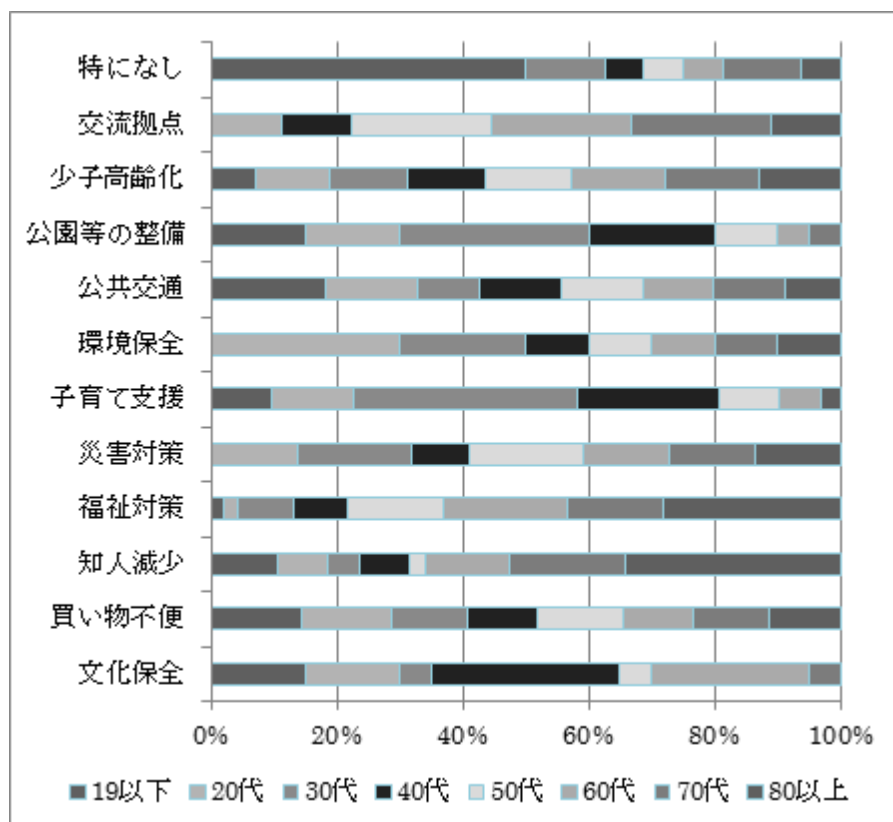


厚田の三大課題である「買物の不便」、「公共交通」、「少子高齢化」を年代別にみると、「買物の不便」は、あまり変化はありませんが、

「公共交通」では、年代が低くなるにつれて深刻な課題であり、

反対に「少子高齢化」問題は年代が高くなるにつれて重要課題と認識されています。

● それぞれの地域課題からみた各年代の占める割合（【問2】と【問9】のクロス分析）



上記のクロス分析の行と列（X軸とY軸）を交換してそれぞれの課題を説明変数にすると、年代による課題の捉え方が明らかになります。

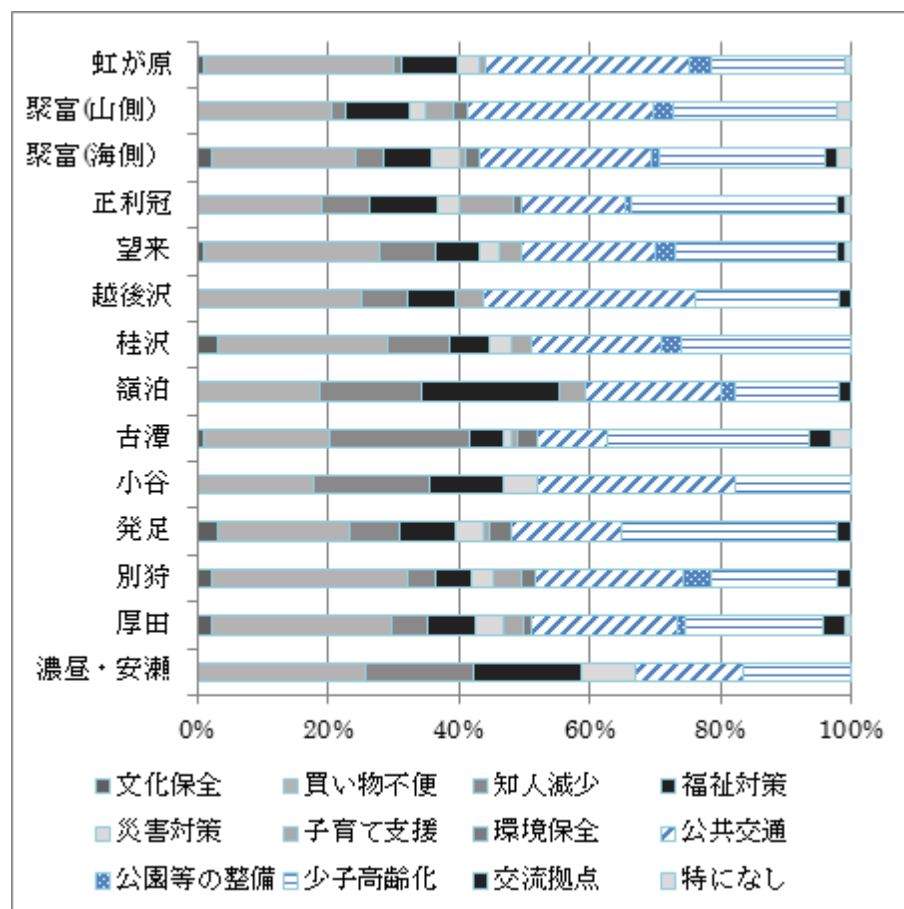
例えば、「文化保全」に関しては、40代・50代の選択が多く、

「買物の不便」に関しては、全ての年代で課題と思い、

「知人の減少」に関しては80代が際立って高くなっています。

このように見えてくると、30代は「子育て支援」と「公園等の整備」を課題として捉えていることが分かります。

● 地域別【問3】にみた「地域課題」（【問9】と【問3】のクロス分析）



各地域別に地域課題をみると、「買い物不便」が全地区で高く、特に厚田、別狩、望来、虹が原で高くなっています。

「公共交通」も全地区で高いが、虹が原、越後沢、小谷で高くなっています。

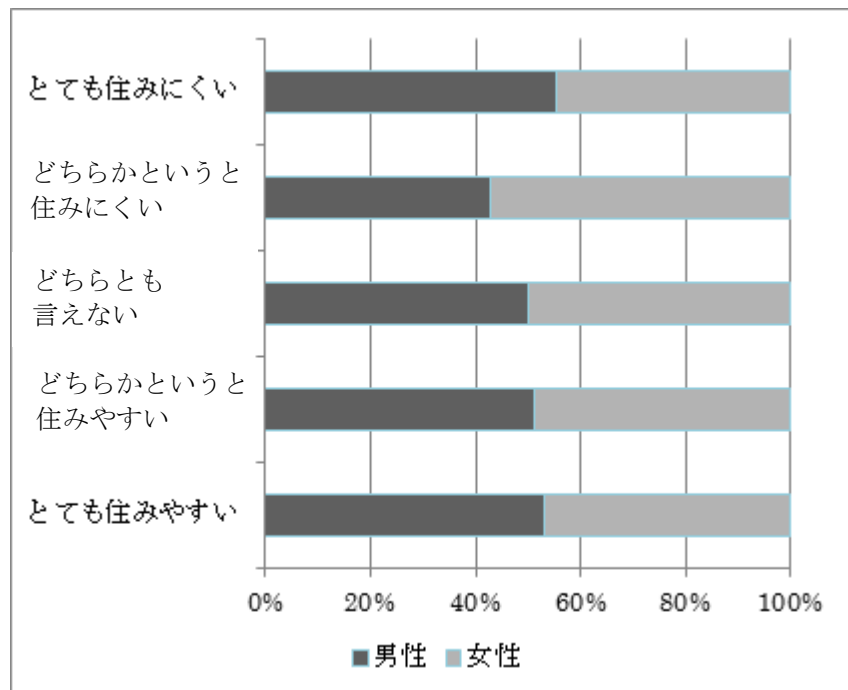
「知人減少」は嶺泊、古潭、小谷、濃昼、安瀬で高く、

「少子高齢化」は、正利冠、発足、古潭で高くなっています。

【問 11】 あなたにとって厚田区は住みやすい地域ですか。（○はひとつだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 4. どちらかというと住みにくい |
| 2. どちらかというと住みやすい | 5. とても住みにくい |
| 3. どちらとも言えない | |

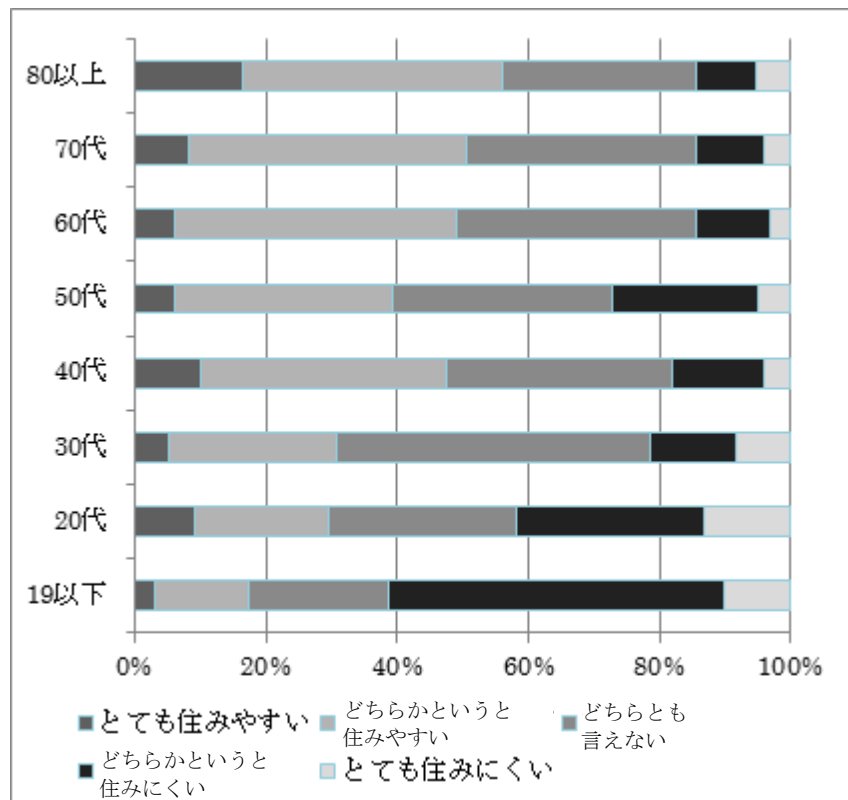
● 男女別【問 1】にみた「厚田の住みやすさ」（【問 11】と【問 1】のクロス分析）



「厚田の住みやすさ」については、男女の差はあまりありませんが、

「とても住みにくい」については、男性が幾分高くなっています。

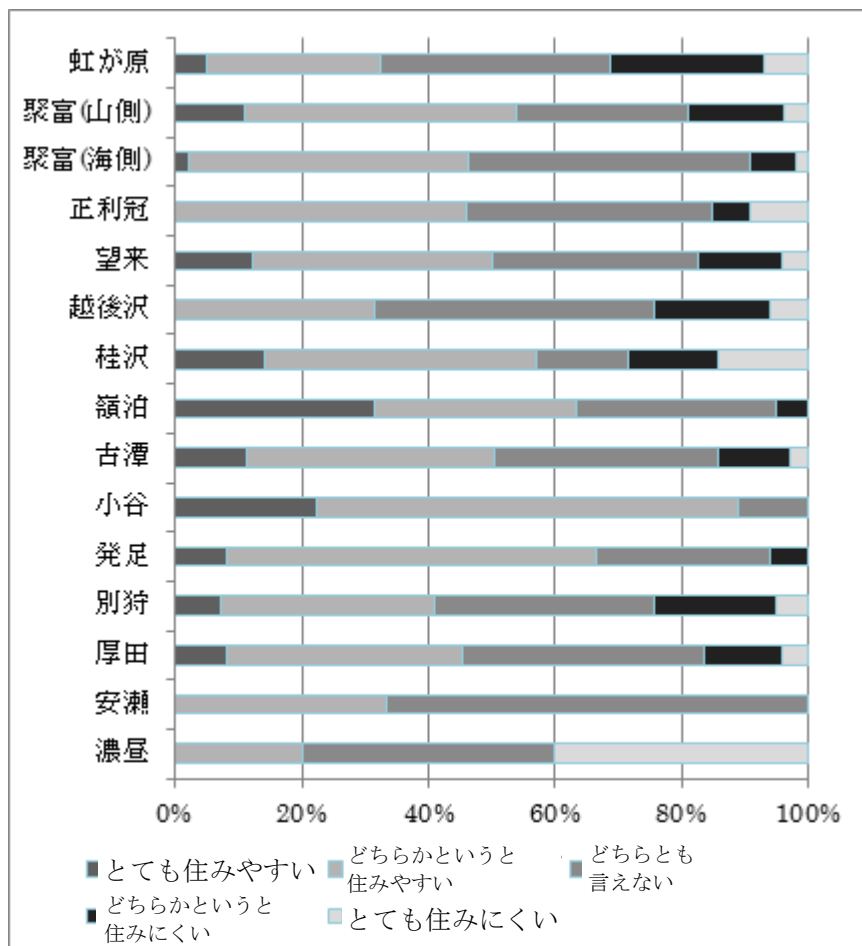
● 年代別【問 2】にみた「厚田の住みやすさ」（【問 11】と【問 2】のクロス分析）



「とても住みやすい」+「どちらかというと住みやすい」は年代が上がるにつれて、回答が高くなっています。

「どちらかというと住みにくい」の回答は、10代（15歳～19歳）、20代で高くなっています。

● 地域別【問3】にみた「厚田の住みやすさ」(【問11】と【問3】のクロス分析)



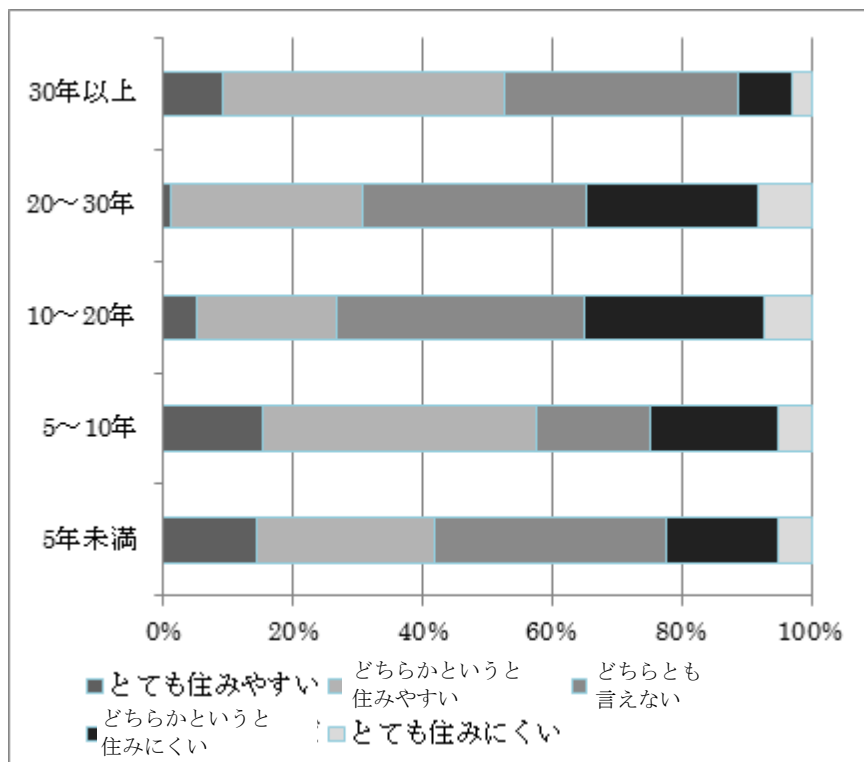
「とても住みやすい」は嶺泊、小谷で高く、

「どちらかという住みやすい」は各地区で高いが、特に小谷、発足で高くなっています。

「どちらかという住みにくい」は虹が原、別狩で高く、

「とても住みにくい」は濃昼、桂沢で高くなっています。

● 居住年数別【問4】にみた「厚田の住みやすさ」(【問11】と【問4】のクロス分析)



居住年数では、5~10年、30年以上の人々が「住みやすい」と感じ、

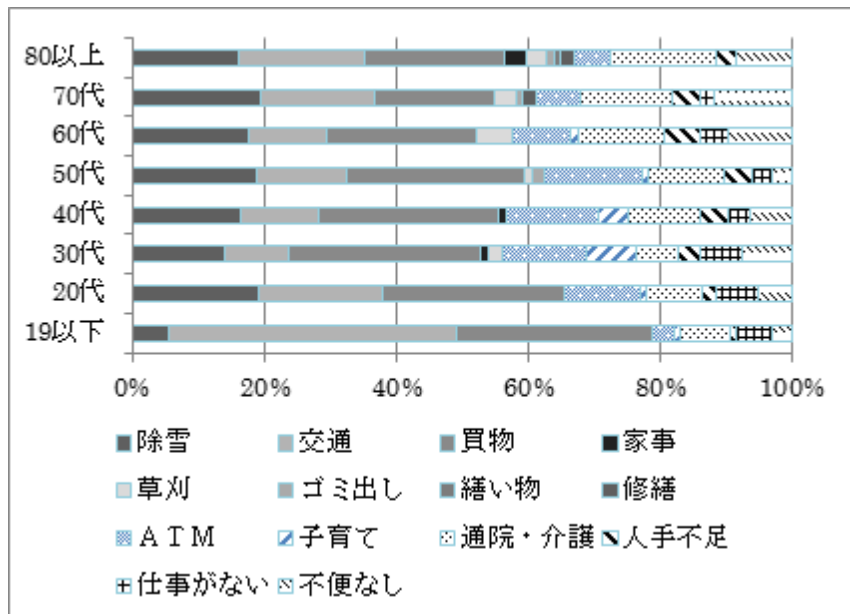
反対に 10~30年の人々が「住みにくい」と感じているようです。

★【日常生活】についてのクロス分析

【問13】 あなたは、今の生活で不便を感じることや困っていることはありますか。
(主なものを3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 除雪 | 9. 金融機関（ATMでの出入金） |
| 2. 交通（日常の足） | 10. 子育て環境 |
| 3. 買い物 | 11. 通院・介護環境 |
| 4. 家事（食事の支度・掃除・洗濯など） | 12. 人手、後継者不足 |
| 5. 草刈、庭の手入れ | 13. 仕事がない |
| 6. ゴミ出し | 14. その他（具体的に_____） |
| 7. 日曜大工仕事や繕い物 | |
| 8. 電球交換や家屋の簡単な修繕 | 15. 特に不便なことはない |

● 年代別【問2】にみた「今の生活に不便を感じている」（【問13】と【問2】のクロス分析）



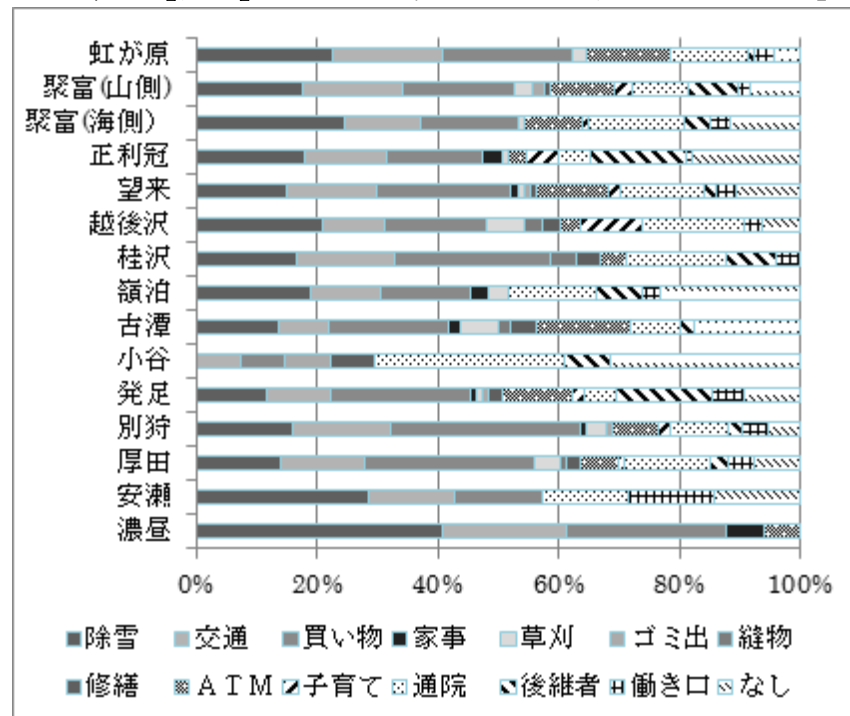
「除雪」は20～80代で高く、「交通」は全ての世代で高いが、10代で特に高くなっています。

「買い物」も全ての年代で一定以上のポイントがありますが、10～50代で比較的高くなっています。

「通院・介護」は70、80代が高く、

「不便なし」は70代で比較的高くなっています。

● 地域別【問3】にみた「今の生活に不便を感じている」（【問13】と【問3】のクロス分析）



「除雪」は濃屋で高く、

「買い物」は厚田、別狩、濃屋で高くなっています。

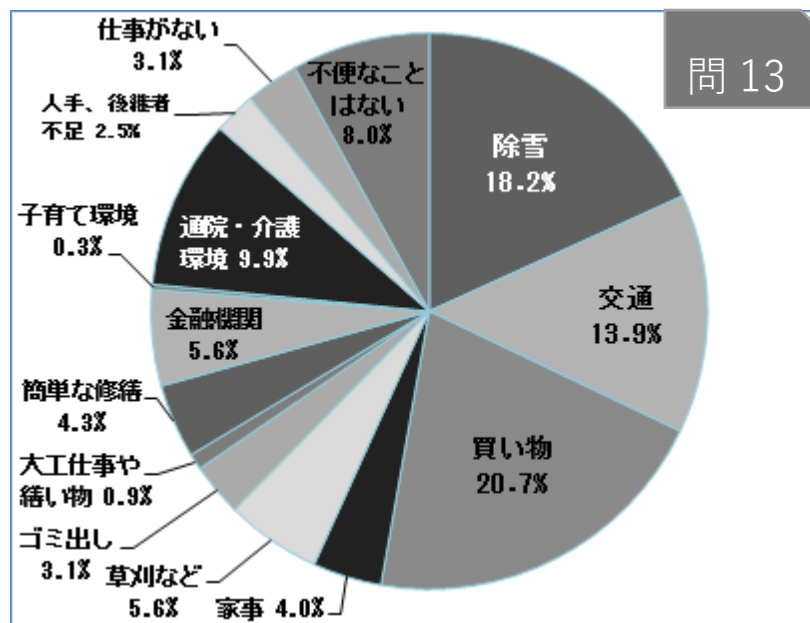
「通院」は小谷が高く、

「後継者不足」は正利冠で高くなっています。

「不便なし」は小谷、嶺泊で高くなっています。

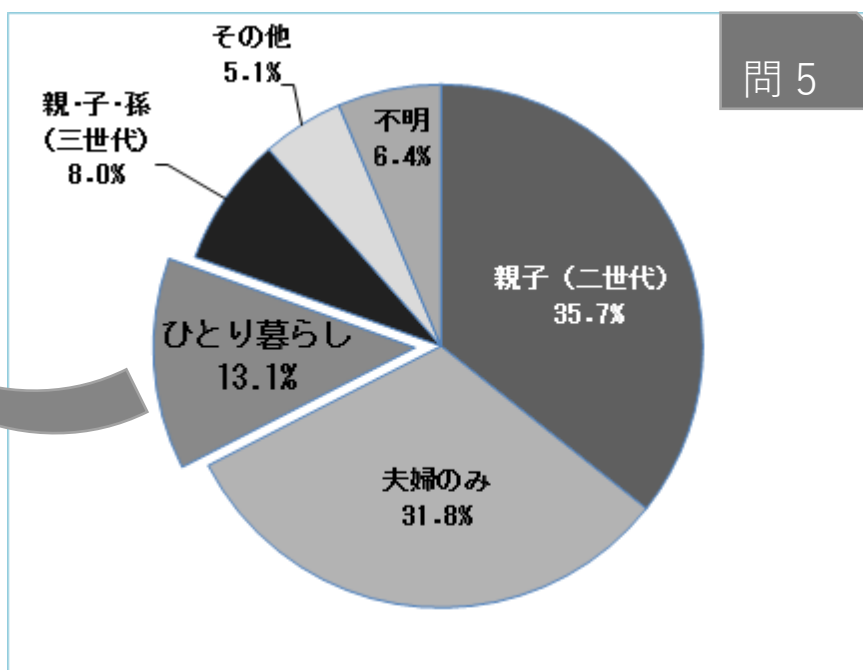
● 家族構成別（ひとり暮らしの人）【問 5】にみた「今の生活に不便を感じている」（【問 13】と【問 5】のクロス分析）

【問 13】あなたは、今の生活で不便を感じることや困っていることはありませんか



家族構成が「ひとり暮らし」の場合、不便を感じる項目として、「買い物」「除雪」「交通」「通院・介護環境」をあげています。

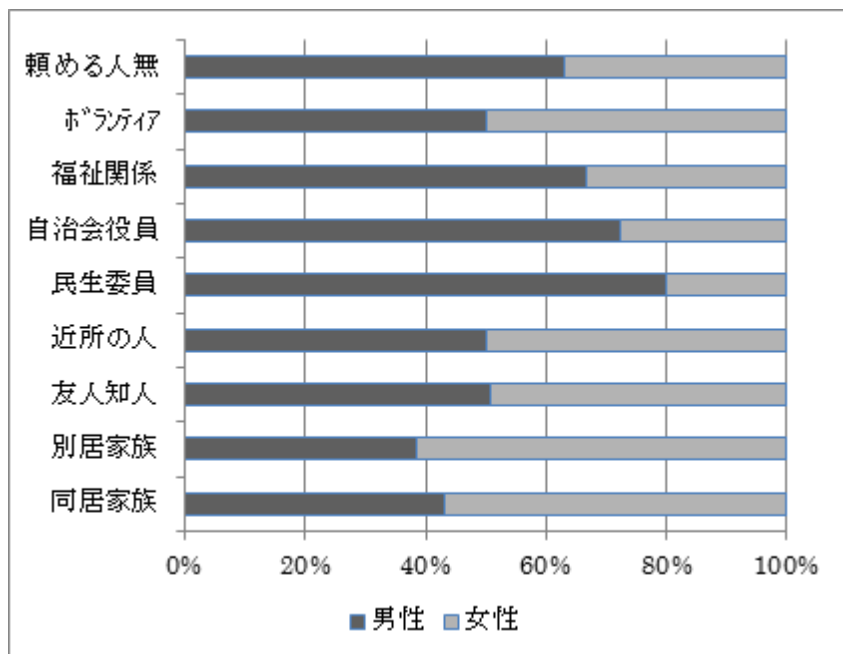
【問5】あなたの家族構成は？



【問 14】 あなたは、困っていることを誰かに頼んでいますか（主なものを2つまで）

- | | |
|----------|---------------------|
| 1. 同居の家族 | 6. 自治会役員 |
| 2. 別居の家族 | 7. ケアマネージャーなどの福祉関係者 |
| 3. 友人・知人 | 8. ボランティア |
| 4. 近所の人 | 9. その他（具体的に_____） |
| 5. 民生委員 | 10. 頼める人がいない |

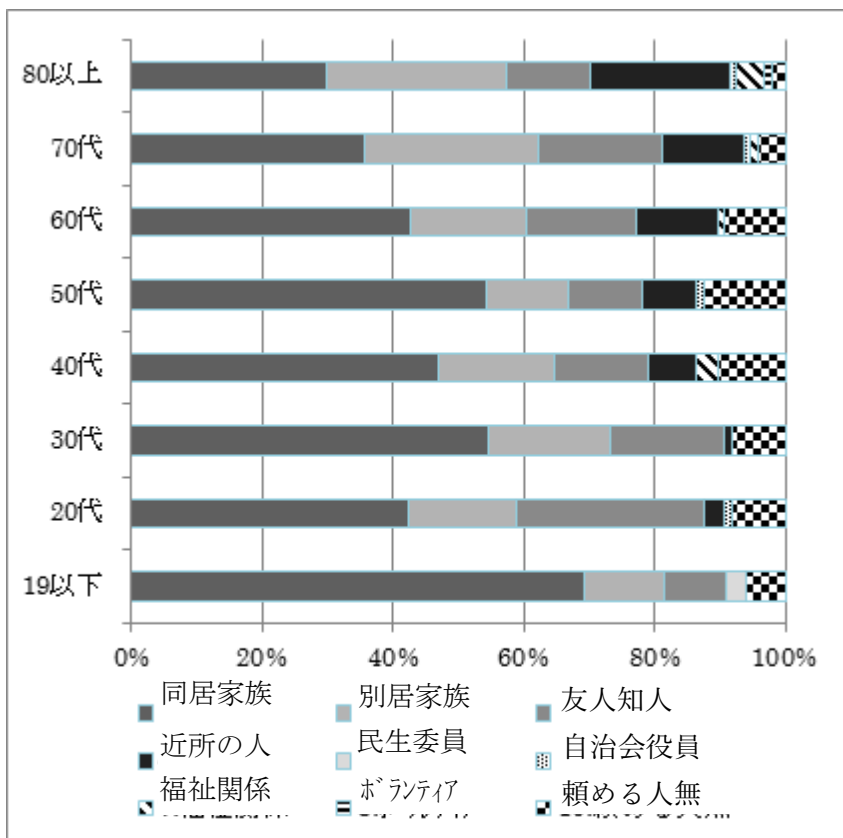
● 男女別【問 1】にみた「困りごとを頼める人は」（【問 14】と【問 1】のクロス分析）



困りごとを頼める人について、**男性は「民生委員」や「自治会役員」、「福祉関係者」に頼むのが女性より多くなっています。**

一方、**女性は「同居家族」や「別居家族」が男性より多くなっています。**

● 年代別【問 2】にみた「困りごとを頼める人は」（【問 14】と【問 2】のクロス分析）



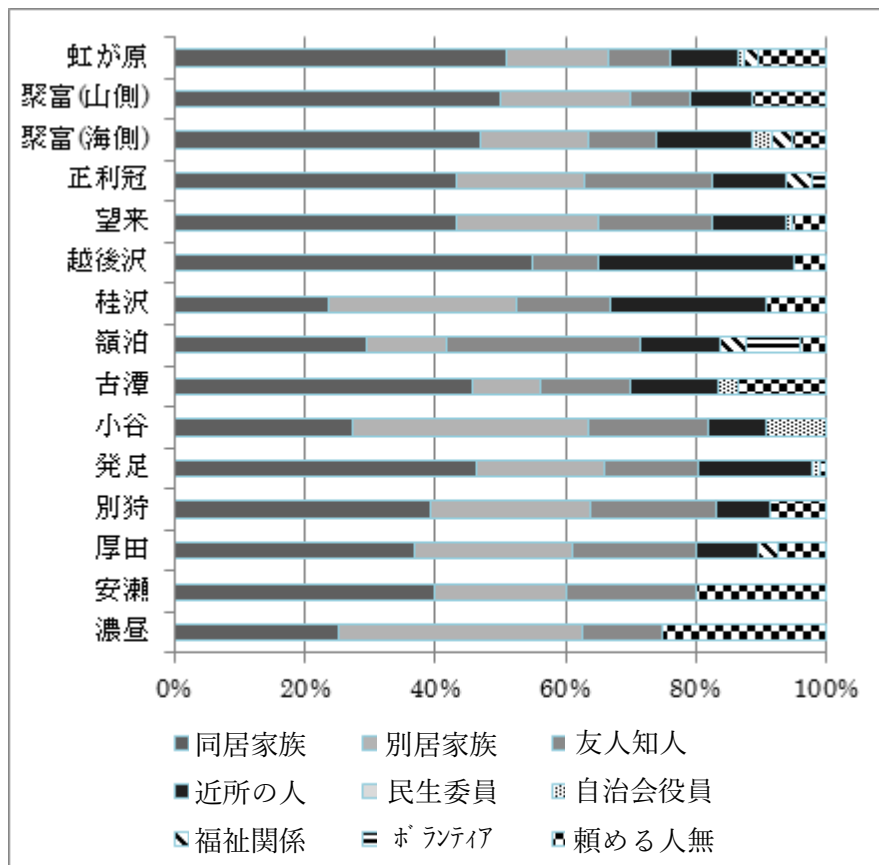
年代別に「困りごとを頼める人」は **19 歳以下は当然「同居家族」が多くなっています。**

年代が高くなるにつれ「同居家族」から「別居家族」に移行するのは、**離れた子ども達**と推測されます。

特徴的なのは、**20 代の「友人・知人」**です。

また、**40 代・50 代・60 代の「頼める人がいない」というのが気になります。**

● 地域別【問 3】にみた「困りごとを頼める人は」（【問 14】と【問 3】のクロス分析）



困りごとを頼めるのは、「同居の家族」との回答で越後沢が高く、

「別居の家族」は濃屋、小谷で高くなっています。

「友人」は嶺泊が高く、

「近所の人」は越後沢、桂沢、発足が高くなっています。

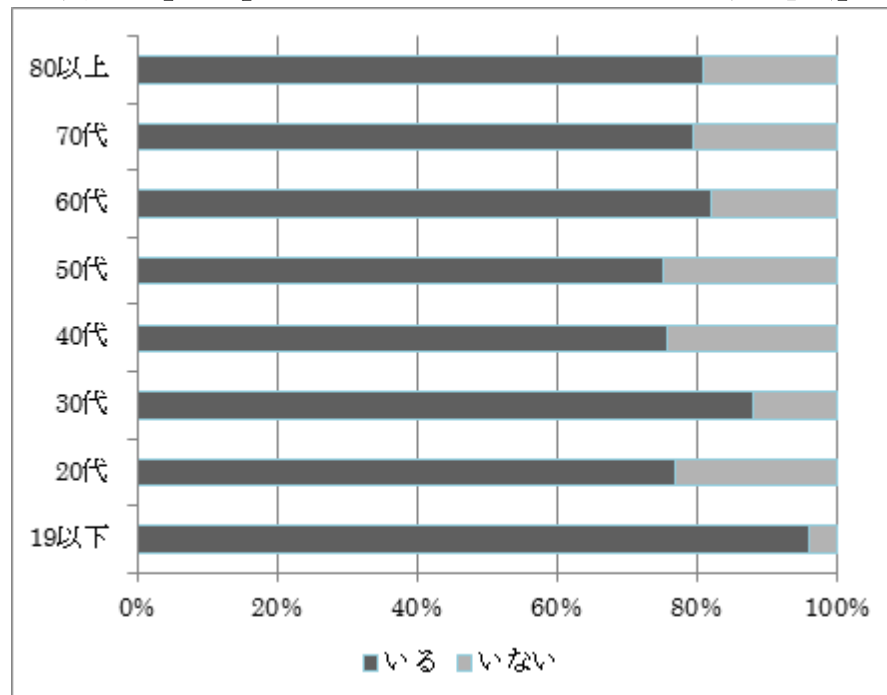
「自治会」は小谷で高く、

「頼める人がいない」は濃屋、安瀬で高くなっています。

【問 15】 あなたは、何かあればすぐに駆けつけてくれる人はいますか（○はひとつだけ）

1. いる（具体的に： ） 2. いない

● 年代別【問 2】にみた「駆けつけてくれる人の有無」（【問 15】と【問 2】のクロス分析）

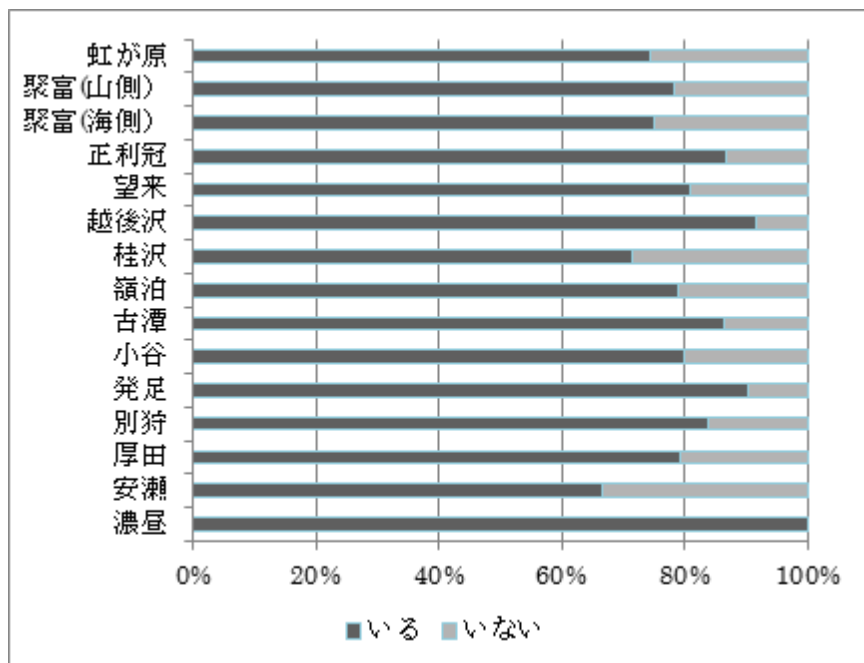


すべての年代で、約 8 割が「駆けつけてくれる人がいる」と回答していますが、

10 代、30 代を除く年代で、約 2 割の回答者が「いない」と答えています。

高齢になって、何かあったときに「駆けつけてくれる人がいない」というのは、何らかの対策の必要性を物語っています。

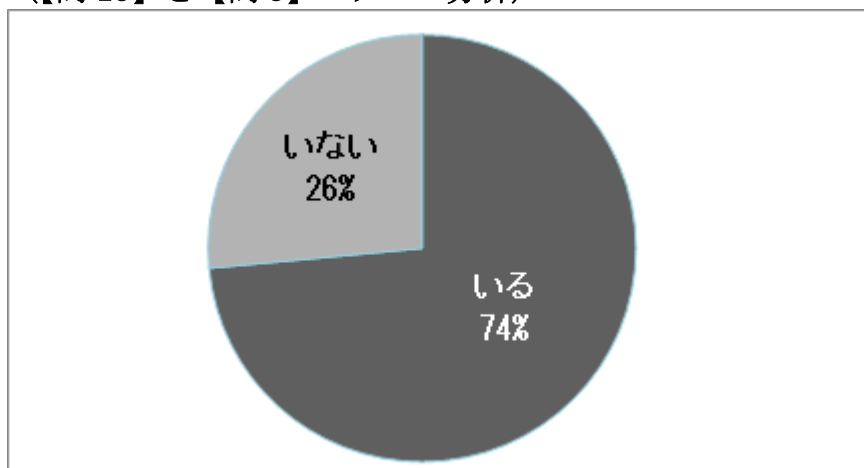
● 地域別【問 3】にみた「駆けつけてくれる人の有無」（【問 15】と【問 3】のクロス分析）



ほとんどの地区で約 8 割が「駆けつけてくれる人がいる」と回答していますが、

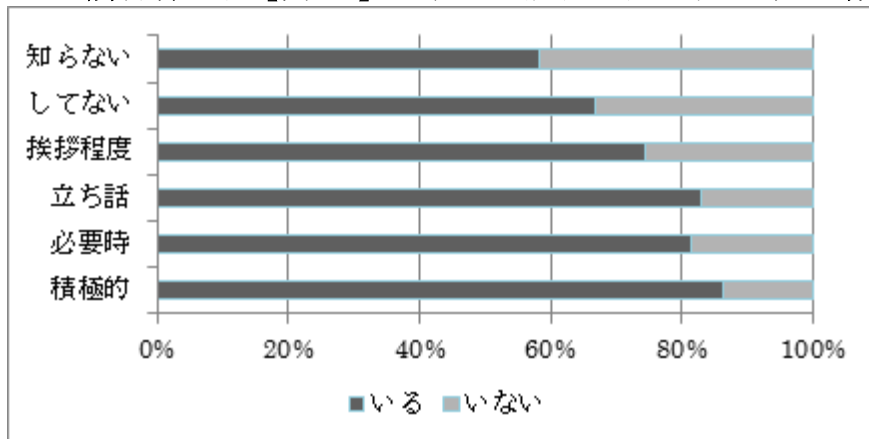
安瀬、厚田、小谷、嶺泊、望来、桂沢、聚富、虹が原では約 2 割が「いない」と回答しています。

● 家族構成別（ひとり暮らしの人）【問 5】にみた「駆けつけてくれる人の有無」（【問 15】と【問 5】のクロス分析）



【問 5】の「家族構成」で「ひとり暮らし」の回答者について、「駆けつけてくれる人の有無」で「いる」を選択した回答は 74%、「いない」は 26%です。

● 近所付き合い別【問 25】にみた「駆けつけてくれる人の有無」



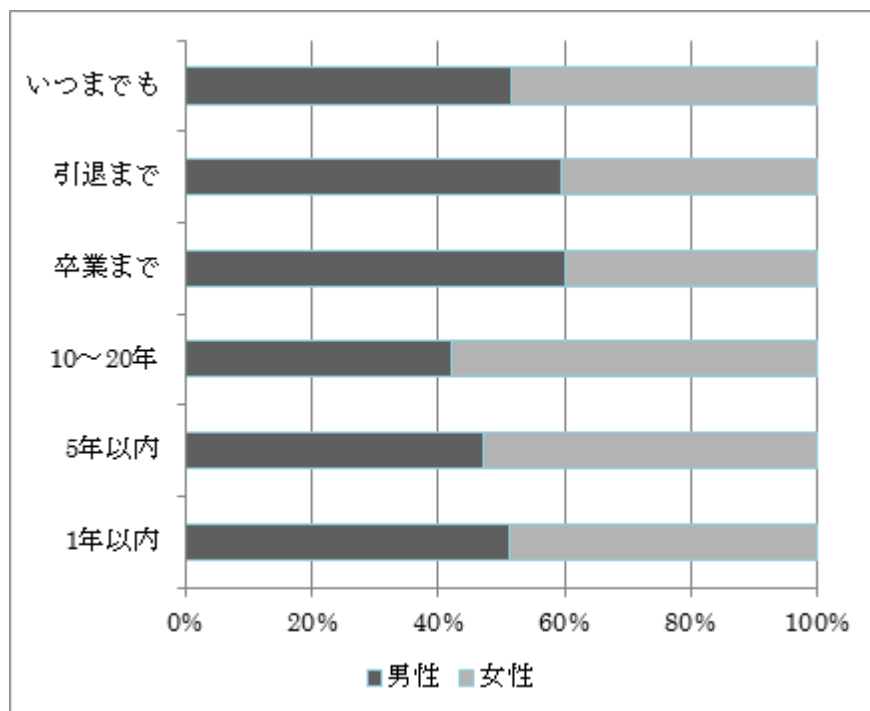
【問 25】の「近所付き合い」と【問 15】の「何かあったら駆けつけてくれる人」とをクロスすると、

「積極的な近所付き合い」と回答している人ほど「駆けつけてくれる人がいる」と回答しています。

【問 16】 あなたは、いつまで厚田で生活したいと思いますか（○はひとつだけ）

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 1年以内 | 4. 自分が学校を卒業するまで |
| 2. 5年以内 | 5. 仕事を終える（引退）まで |
| 3. 10～20年以内 | 6. いくつになっても住み続けたい（問17へ） |

● 男女別【問 1】にみた「いつまで厚田に暮らしたい」（【問 16】と【問 1】のクロス分析）

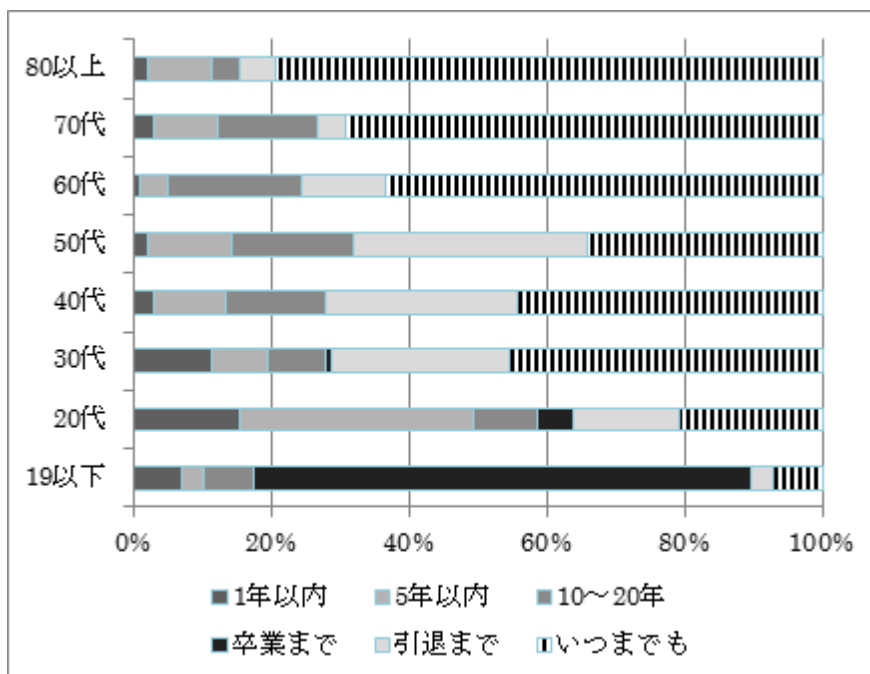


「いつまで厚田で暮らしたいか」を男女別でみると、「1年以内」と「いつまでも」は男女の差はありませんでしたが、

「卒業まで」と「引退まで」は男性の回答者が多く、

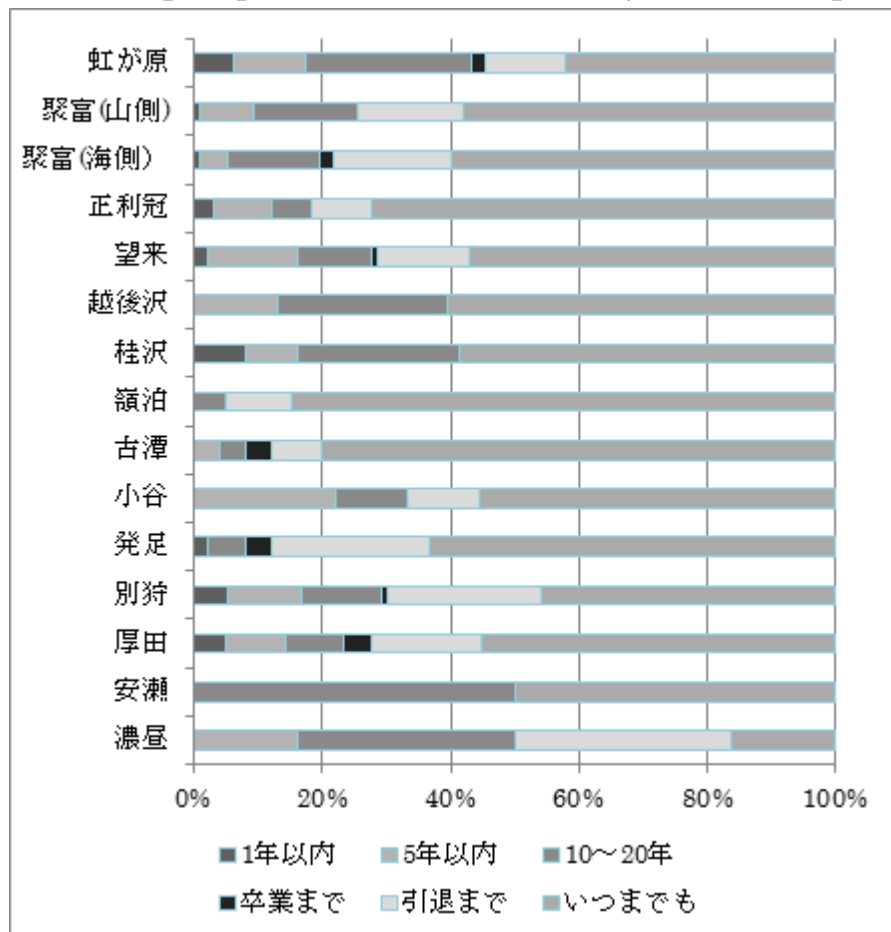
「10年～20年」は女性のほうが多くなっています。

● 年代別【問 2】にみた「いつまで厚田に暮らしたい」（【問 16】と【問 2】のクロス分析）



年代別には、高齢になるほど「いつまでも」という回答者が多くなっています。

● 地域別【問 3】にみた「いつまで厚田に暮らしたい」（【問 16】と【問 3】のクロス分析）

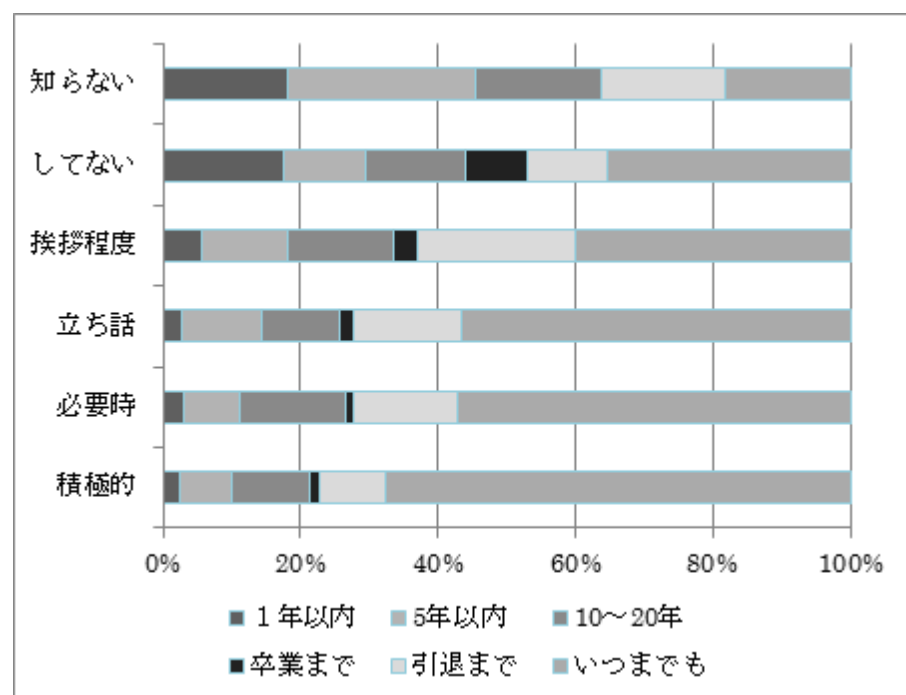


ほとんどの地区が 5 割以上で「いつまでも厚田で暮らしたい」を選択しています。

濃昼がそれぞれの選択肢を同じような割合で選択しています。

特に、古潭、嶺泊、正利冠が「いつまでも」を高い割合で選択しています。

● 近所付き合い別【問 25】にみた「いつまで厚田に暮らしたい」（【問 16】と【問 25】のクロス分析）



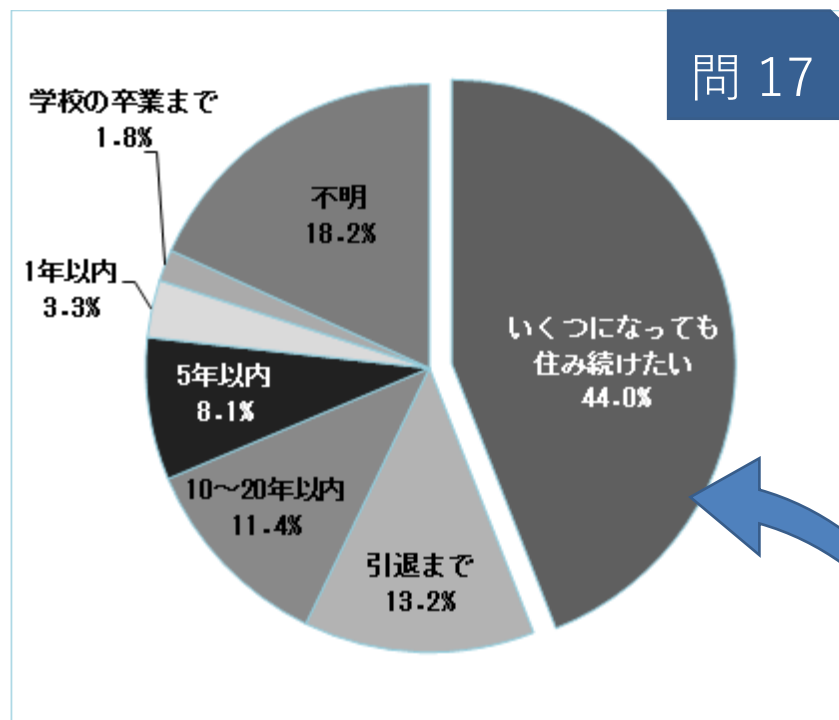
【問 25】の近所付き合いについて、「積極的」を選択した人の多くが【問 16】の「いつまで厚田で暮らしたいか」で「いつまでも」を選択しています。

この分析から「暮らし続ける」と「近所付き合い」との関係がわかります。

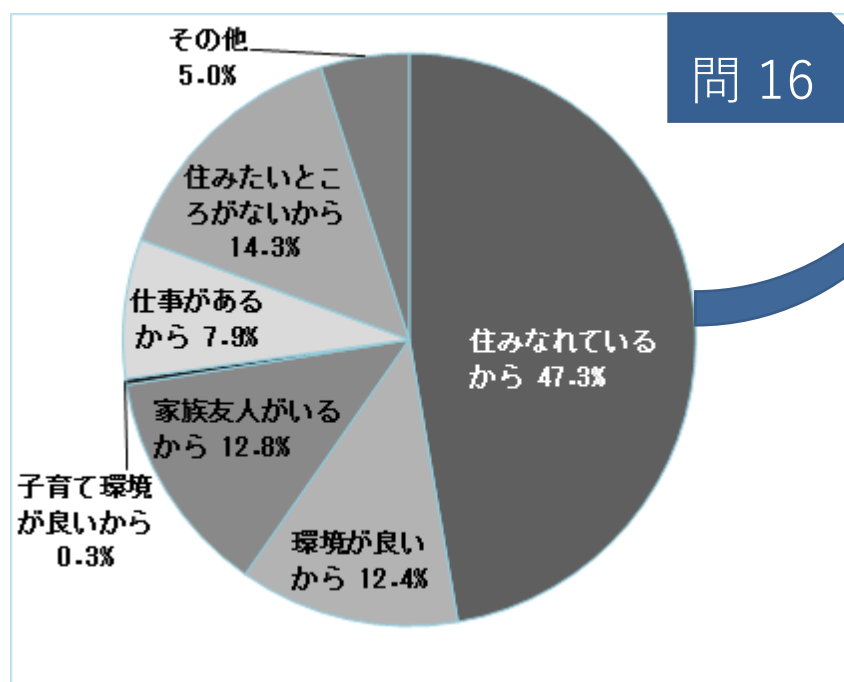
【問17】 問16で「いくつになっても住み続けたい」と回答した方、なぜそう思いますか。
(主なものを2つまで)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 長年住みなれているから | 5. 仕事があるから |
| 2. 環境が良いから | 6. 他に住みたいところがないから |
| 3. 家族や友人がいるから | 7. その他（具体的に_____） |
| 4. 子育てに良い環境だから | |

● 厚田に住み続けたい年数別（いくつになっても）【問16】にみた「住み続けたい理由」
（【問17】と【問16】のクロス分析）



「住みなれている」が47.3%と最も高く、次いで「住みたいところがない」14.3%、「家族友人がいる」12.8%、「環境が良い」12.4%の順となっています。

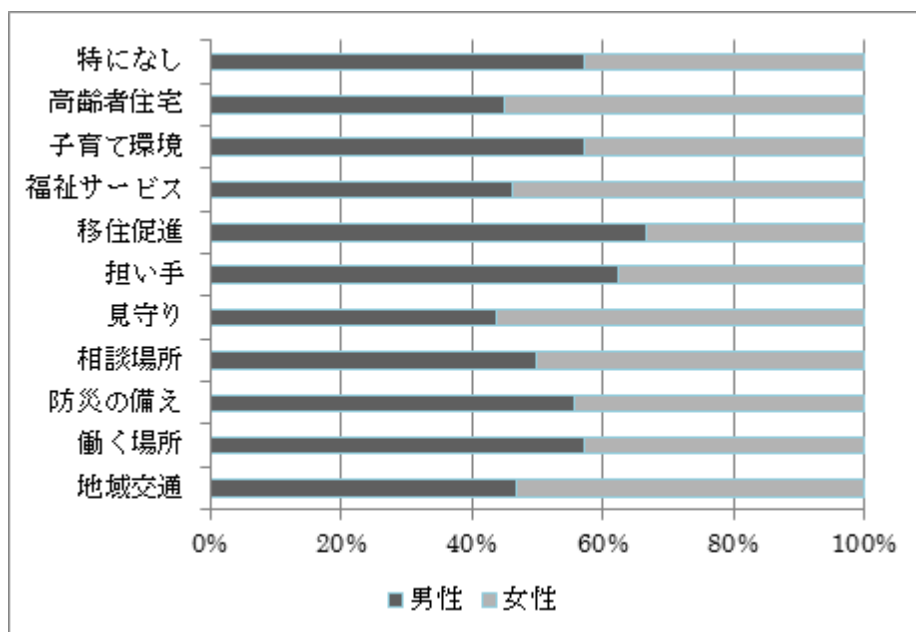


「住みなれている」「住みたいところがない」「家族友人がいる」が高くなっています。

【問 18】 これからもあなたが厚田で生活していくために、地域に何が必要だと思いますか。
(主なものを3つまで)

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 地域交通 | 8. 医療・福祉サービスの充実 |
| 2. 働くところ | 9. 安心して子育てできる環境 |
| 3. 災害時の備え | 10. 高齢者住宅など、いつまでも安心して暮らせる住宅 |
| 4. 困りごとを相談できるところ | 11. その他（具体的に_____） |
| 5. 一人暮らしの見守り | 12. 特になし |
| 6. 地域活動の担い手 | |
| 7. 移住促進 | |

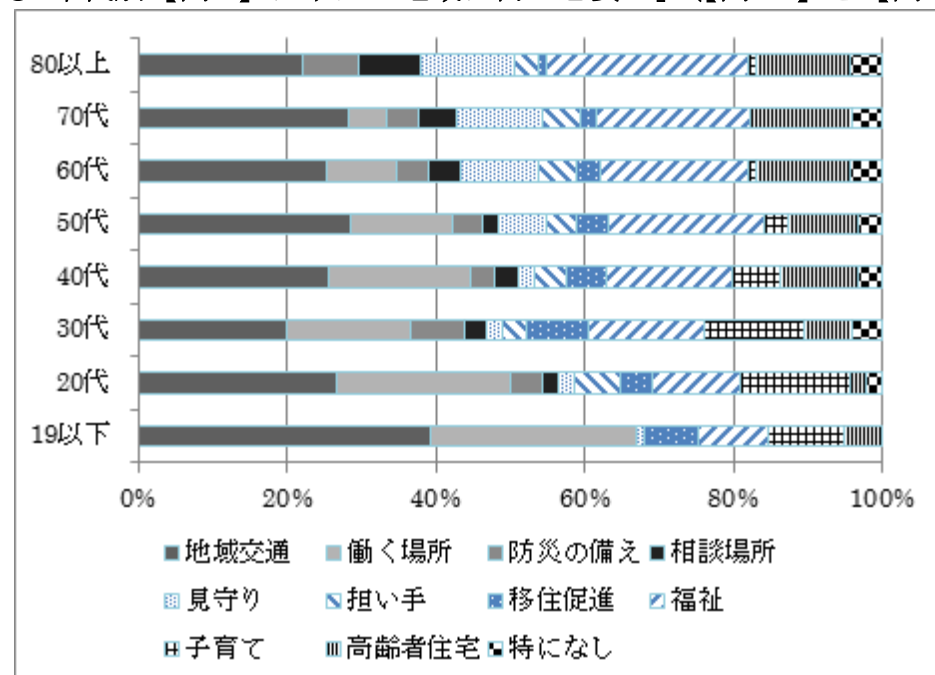
● 男女別【問 1】にみた「地域に何が必要か」（【問 18】と【問 1】のクロス分析）



男性では、「担い手」、「移住促進」の選択が多く、

女性では「見守り」、「福祉サービス」、「高齢者住宅」が多くなっています。

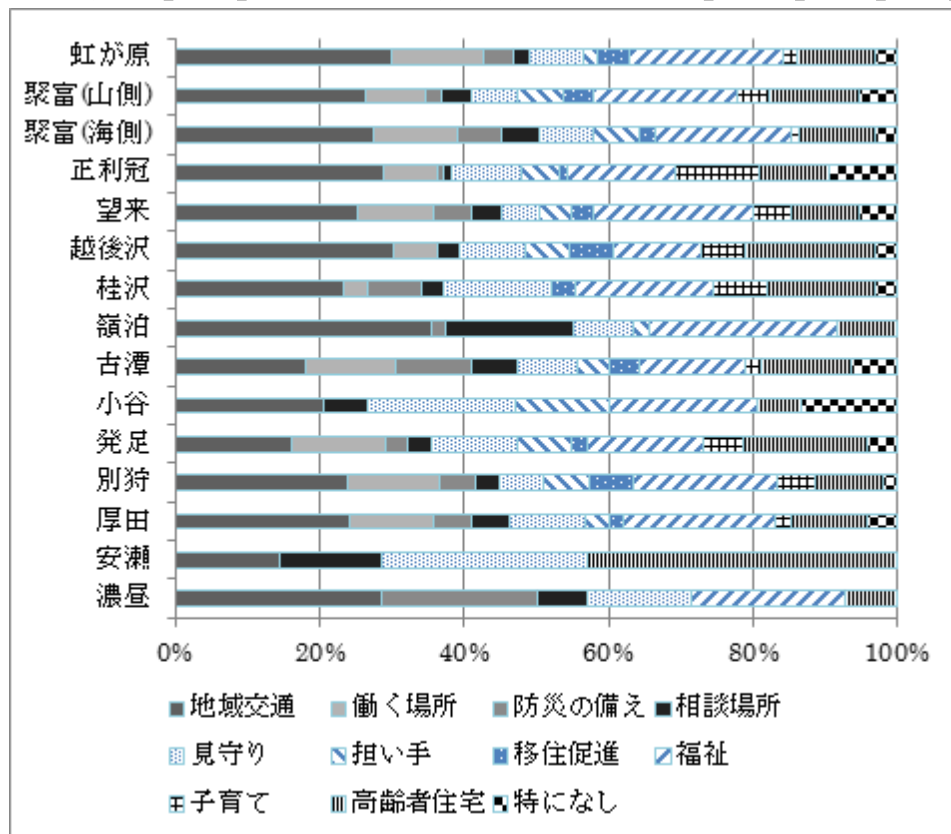
● 年代別【問 2】にみた「地域に何が必要か」（【問 18】と【問 2】のクロス分析）



若い 10 代 (15 歳～19 歳)、20 代は「地域交通」、「働く場所」の割合が高く、

一方、50 代以上になると「医療・福祉サービス」、「高齢者住宅」の割合が高くなっています。

● 地域別【問 3】にみた「地域に何が必要か」（【問 18】と【問 3】のクロス分析）



「地域交通」は全地域でポイントが得られたが、嶺泊以南で比較的高くなっています。

「福祉」も全地域でポイントが高いが、特に嶺泊で高くなっています。

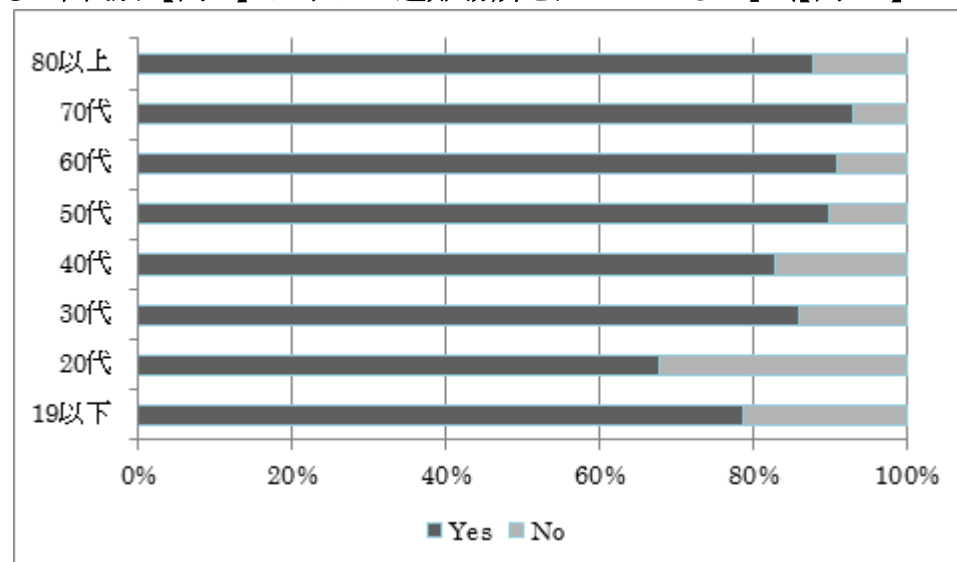
「見守り」は安瀬で高くなっています。

★【防災】についてのクロス分析

【問 19】 あなたは、地震や水害等の自然災害が起きたときに、どこに避難すればよいか知っていますか。(〇はひとつだけ)

1. 知っている 2. 知らない

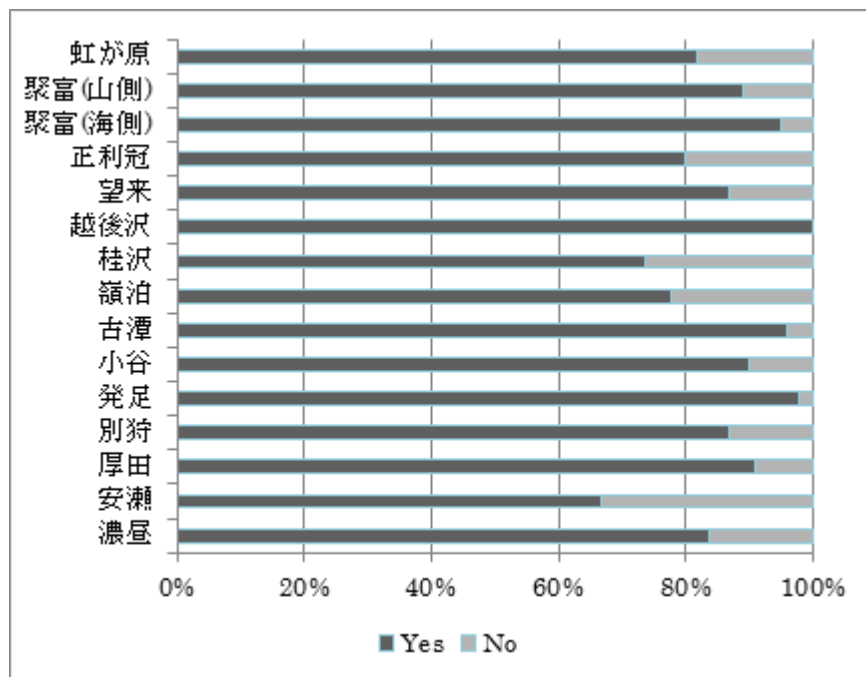
● 年代別【問 2】にみた「避難場所を知っているか」（【問 19】と【問 2】のクロス分析）



「知っている」が各年代で8～9割だったが、

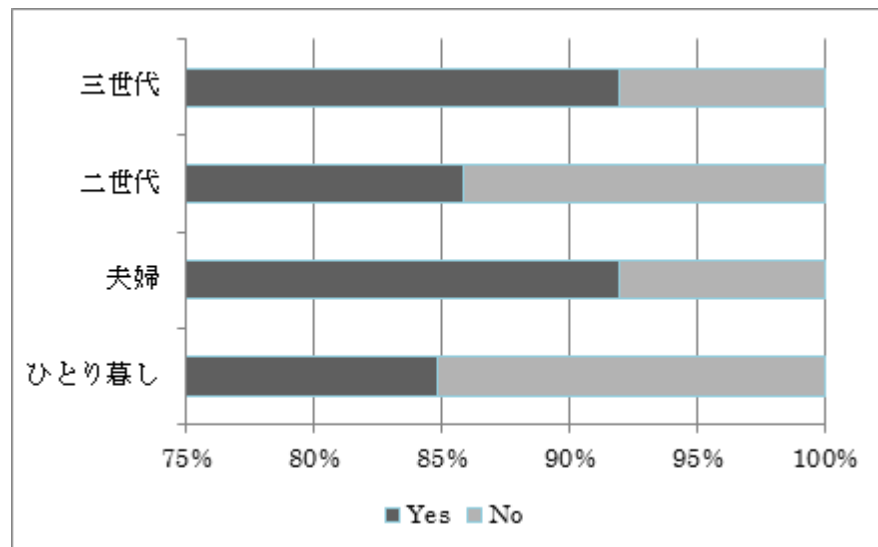
20代のみ7割を下回っています。

● 地域別【問 3】にみた「避難場所を知っているか」（【問 19】と【問 3】のクロス分析）



「知っている」が各地区で約 8 割以上、安瀬のみ 7 割を下回っています。

● 家族構成別【問 5】にみた「避難場所を知っているか」（【問 19】と【問 5】のクロス分析）



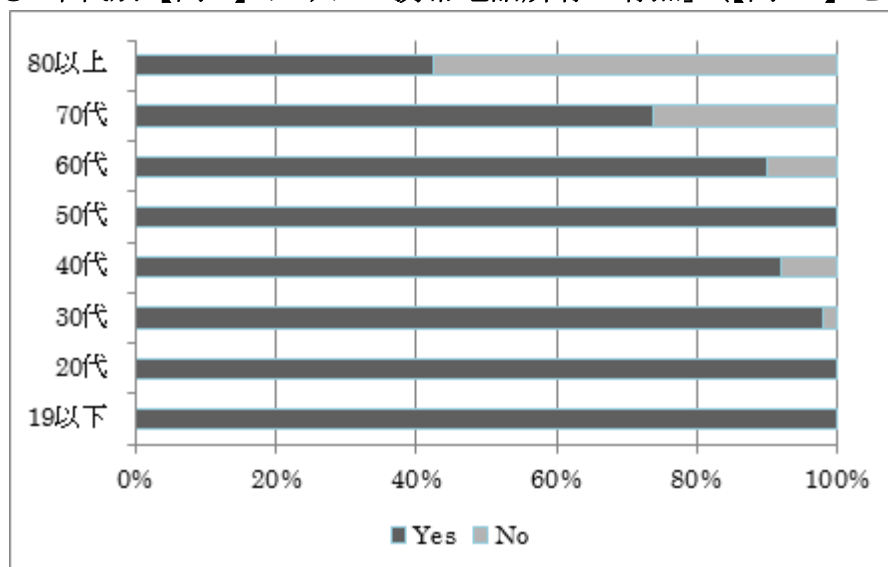
「知っている」は夫婦、三世代で 9 割超、ひとり暮らし、二世代で 85%前後となっています。

【問 20】 災害時はできるだけ早く情報を得ることがとても重要です。あなたは、携帯電話を持っていますか。(○はひとつだけ)

1. 持っている

2. 持っていない

● 年代別【問 2】にみた「携帯電話所有の有無」(【問 20】と【問 2】のクロス分析)



60代までの保有は9割以上、

70代で7割台、

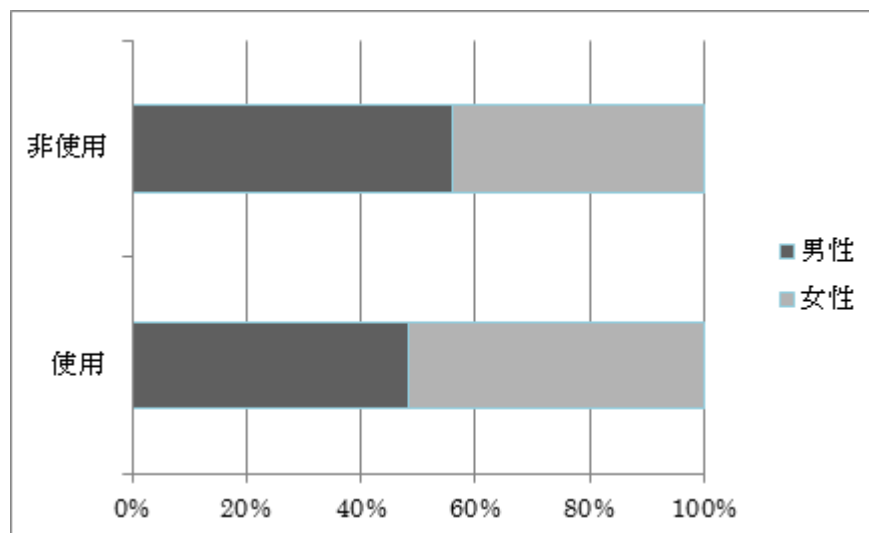
80以上で4割強の保有となっています。

【問 21】 問 20で「持っている」と回答した方、メール機能は使っていますか。(○はひとつだけ)

1. 使っている

2. 使っていない

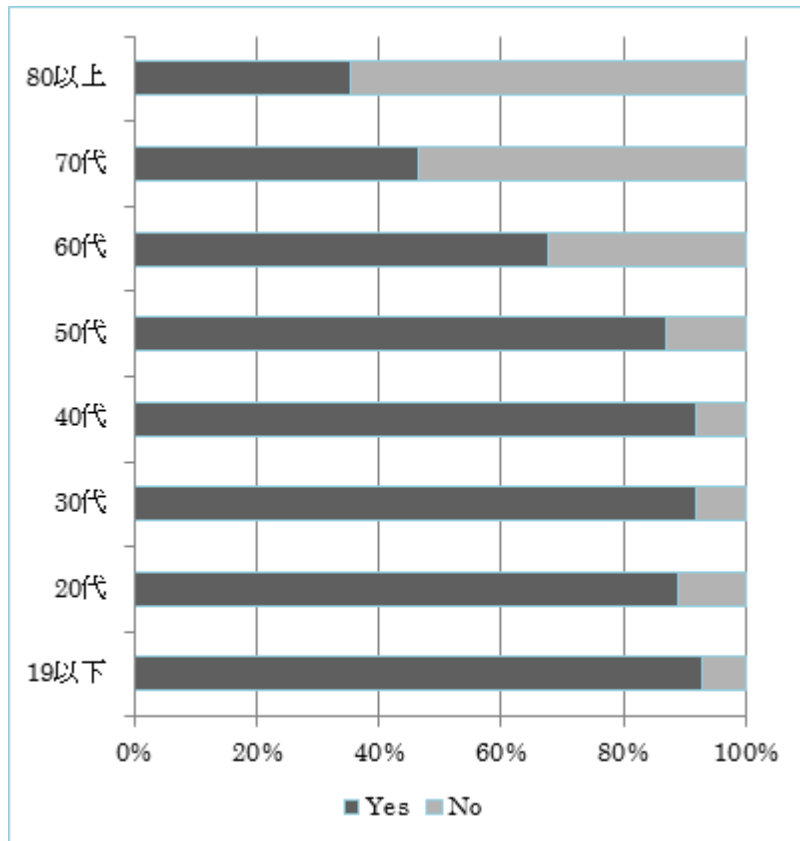
● 男女別【問 1】にみた「メール機能使用の有無」(【問 21】と【問 1】のクロス分析)



メール機能の有無については、「使用している」と回答した男女はほぼ同数ですが、

「使っていない」と回答者は男性が幾分多くなっています。

● 年代別【問 2】にみた「メール機能使用の有無」（【問 21】と【問 2】のクロス分析）



「メール機能の活用」は

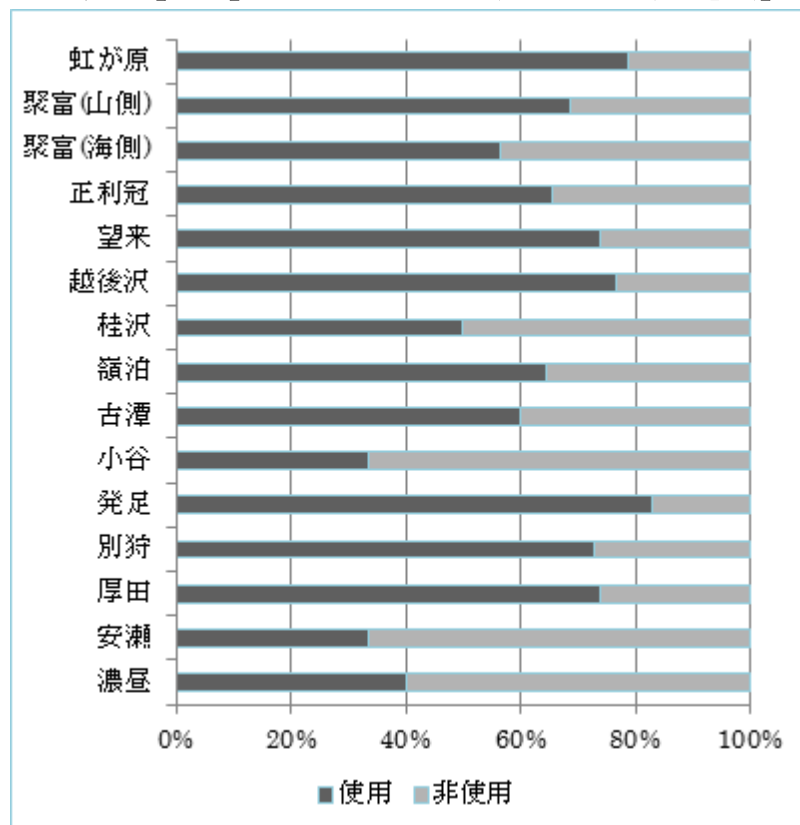
10～50代までは約9割以上、

60代で6割、

70代で4割台、

80以上になると4割を下回っています。

● 地域別【問 3】にみた「メール機能使用の有無」（【問 21】と【問 2】のクロス分析）



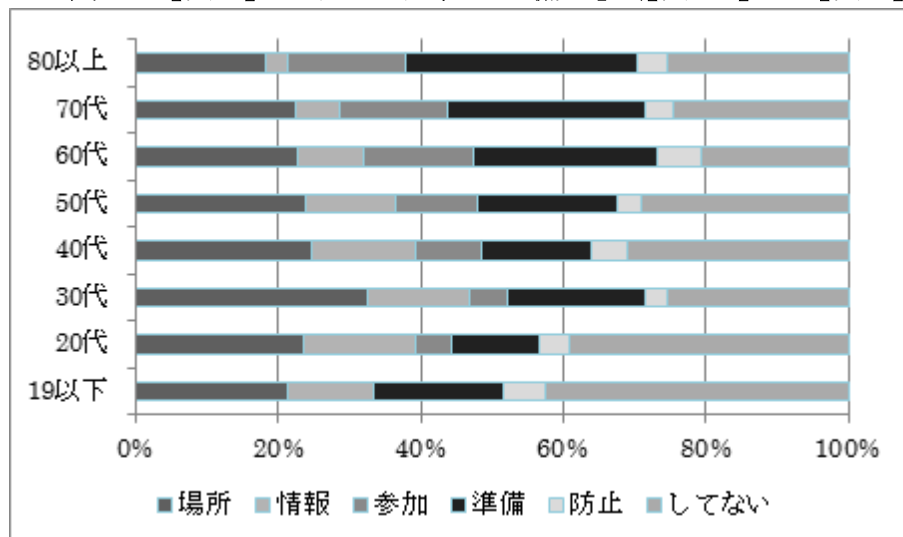
「メール機能の活用」を地域別にみると、

「非使用」が多い地域として安瀬、桂沢、次に濃昼、嶺泊
となっています。

【問 22】 あなたは、自然災害に備えて、どのような準備をされていますか。(いくつでも)

1. 家族で避難する場所、連絡方法の確認を行っている
2. 石狩市メール配信サービスなどで災害情報を得る準備をしている
3. 自治会の防災訓練などに参加している
4. 懐中電灯やラジオ、非常持ち出し袋を用意している
5. 家具等の固定や転倒防止器具を取り付けている
6. その他（具体的に_____）
7. 特に何もしていない

● 年代別【問 2】にみた「災害への備え」（【問 22】と【問 2】のクロス分析）

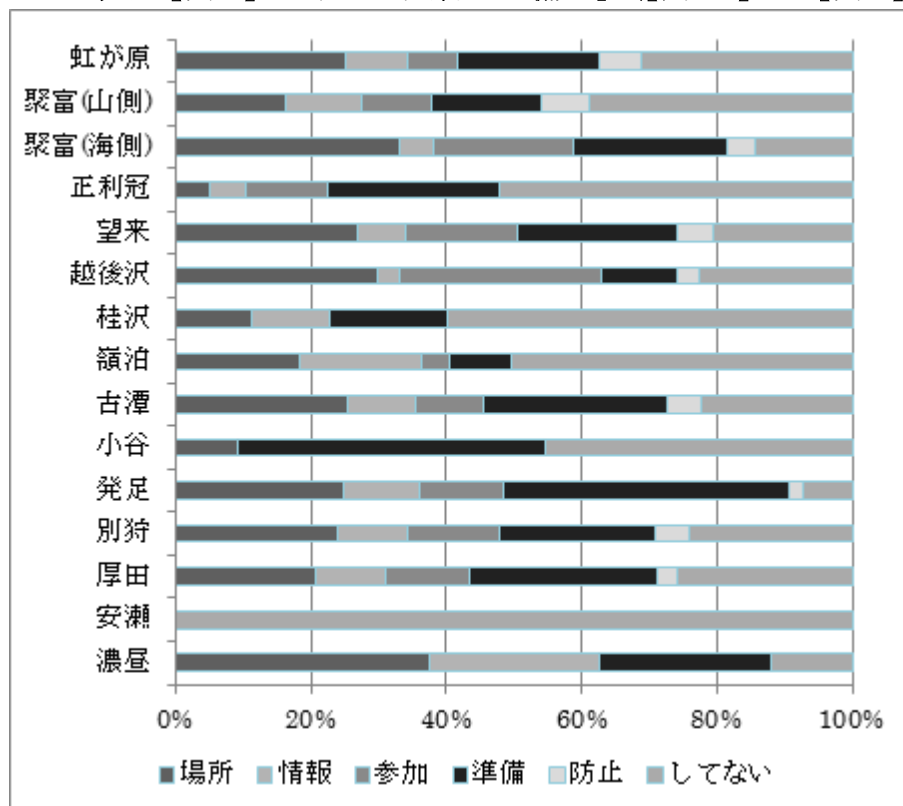


「避難場所の確認」は30代で3割と他の年齢よりも高くなっています。

70～80代では他の年代より「メール準備」が低く、「避難袋の準備」が高い結果となっています。

10～20代では「何もしていない」割合が高くなっています。

● 地域別【問 3】にみた「災害への備え」（【問 22】と【問 3】のクロス分析）

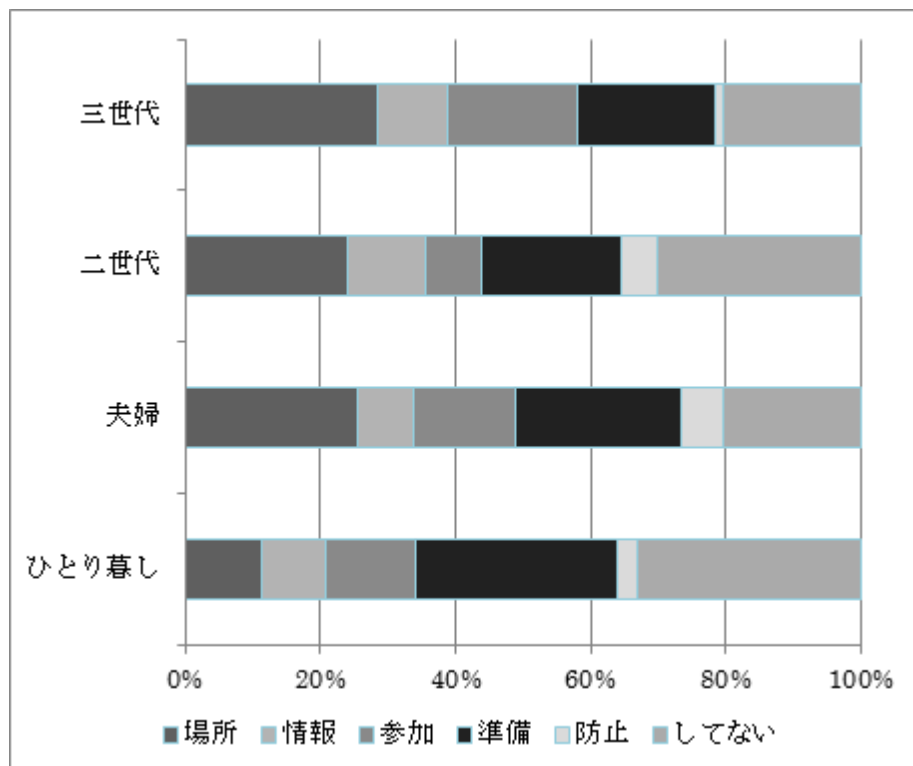


「避難場所の確認」は濃昼、聚富(海側)での割合が高く、

「避難袋の準備」は小谷、発足で4割前後と高くなっています。

安瀬では「していない」で100%を占めています。

● 家族構成別【問 5】にみた「災害への備え」（【問 22】と【問 5】のクロス分析）



「避難場所の確認」はひとり暮らしで 1 割と他に比べ低く、

「防災訓練への参加」は三世代で 2 割と比較的高くなっています。

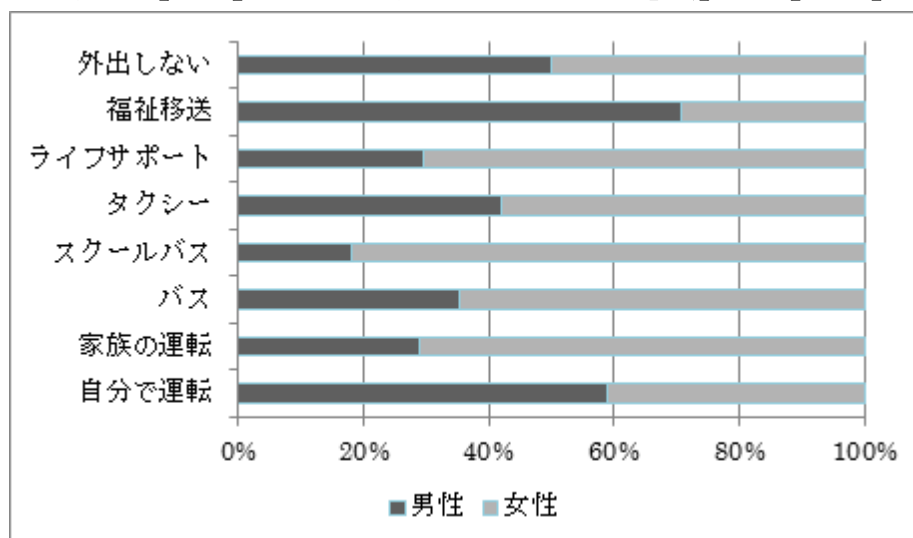
「していない」はひとり暮らし、二世代で 3 割前後であり、比較的高い割合となっています。

★【地域交通】についてのクロス分析

【問 23】 あなたが、現在厚田区で利用している交通手段をお選びください。（いくつでも）

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 自分で運転する自家用車 | 7. 『あつたライフサポートの会』（※）の運送事業 |
| 2. 家族が運転する自家用車 | 8. 高齢者や障がい福祉の移送支援 |
| 3. 路線バス | 9. その他（具体的に_____） |
| 4. デマンドバス | 10. 外出していない |
| 5. スクールバス（混乗含む） | |
| 6. タクシー | |

● 男女別【問 1】にみた「利用する交通手段」（【問 23】と【問 1】のクロス分析）

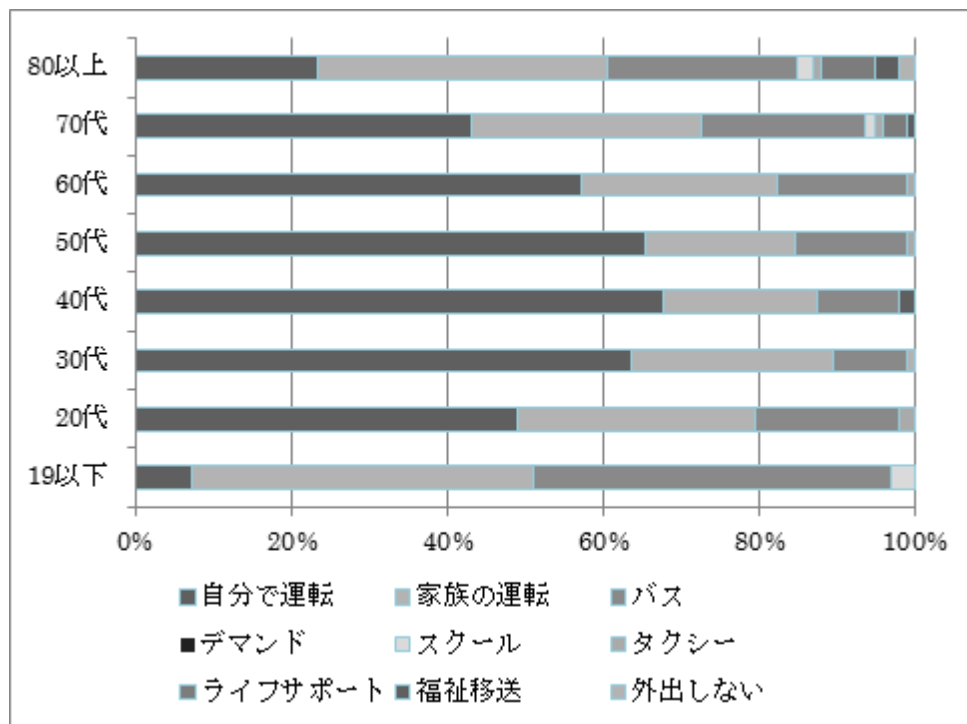


利用する交通手段は男女で違いがあり、

男性は「自分で運転」と「福祉移送」の利用が多くなっており、

女性は「スクールバス」や「家族の運転」「バス」「ライフサポート」の利用が多くなっています。

● 年代別【問2】にみた「利用する交通手段」(【問23】と【問2】のクロス分析)



「自分で運転」の割合が5割を超える年代は30代～50代、

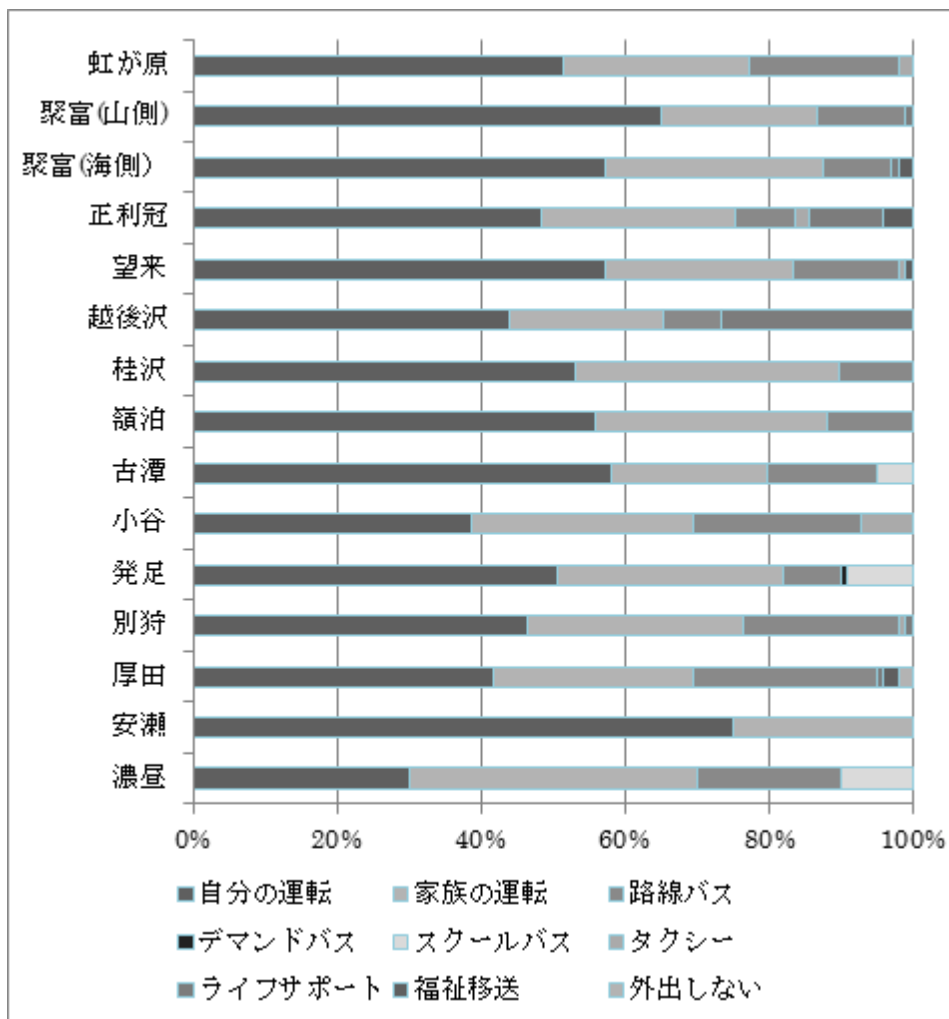
「家族の運転」では10代(15歳～19歳)が最も高く、

次が80以上の高齢者となっています。

また、「バス」の利用では10代が最も高く、

次いで高齢者、20代となっています。

● 地域別【問3】にみた「利用する交通手段」(【問23】と【問3】のクロス分析)



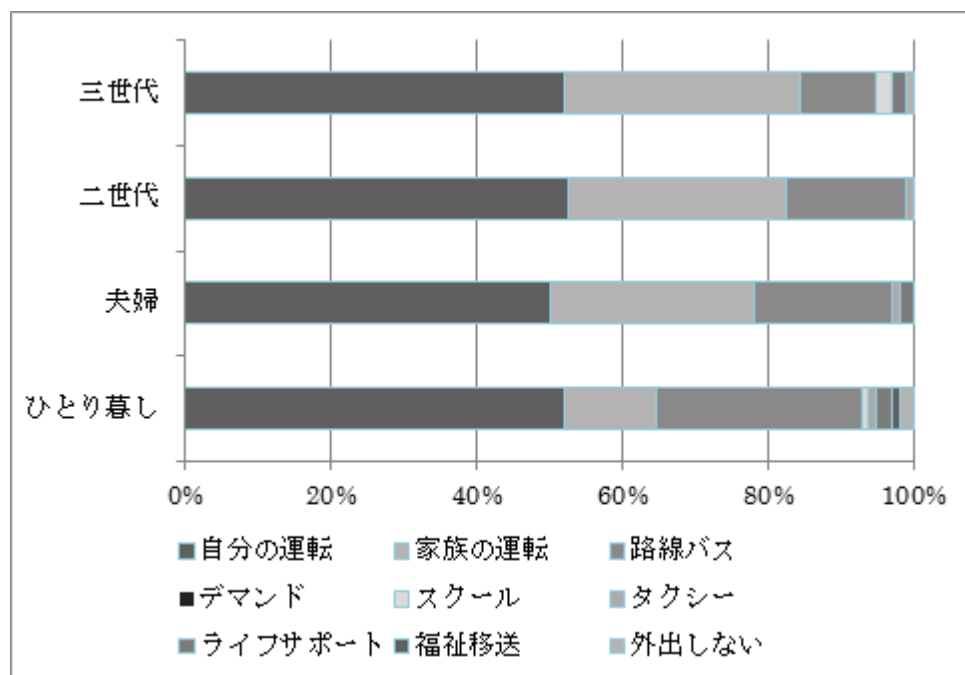
「自分で運転」は安瀬で8割弱、

「家族の運転」は桂沢、濃屋で4割前後と高く、

安瀬では「自分と家族の運転」で100%となっています。

越後沢では「ライフサポート」が3割弱であり、他の地区より高い割合です。

● 家族構成別【問 5】にみた「利用する交通手段」（【問 23】と【問 5】のクロス分析）



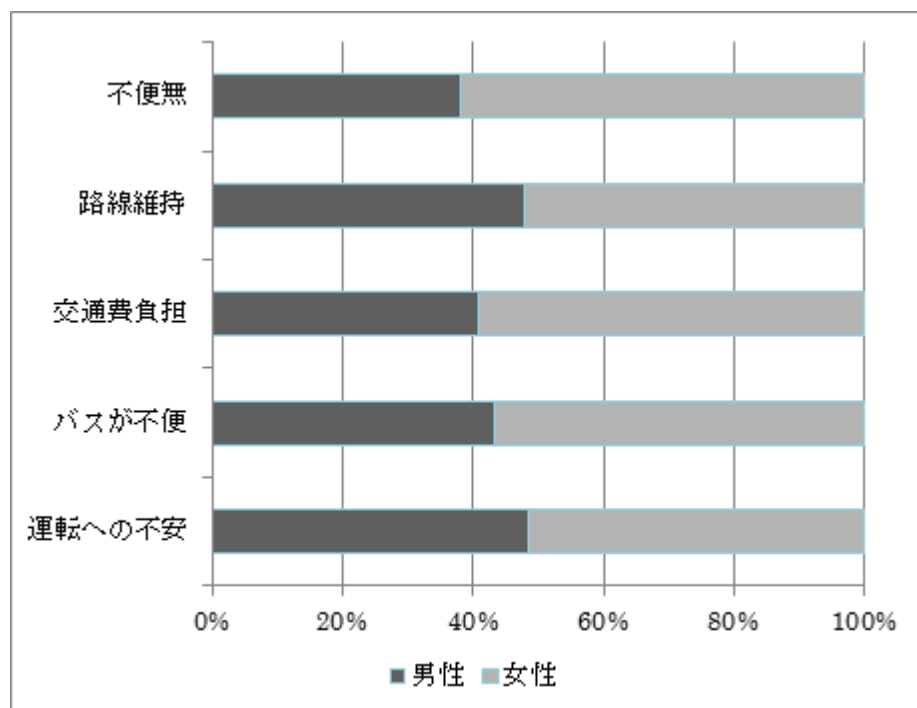
ひとり暮らしでは「家族の運転」が低い反面、

「路線バス」が2割と他よりも高い結果となっています。

【問 24】 あなたは、厚田区内の交通事情についてどのように感じですか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 自分・家族がいつまで運転できるか不安 | 4. 将来、路線が維持されるか不安 |
| 2. バス路線が限られた時間のみで不便 | 5. その他（具体的に_____） |
| 3. 交通費の負担が大きい | 6. 現状で満足、今のところ不便はない |

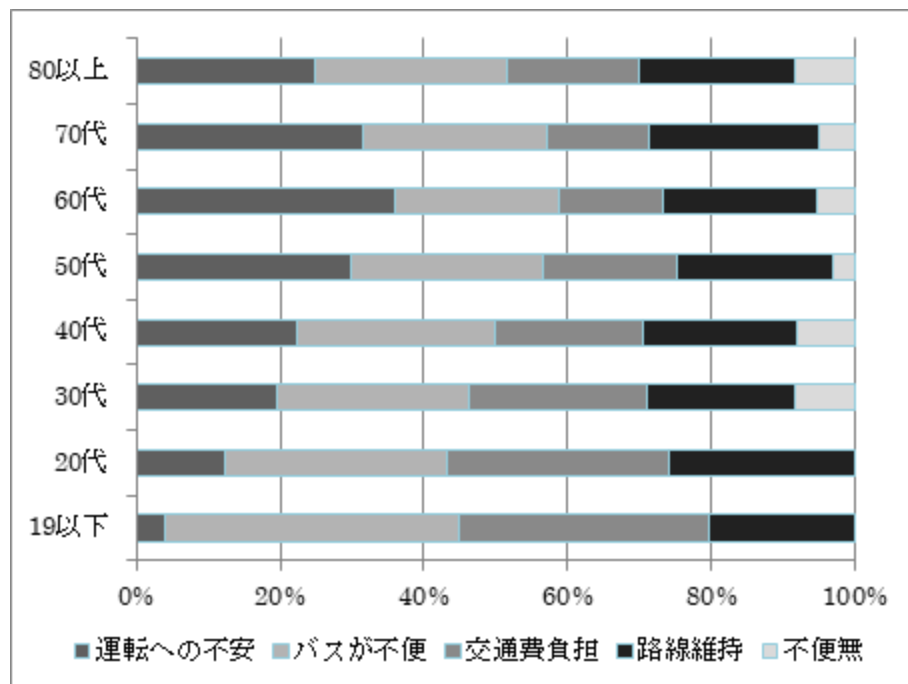
● 男女別【問 1】にみた「地域交通の事情」（【問 24】と【問 1】のクロス分析）



地域交通の事情については男女であまり差がありませんが、

女性は「バスの不便さ」、「交通費負担」、「バス路線の維持」及び「不便を感じない」項目で男性より多くなっています。

● 年代別【問 2】にみた「地域交通の事情」（【問 24】と【問 2】のクロス分析）

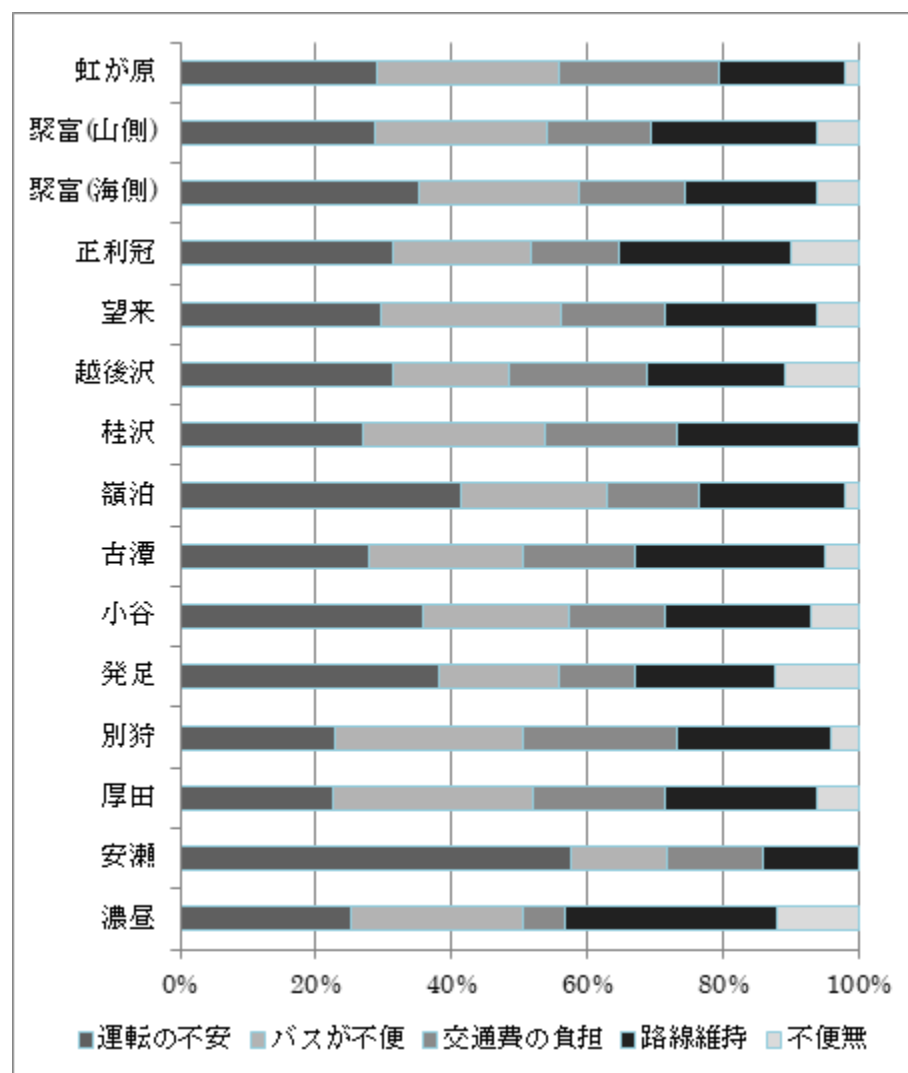


「いつまで運転できるか不安」は年代の高まりとともに高くなり、**60、70代**で3割と最も高くなっています。

10代では「バスが不便」「交通費の負担」が他より高く、

また、**10、20代**では「今のところ、不便はない」の回答は得られていません。

● 地域別【問 3】にみた「地域交通の事情」（【問 24】と【問 3】のクロス分析）

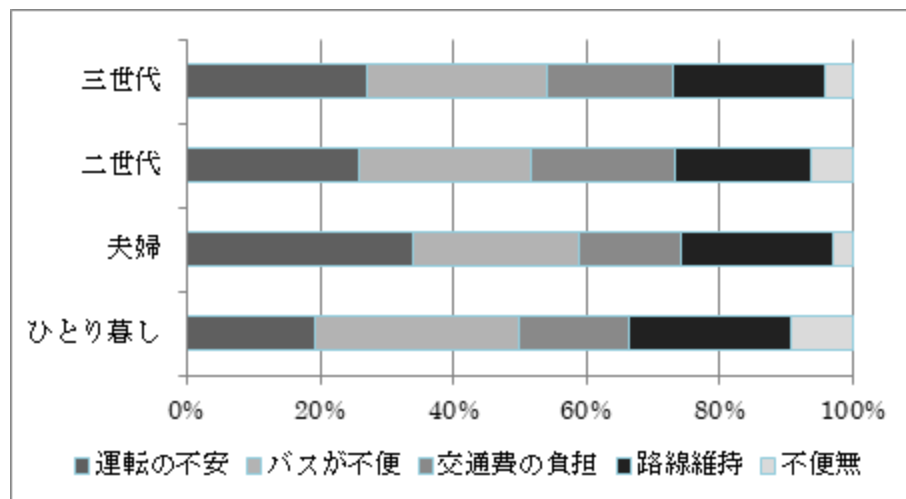


「いつまで運転できるか不安」は**安瀬**で6割程度と高く、

「交通費の負担」は**虹が原、別狩**が若干高く、

「路線維持されるか不安」は**濃昼**で高い結果となっています。

● 家族構成別【問 5】にみた「地域交通の事情」（【問 24】と【問 5】のクロス分析）



「いつまで運転できるか不安」は夫婦世帯が最も高く、

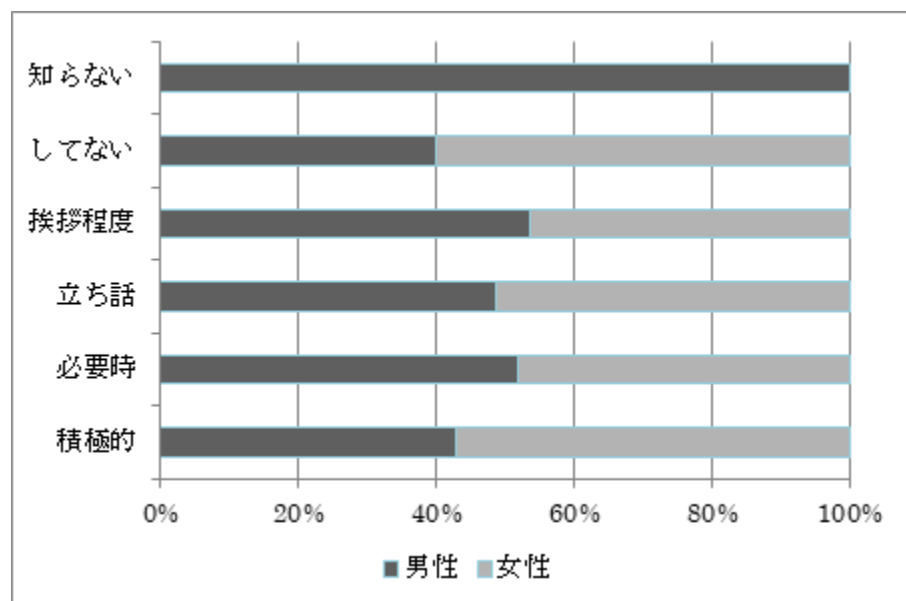
「不便なし」はひとり暮らしで1割程度と他より若干高くなっています。

★【地域活動】についてのクロス分析

【問 25】あなたのお宅では、ご近所のおつきあいをどのようにしていますか。
（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 日頃から何でも相談し合うなど、積極的なおつきあい | 4. 会えば、あいさつをする程度 |
| 2. 必要な時だけのおつきあい | 5. 近所づきあいはしていない |
| 3. たまに、立ち話をする程度 | 6. 誰が住んでいるか知らない |
| | 7. その他（具体的に_____） |

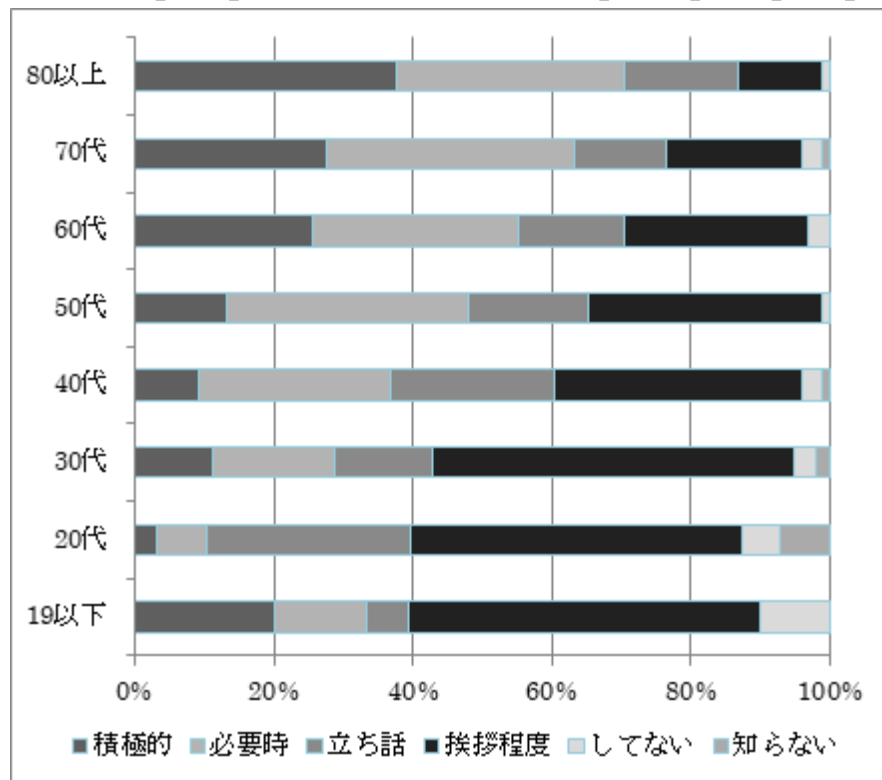
● 男女別【問 1】にみた「近所付き合い」（【問 25】と【問 1】のクロス分析）



近所付き合いに関して、「近所付き合いはしていない」と「誰が住んでいるか知らない」を加えても回答者の1割以下です。

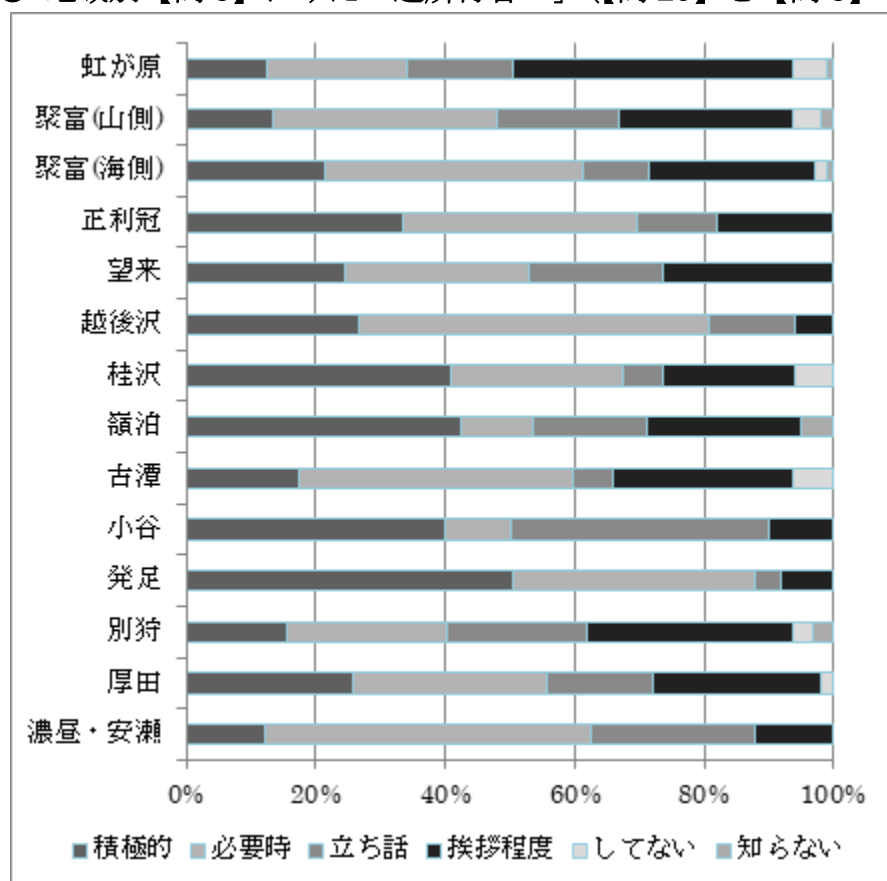
男女差はあまりありませんが、「積極的」は女性が幾分多くなっています。

● 年代別【問 2】にみた「近所付き合い」（【問 25】と【問 2】のクロス分析）



この分析から、年齢が高くなるに従い、近所付き合いも「積極的」になっていくことが分かります。

● 地域別【問 3】にみた「近所付き合い」（【問 25】と【問 3】のクロス分析）



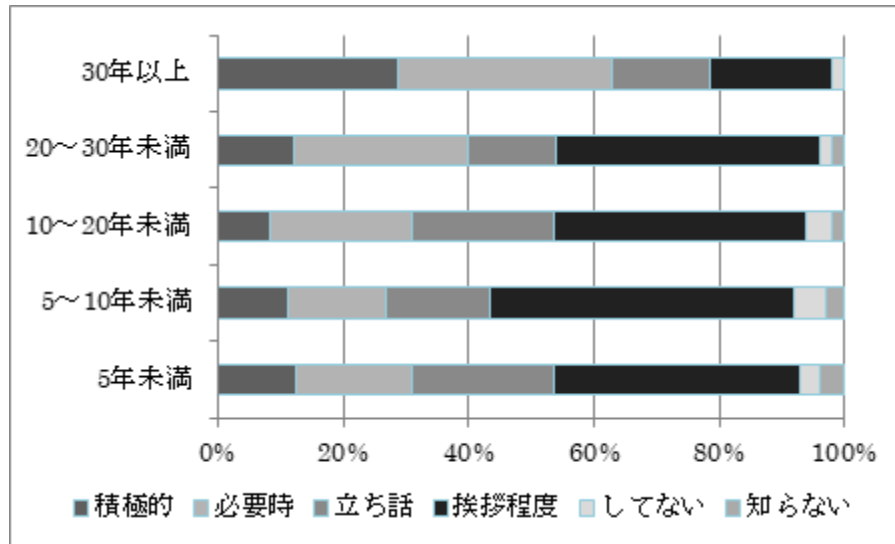
「積極的」は発足、嶺泊、桂沢、小谷で高く、

「必要な時」は越後沢、濃昼・安瀬で、

「挨拶程度」は虹が原、別狩で高くなっています。

「誰が住んでいるか知らない」は別狩、虹が原、聚富、嶺泊で高くなっています。

● 居住年数別【問 4】にみた「近所付き合い」（【問 25】と【問 4】のクロス分析）



5年未満で「知らない」が高く、

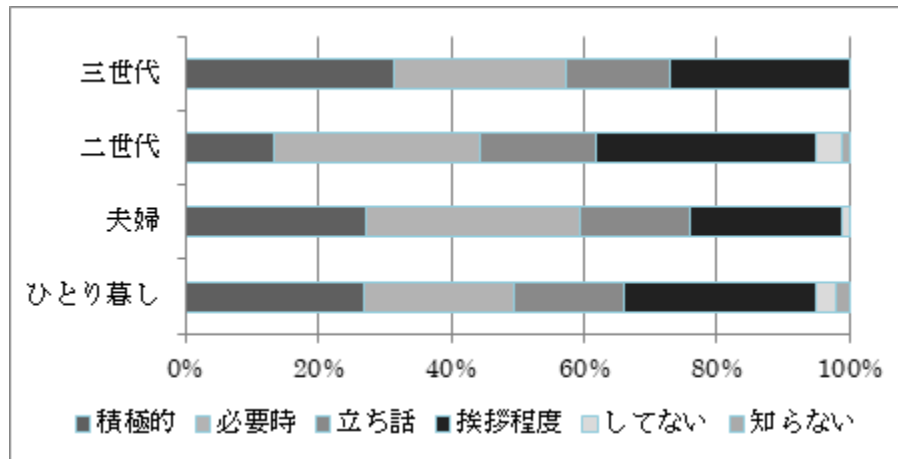
5～10年未満で「知らない」「してない」が高く、

10～20年未満で「知らない」、

20～30年未満で「知らない」「挨拶程度」が高くなっています。

30年以上では「積極的」が3割となっています。

● 家族構成別【問 5】にみた「近所付き合い」（【問 25】と【問 5】のクロス分析）



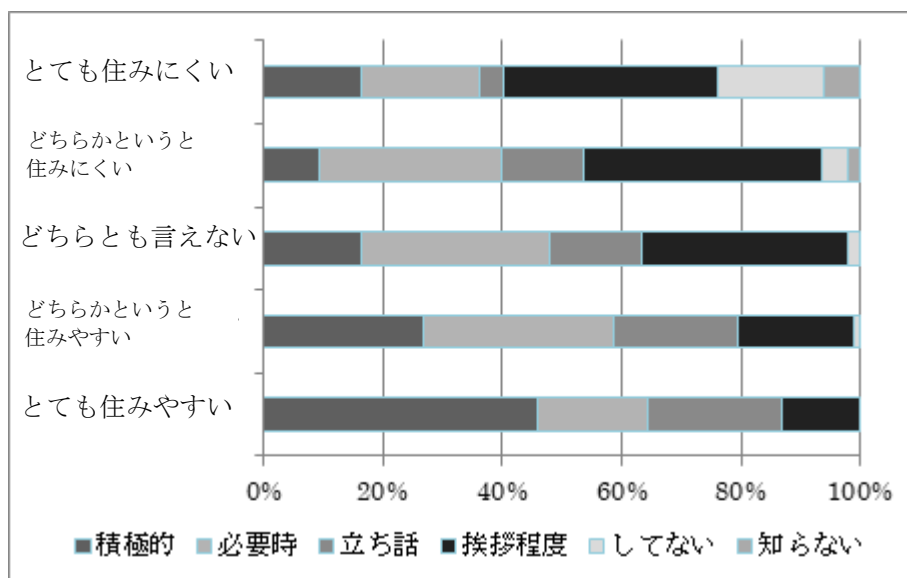
ひとり暮らしでは「知らない」、

夫婦世帯では「必要時」が高く、

二世帯では「してない」「知らない」が高く、

三世代では「積極的」が高くなっています。

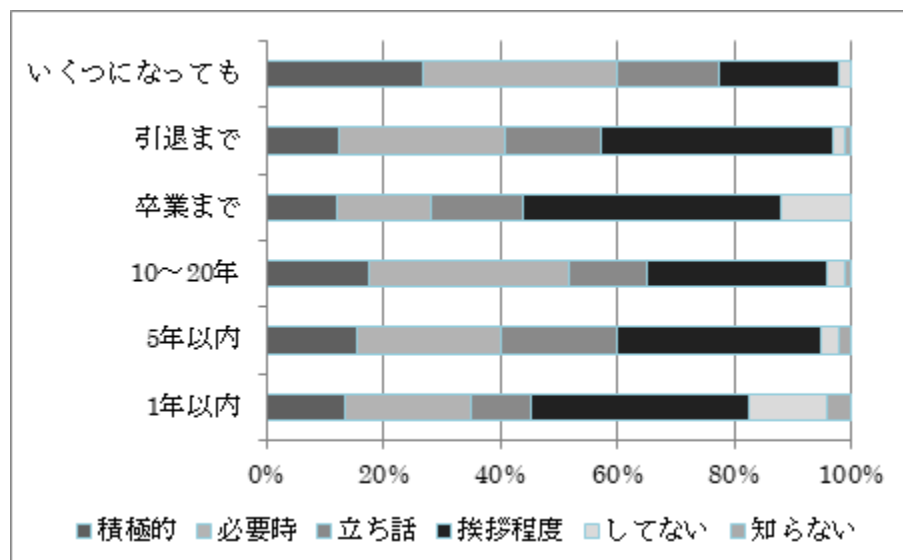
● 住みやすさ別【問 11】にみた「近所付き合い」（【問 25】と【問 11】のクロス分析）



「とても住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」との回答者は「積極的」と「必要な時」の付き合いが6割と高い割合を示しています。

反対に、「とても住み難い」と「どちらかと言えば住み難い」を回答した人は「挨拶程度」と「付き合いしてない」の割合が高くなっています。

● 厚田で暮らしたい期間別【問 16】にみた「近所付き合い」
（【問 25】と【問 16】のクロス分析）



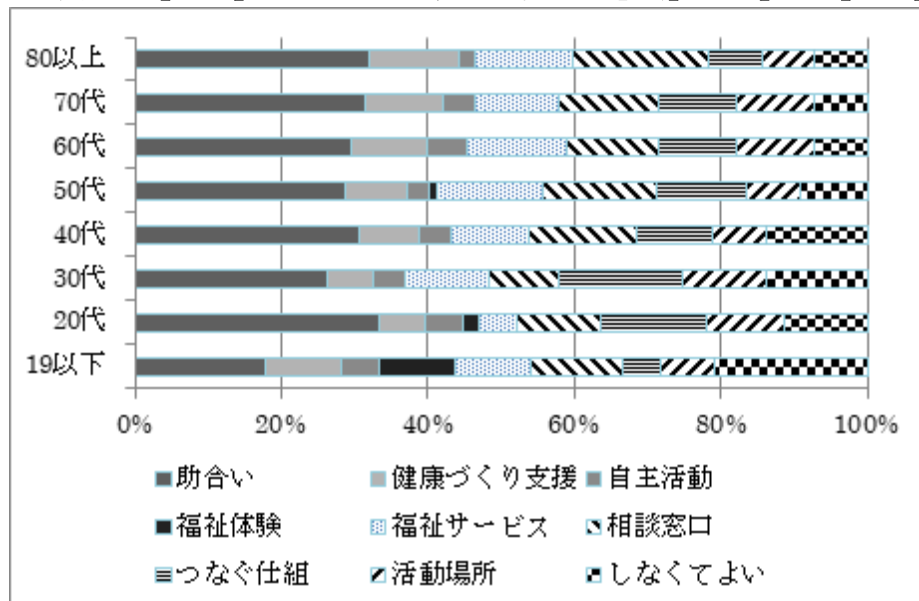
1年以内では「知らない」
「してない」が高く、

「いくつになっても」は「積極的」が最も高くなっています。

【問 26】あなたは、地域とのかかわりで特に何が必要だと思いますか。（主なものを3つまで）

1. 地域住民がお互いに助け合える仕組み
2. 健康づくりや生きがいづくりへの支援
3. ボランティアやNPOなど住民の自主活動の育成
4. 福祉に関する体験学習（手話講習会やヘルパー講座など）
5. 身近に利用できる福祉サービスに関する情報
6. 気軽に相談できる窓口の設置
7. 地域で支援される人、支援する人をつなぐ仕組み
8. 地域で集まり活動できる場所
9. その他（具体的に_____）
10. 特に何もしなくても十分

● 年代別【問 2】にみた「地域との関わり」（【問 26】と【問 2】のクロス分析）



10、20、50代で「福祉体験」が高く、

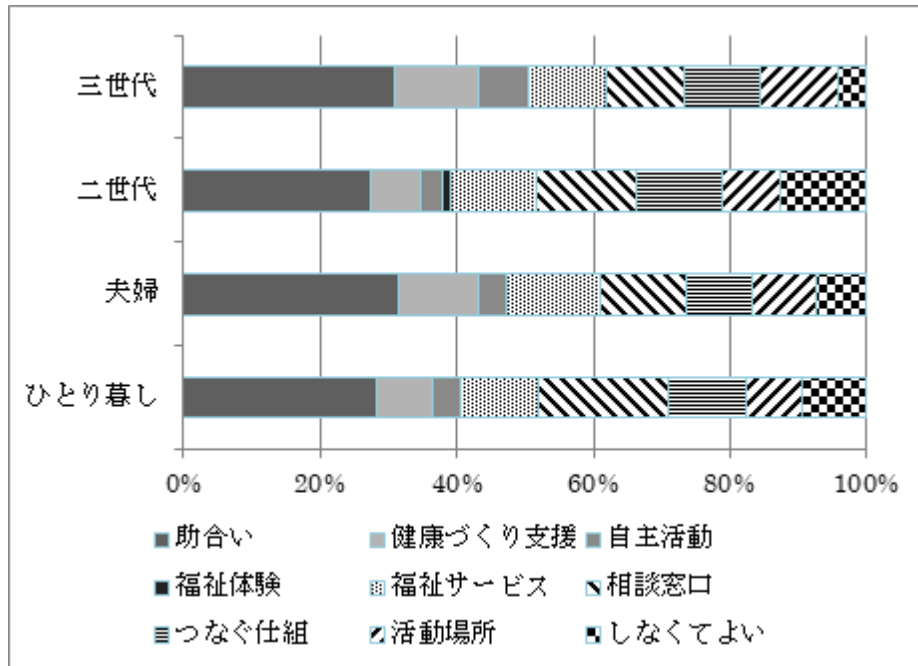
30代では「つながり仕組み」、

40代では「しなくてよい」が特に高くなっています。

60～80代で「健康づくり支援」が高く、

80代では「相談窓口」も高ポイントを示しています。

● 家族構成別【問 5】にみた「地域との関わり」（【問 26】と【問 2】のクロス分析）



ひとり暮らしでは「相談窓口」が高く、

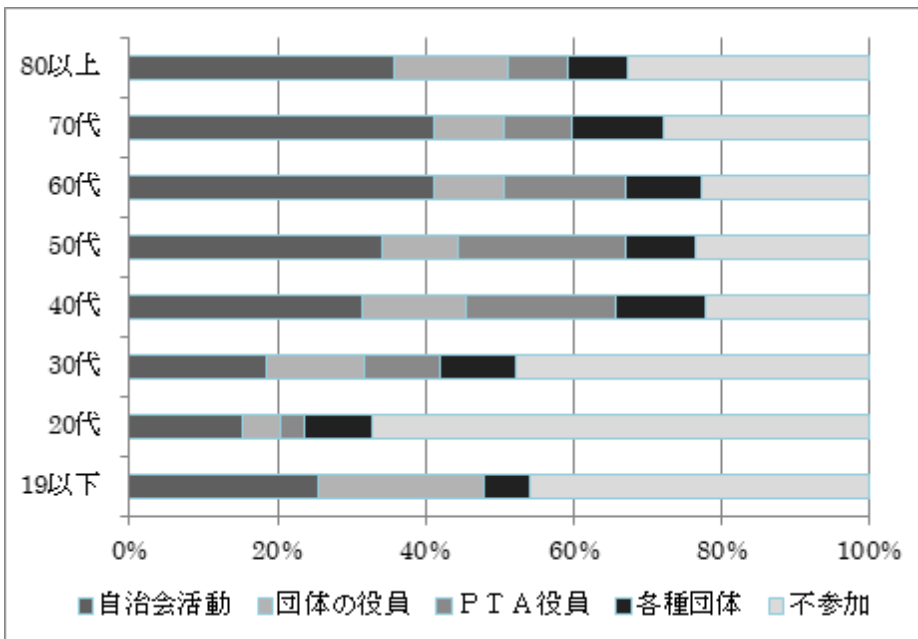
夫婦世帯では「健康づくり支援」、

二世帯では「福祉体験」が高くなっています。

【問 27】あなたは、これまでに次のような地域活動に参加したことがありますか。（いくつでも）

1. 自治会の行事
2. 少年団や高齢者クラブ、消防団などの各種団体の役員または委員
3. PTA の役員
4. 地域振興団体、ボランティア団体、NPO 団体
5. その他（具体的に_____）
6. 特に何もやっていない

● 年代別【問 2】にみた「地域活動」（【問 27】と【問 2】のクロス分析）



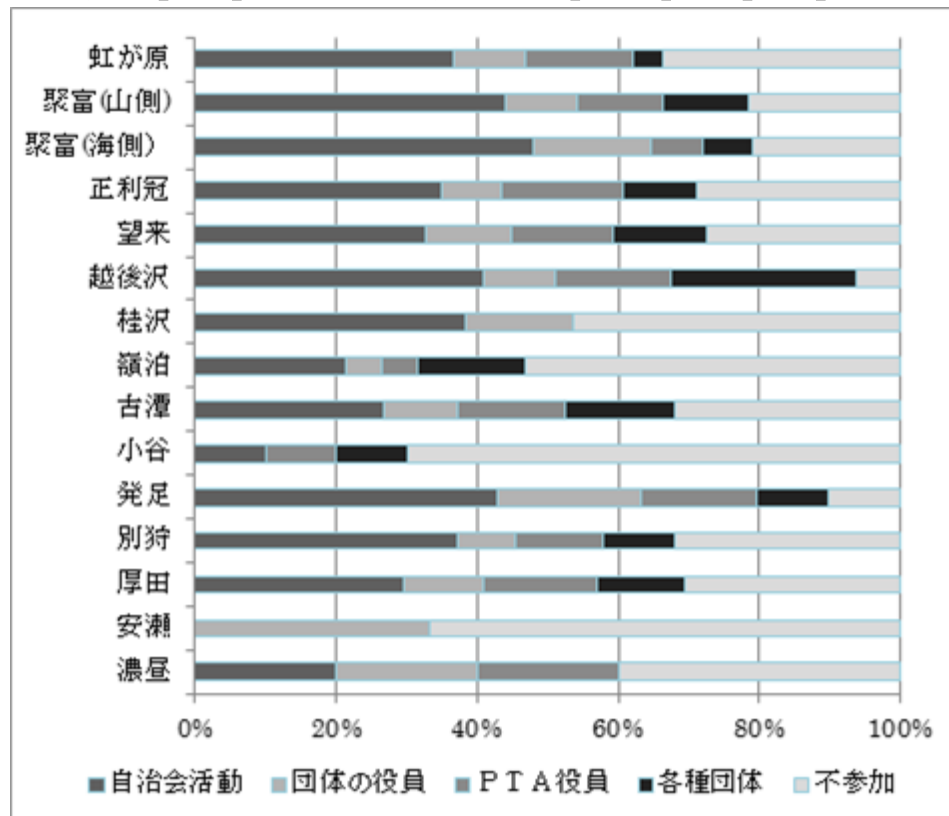
10、20 代では「不参加」が高く、

40～60 代で「PTA 活動」が高く、

70 代では「各種団体」、

80 代以降では「団体の役員」が高くなっています。

● 地域別【問 3】にみた「地域活動」（【問 27】と【問 3】のクロス分析）

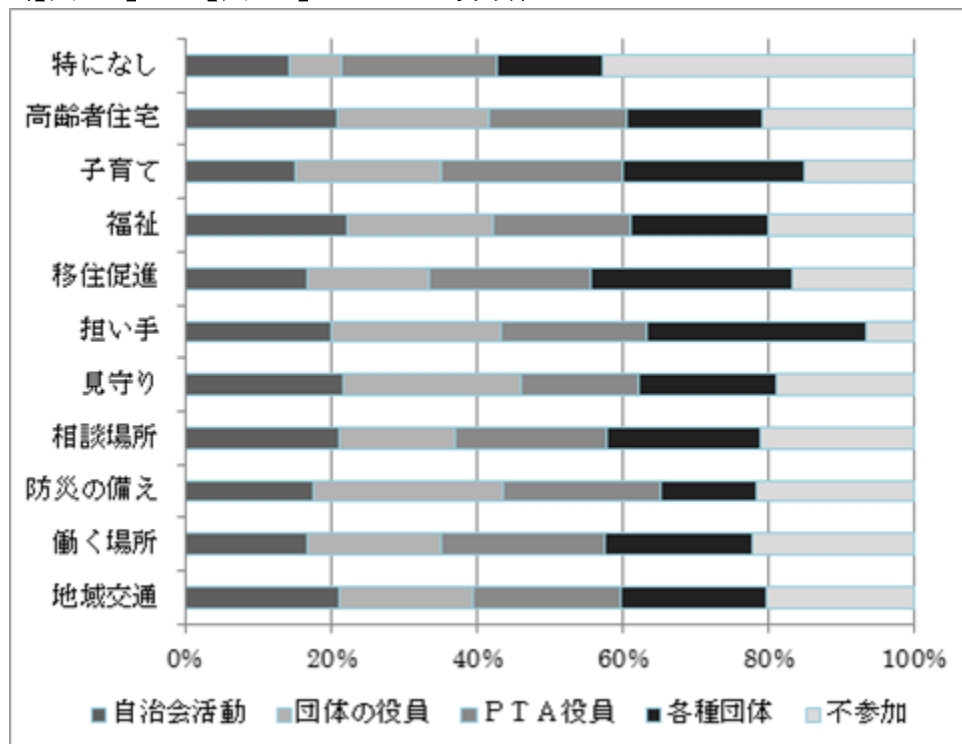


聚富、発足では「自治会活動」が高く、

越後沢では「各種団体」が高くなっています。

「不参加」は小谷、安瀬、額泊で高くなっています。

● 地域に必要と感じていること別【問 18】にみた「地域活動」（【問 27】と【問 18】のクロス分析）



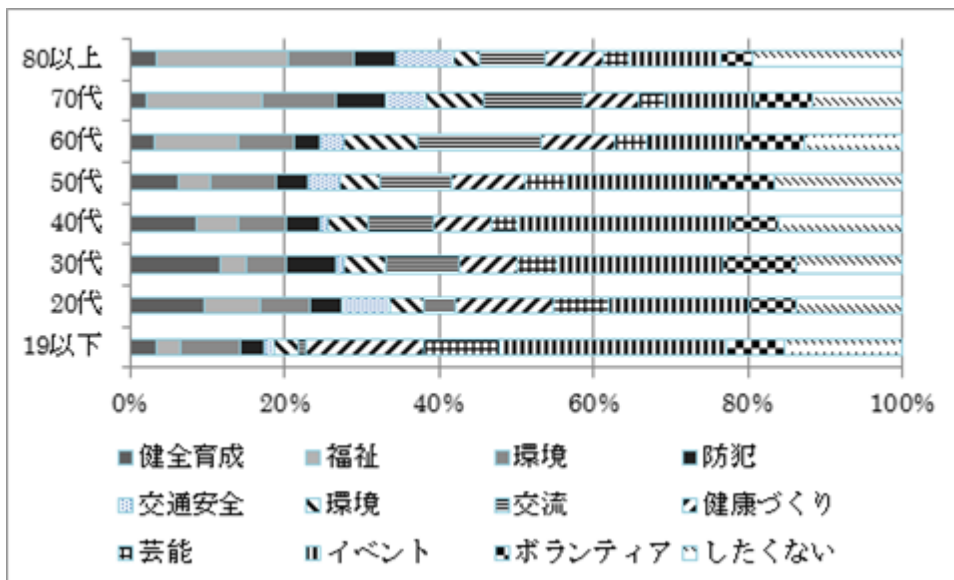
各種の地域活動に参加した回答者は、【問 18】の「地域に何が必要か」について、「地域活動に担い手」が必要との回答が最も高く、

次に 80%を超える項目として、「子育て環境」と「移住促進」、「一人暮らしの見守り」をあげています。

【問 28】あなたは、今後どのような地域の活動に参加したいと思いますか。（いくつでも）

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの健全育成活動 | 8. スポーツや健康づくりを推進する活動 |
| 2. 高齢者、障がい者等を対象とする福祉活動 | 9. 文化や芸術、芸能活動 |
| 3. ゴミ、リサイクル等の環境活動 | 10. お祭りやイベントへの参加 |
| 4. 防犯活動 | 11. 趣味や経験、技能を活かしたボランティア |
| 5. 交通安全に関する活動 | 12. その他（具体的に_____） |
| 6. 自然環境を保全するための活動 | |
| 7. 世代間の交流や住民同士の交流活動 | 13. 特に地域の活動には参加したくない |

● 年代別【問 2】にみた「地域活動への参加」（【問 28】と【問 2】のクロス分析）

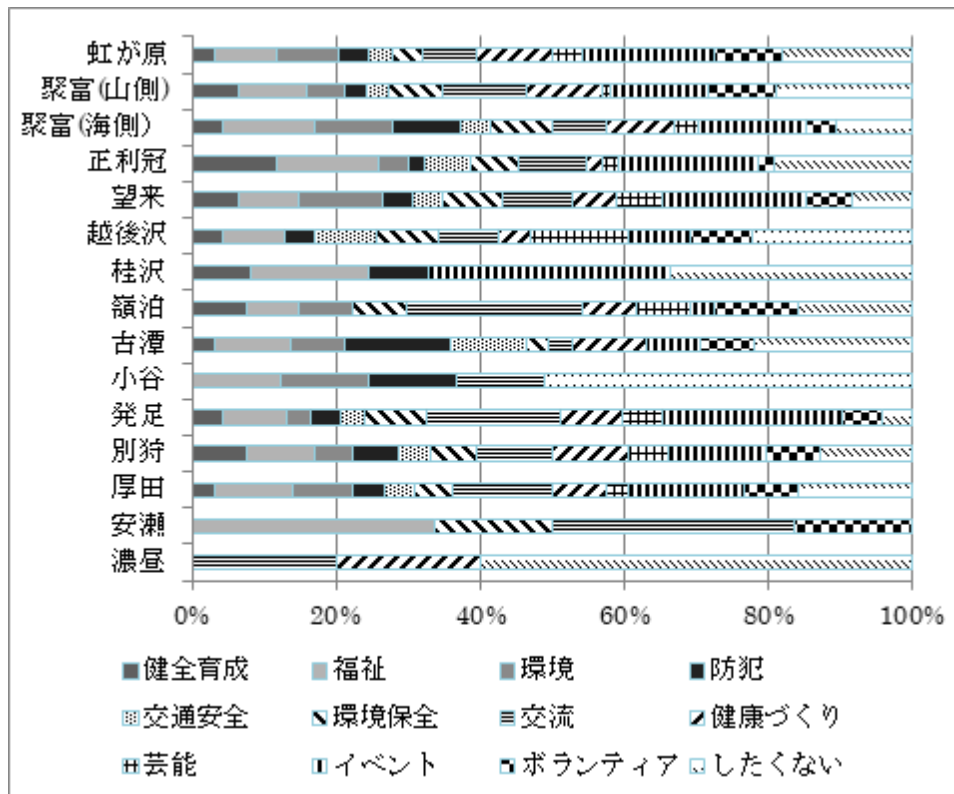


60代は「交流活動」「健康づくり」が高く、

70代では「福祉」「防犯」、

80代で「福祉」「交通安全」が高くなっています。

● 地域別【問 3】にみた「地域活動への参加」（【問 28】と【問 3】のクロス分析）



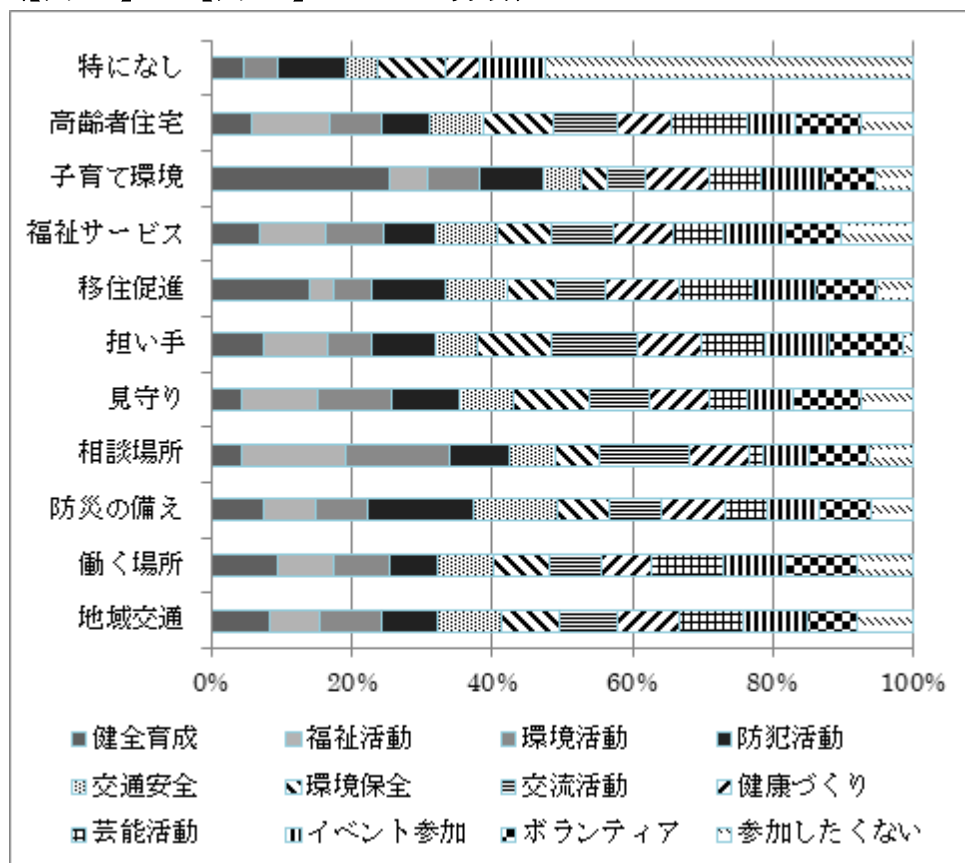
桂沢、発足では「イベント」が高く、

古潭では「防犯」、

安瀬は「交流」が高くなっています。

小谷、濃昼は「したくない」が高くなっています

● 地域に必要と感じていること別【問 18】にみた「地域活動への参加」
 (【問 28】と【問 18】のクロス分析)



「子どもの健全育成」にかかわる活動を望む回答者は、【問 18】の「地域に必要なこと」で「子育て環境」を選択し、

「自然環境保全への活動」を望む回答者は、【問 18】で「困りごとの相談場所」を選んで

同様の相談場所を選択している回答者に「福祉活動への参加」を望んでいることがわかります。

「地域活動に参加したくない」という回答者は、【問 18】では「地域に特に必要なものはない」と回答しています。

「単 純 集 計」 「クロス集計」 結果一覧

No 1

【あなた自身のこと】について 【問 1】～【問 7】					あなたの職業					厚田区の課題と感じているところ（3つまで）					◆クロス分析【問 9】と【問 11】と【問 1】加2◆					「住みやすい」「住みにくい」理由										
【問 1】	あなたの性別				【問 6】	回 答	割合(%)	見 解			【問 9】	回 答	割合(%)	見 解			【問 9】と【問 11】と【問 1】のクロス	地域別に見る 地域課題				【問 12】	★『住みやすい』（抜粋）							
	回 答	割合(%)	見 解			無職	25	働いている人 約6割				買物不便	25	厚田三大課題 ① 生活の不便 ② 公共交通 ③ 少子高齢化				地 域	課題と高く感じている項目				・地元なので 住みやすい							
	男	45	男女に偏りなし			自営業	20					公共交通	23					虹が原	買物 不便 ↓ 全地域 高い ↓ 特に 厚田 別狩 望来 虹が原	公共交通 ↓ 全地域 高い ↓ 得に 虹が原 越後沢 小谷	・他の地域に住んだことがないから									
	女	46				フルタイム勤め人	19					少子高齢化	22					聚富(山)			少子高齢化		・都会の喧騒から離れ、穏やかな気持ちでいられる							
	不明	9				パートアルバイト	13					医療・福祉対策	8					聚富(海)			知人減少		・自治体の連帯感がある							
【問 2】	あなたの年齢				【問 7】	主な勤務先			◆クロス分析【問 9】と【問 1】◆	男女別に見る地域課題			【問 11】				厚田区は住みやすい地域ですか				【問 12】	★『住みにくい』（抜粋）								
	回 答	割合(%)	見 解			回 答	割合(%)	見 解			回 答	割合(%)					・交通の便が悪い ・買い物不便													
	60代	22	60・70代が全体の 約半数を占める			厚田区	63	区内勤務が最も多い		「男」⇒文化保全 環境保全 子育て支援	どちらかと言うと住みやすい	37					・冬の寒さがとても吹雪くから													
	70代	21				区以外右狩市	14			「女」⇒買物不便 公共交通 公園整備	どちらとも言えない	35					・除雪の問題													
	50代	13				札幌市	12			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆	年代別に見る 3大課題	どちらとも言えない					15	・大きな病院が遠い												
	80代	12	最も少ない回答率		【問 8】	厚田区の 良いところ 好きなところ（3つまで）			【問 9】と【問 2】	年 代	傾 向		【問 11】				年代別に見た 厚田の住みやすさ		【問 12】	日常生活(問題点)について 【問 13】～【問 18】										
	40代	12				回 答	割合(%)	詳 細		19歳以下	買物不便	公共交通 ↓ 全年代が不便 と感じて いる ↓ 年代が低く なるにつれ 深刻な課題 ↓ 年代が高く なるにつれ 重要課題		少子高齢化	【問 11】と【問 1】	【問 11】と【問 2】	生活で不便を感じることに困っていることは													
	30代	7				自然環境	37	自然に恵まれている		20代	少子高齢化			結 論	男女別 の厚田の住みやすさ⇒男女に差なし	【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】	回 答		割合(%)	備 考									
	20代	4				災害少ない	17	災害の心配が少ない		30代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】			買い物		23										
	19歳以下	2				安らぎ	13	落ち着きと安らぎ		40代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】			除雪		16										
【問 3】	あなたのお住まいの地域				【問 8】	厚田区(住民意識)について 【問 8】～【問 12】			◆クロス分析【問 8】と【問 2】◆	年代別に見る地域課題			【問 11】	地域別に見た 厚田の住みやすさ		【問 13】	【問 13】													
	回 答	割合(%)	回答者数(人)	見 解		回 答	割合(%)	詳 細		年 代	傾 向			【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		交通（日常の足）	14												
	厚田	22	292	居住地 と 回答者数 の 人数の違い は 集計結果 の 解釈に影響 あり 割合が高い ほど 地域意見 として反映 できる		自然環境	37	自然に恵まれている		19歳以下	買物不便	公共交通 ↓ 全年代が不便 と感じて いる ↓ 年代が低く なるにつれ 深刻な課題 ↓ 年代が高く なるにつれ 重要課題		少子高齢化	「年代が高い」ほど⇒とても・どちらかとい うと「住みやすい」		【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】	通院・介護環境	12										
	虹が原	16	217			災害少ない	17	災害の心配が少ない		20代	少子高齢化			【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		金融機関	9												
	望来	15	203			安らぎ	13	落ち着きと安らぎ		30代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		特に不便はない	8												
	別狩	13	176			知り合い多い	13	安心して暮らせる		40代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		人手・後継者不足	4												
	聚富(山)	8	108			連帯感	7	地域との連帯感		50代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		仕事がない	4												
	聚富(海)	6	87	◆クロス分析【問 8】と【問 2】◆	地域産品	5	自慢の産品がある	60代	少子高齢化		【問 11】	年代別に見た 厚田の住みやすさ		【問 13】	子育て環境		2													
	発足	4	50		なし	5	良いところ好きなところはない	70代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		家庭等簡易な修繕	2														
	正利冠	2	34		地域活動活発	2	地域活動が活発	80代				【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		家事	1														
	古潭	2	29		その他	1		年代別に見る地域課題			【問 11】	地域別に見た 厚田の住みやすさ			ゴミ出し	1														
	嶺泊	2	19		・札幌に近い ・人が温かい ・海に近い			年 代	課題と高く感じている項目						大工仕事・縫い物	1未満														
【問 4】	厚田に住んで何年になりますか				【問 8】と【問 2】	年代別に見た厚田の魅力			【問 9】と【問 2】	年代別に見る地域課題			【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆													
	回 答	割合(%)	見 解			回 答	割合(%)	詳 細		年 代	傾 向			【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】		生活の不便さの項目													
	30年以上	56	20年以上が全体で 7割強			19歳以下	自然環境	安らぎ・知人が多い		19歳以下	公共交通	文化保全		全ての年代 買物不便	「年代が高い」ほど⇒とても・どちらかとい うと「住みやすい」		【問 11】と【問 3】	【問 11】と【問 4】	年 代	傾 向										
	20～30年	16				20代	全年代が 魅力と 感じて いる			20代	環境保全	公園整備			20代				環境保全	公園整備	交通 全ての 年代 特に10代	買物 10～50代 除雪 20～80代 通院介護 70・80代 高い	不便なし							
	10～20年	11				30代		安らぎ		30代	子育て支援	公園整備			30代				文化保全	子育て支援				50代	【問 13】 と 【問 2】	【問 13】と【問 2】	60代	【問 13】と【問 2】		
	5年未満	7	40代	自然環境		40代		文化保全		子育て支援	50代	交流拠点			災害対策		60代	【問 13】と【問 2】	【問 13】と【問 2】	70代				【問 13】と【問 2】						
	5～10年	4	50代	自然環境		50代		交流拠点		災害対策	60代	文化保全			交流拠点		70代			【問 13】と【問 2】	【問 13】と【問 2】	80代	【問 13】と【問 2】							
	不明	6	60代	災害の心配が少ない		60代		文化保全		交流拠点	70代	交流拠点			知人減少		80代					【問 13】と【問 2】			【問 13】と【問 2】	知人減少	【問 13】と【問 2】			
不明	6	70代	知人 が多い 災害少ない	70代	交流拠点	知人減少		80代	交流拠点	知人減少	80代	【問 13】と【問 2】	【問 13】と【問 2】		知人減少	【問 13】と【問 2】														
不明	6	80代	知人が多い	80代	知人減少	交流拠点		80代	知人減少	交流拠点	80代			【問 13】と【問 2】	【問 13】と【問 2】		知人減少	【問 13】と【問 2】												
【問 5】	あなたの家族構成				【問 8】と【問 2】	◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆			【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆								
	回 答	割合(%)	見 解			地域別に見た厚田の魅力				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 13】 と 【問 2】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆											
	親子	38	親子・夫婦で 7割強			「虹が原」「聚富」「古潭」「別狩」⇒自然環境				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 13】 と 【問 2】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆															
	夫婦	34				「小谷」「正利冠」「嶺泊」⇒知人が多い				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 13】 と 【問 2】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆												
	一人暮らし	14				「小谷」「聚富（山側）」⇒災害少ない				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆								【問 13】 と 【問 2】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆											
三世代	9	【問 8】 と 【問 3】	◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆			【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆																
その他	5	【問 8】 と 【問 3】	◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆															
								◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆								
								◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆							
								◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆				
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】						居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆			
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆										【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆		
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆		
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ							【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆	
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆	
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆	
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆	
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】				居住年数と厚田の住みやすさ					【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】					◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】				居住年数と厚田の住みやすさ					【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】					◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】				居住年数と厚田の住みやすさ					【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】					◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】				居住年数と厚田の住みやすさ					【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】					◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】				居住年数と厚田の住みやすさ					【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】					◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【問 2】		◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆				【問 11】				居住年数と厚田の住みやすさ					【問 13】		◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆								【問 9】と【問 2】	◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆					【問 11】			居住年数と厚田の住みやすさ		【問 13】					◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆				【問 9】と【問 2】					◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆						【問 11】		居住年数と厚田の住みやすさ			【問 13】				◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆					【問 9】と【問 2】				◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆							【問 11】	居住年数と厚田の住みやすさ				【問 13】			◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆						【問 9】と【問 2】			◆クロス分析【問 9】と【問 2】◆			【問 11】					居住年数と厚田の住みやすさ						【問 13】	◆クロス分析【問 13】と【問 2】◆
						◆クロス分析【問 8】と【問 3】◆							【問 9】と【																	

No 2

63

「単 純 集 計」 「クロス集計」 結 果 一 覧

No 3

【問 24】	厚田区内の交通事情をどの様にお考えですか？		◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 2】 ◆		◆ クロス分析 【問 26】 と 【問 2】 ◆		【問 28】	あなたは今後どのような地域活動に参加したいか		
	回 答	割合(%)	【問 25】	「 年齢別に見た 近所付合い	【問 26】	「 年代別に見た 地域との関わり		回 答	割合(%)	
	いつまで運転できるか不安	27	【問 2】	「年齢が高くなるに従い」⇒ 積極的	【問 2】	「10、20、50代」⇒ 福祉体験 ⇒ 高い		お祭りやイベントの参加	16	
	バス路線が限られた時間で不便	26	◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 3】 ◆		◆ クロス分析 【問 26】 と 【問 5】 ◆			特に地域活動には参加したくない	14	
	路線維持が不安	22	【問 25】	「 地域別に見た 近所付合い	【問 2】	「30代」⇒ 繋ぐ仕組み		世代間、住民間の交流活動	11	
	交通の負担が大きい	18	と	「発足」「嶺泊」「桂沢」「小谷」⇒ 積極的	【問 2】	「40代」⇒ 何もしていない 割合が高い		高齢者、障害者対象の福祉活動	10	
	不便はない	6	【問 3】	「越後沢」「濃昼」「安瀬」⇒ 必要な時	【問 2】	「60～80代」⇒ 健康づくり支援 が 高い		ｽﾎｰﾂや健康づくりの推進活動	9	
	その他（意見↓）	1	【問 3】	「虹が原」「別狩」⇒ 挨拶程度	【問 2】	「80代」⇒ 相談窓口 も 高い		ゴミ、リサイクルの環境活動	8	
	・自分の車でどこにでも行くので不安なし		◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 4】 ◆		【問 26】	「 世帯構成から見た 地域との関わり		趣味、経験、技能を活かしたボランティア活動	7	
	・冬が辛い ・吹雪の中の運転が大変		【問 25】	「 居住年数から見た 近所付合い	【問 26】	「一人暮らし」⇒ 相談窓口 ⇒ 高い		自然環境を保全するための活動	6	
【問 24】 と 【問 1】	・バス停まで遠く歩けなくなったらと不安に思う		【問 4】	「5年未満」⇒ 知らない が 高い	【問 5】	「夫婦世帯」⇒ 健康づくり支援 ⇒ 高い		子どもの健全育成	5	
	・元気な内は困っている人の買物、病院等してあげたい		と	「5～10年未満」⇒ 知らない していない が 高い	【問 27】	「二世帯」⇒ 福祉体験 ⇒ 高い		防犯活動	5	
	・高齢で運転できなくなった人の交通手段が心配		【問 25】	「10～20年未満」⇒ 知らない が 高い		あなたは 地域活動に参加したことはありますか		文化、芸術、芸能活動	4	
	・自分で運転できなくなると住めない		【問 4】	「20～30年未満」⇒ 知らない 挨拶程度		回 答	割合(%)	交通安全に関する活動	4	
	・カーシェアリングなどのシステム		と	「30年以上」⇒ 積極的 が 3割		自治会の行事	35	その他（意見↓）	1	
	・地域毎のデマンドバス、乗合いタクシーの普及、導入		◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 5】 ◆			特に何もやっていない	28	・出来る範囲であれば何でも		
	・免許証のない嫁が不便そう		【問 25】	「 世帯構成から見た 近所付合い		PTA役員	14	・高齢者のため何も出来ない		
	・花川方面までタクシーが ートがあると良い		と	「一人暮らし」⇒ 知らない		地域振興団体・ボランティア団体・NPO団体	11	・いずれも子育てが落ち着いてから		
			【問 5】	「夫婦世帯」⇒ 必要な時		団体役員（少年団・高齢者ｸﾞﾙｰﾌﾟ消防団）	10	・年齢的に参加しても出来るか不安		
			と	「二世帯」⇒ 知らない していない		その他（意見↓）	2	・歴史の掘起こしや現在を記録するがうなら協力		
		【問 5】	「三世帯」⇒ 積極的	・漁協女性部青年部のイベント活動 ・老人ｸﾞﾙｰﾌﾟ			・年齢的に参加しても出来るか不安			
◆ クロス分析 【問 24】 と 【問 1】 ◆		◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 11】 ◆				◆ クロス分析 【問 27】 と 【問 2】 ◆		◆ クロス分析 【問 28】 と 【問 2】 ◆		
【問 24】	「 男女別に見た 地域交通の事情	【問 25】	「 住みやすさから見た 近所付合い	【問 27】		「 年代別に見た 地域活動	【問 28】	「 年代別に見た 地域活動の参加		
と	「女」⇒ バス不便 交通費負担 バス路線維持	と	「とてもすみやすい」「どちらかと言えば住みやすい」	と		「10代～20代」⇒ 不参加 ⇒ 高い	と	「60代」⇒ 交流活動 健康づくり が 高い		
【問 1】	不便を感じない ⇒ 男性より多い	【問 11】	⇒ 積極的 必要な時 ⇒ 6割と高い	【問 2】		「40代～60代」⇒ PTA活動 ⇒ 高い	【問 2】	「70代」⇒ 福祉 防犯 が 高い		
◆ クロス分析 【問 24】 と 【問 2】 ◆		◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 16】 ◆		◆ クロス分析 【問 27】 と 【問 3】 ◆		◆ クロス分析 【問 28】 と 【問 3】 ◆				
【問 24】	「 年代別に見た 地域交通の事情	【問 25】	「 いつまで厚田で暮らしたい から見た近所付合い	【問 27】		「70代」⇒ 各種団体 ⇒ 高い	【問 28】	「 地域別に見た 地域活動の参加		
と	「60代・70代」⇒ いつまで運転できるか不安 最も高い	と	「1年以内」⇒ 知らない していない	【問 2】		「80代」⇒ 団体の役員 ⇒ 高い	と	「桂沢」「発足」⇒ イベント が 高い		
【問 2】	「10代」⇒ バス不便 交通費負担 が他より高い	【問 11】	⇒ 挨拶程度 付合っていない ⇒ 高い	【問 27】	◆ クロス分析 【問 27】 と 【問 3】 ◆	【問 3】	「古澤」⇒ 防犯 が 高い			
◆ クロス分析 【問 24】 と 【問 3】 ◆		【問 16】	「いくつになっても暮らしたい」⇒ 積極的	【問 3】	◆ クロス分析 【問 27】 と 【問 18】 ◆	【問 3】	「安瀬」⇒ 交流 が 高い			
【問 24】	「 地域別に見た 地域交通の事情	地域との係りに特に何が 必要だ と思いますか			【問 27】	【問 27】	【問 3】	「小谷」「濃昼」⇒ したくない が 高い		
と	「安瀬」⇒ いつまで運転できるか不安 6割高い	回 答	割合(%)	【問 3】	【問 3】	【問 3】	◆ クロス分析 【問 28】 と 【問 18】 ◆			
【問 3】	「虹が原」「別狩」⇒ 交通費の負担 若干高い	互いに助け合える共助の仕組み	29	【問 3】	【問 3】	【問 3】	【問 28】			
【問 24】 と 【問 5】	◆ クロス分析 【問 24】 と 【問 5】 ◆	気軽に相談できる窓口	14	【問 3】	【問 3】	【問 3】	「 地域に何が必要か から見た「 地域活動への参加 」			
	【問 24】	「 世帯構成別に見た 地域交通の事情	身近に利用できる福祉サービスの情報	12	【問 3】	【問 3】	【問 3】	「子どもの健全育成」望む回答者		
	と	「夫婦世帯」⇒ いつまで運転できるか不安 高い	支える人、支えられる人を繋ぐ仕組み	11	【問 3】	【問 3】	【問 3】	⇒ 子育て環境 を選択		
	【問 5】	「一人暮らし」⇒ 不便なし 他より 若干高い	健康づくり、生きがいづくりの支援	10	【問 3】	【問 3】	【問 3】	「自然環境保全への活動」望む回答者		
	【地域活動（意見）】について 【問 25】～【問 28】		地域で集まり活動できる場所	9	【問 3】	【問 3】	【問 3】	⇒ 困りごとの相談場所 を選択		
	【問 25】	お宅では 近所付合い をどの様にしていますか？	特に何もしなくても十分	9	【問 3】	【問 3】	【問 3】	「相談場所」望む回答者		
	と	回 答	住民の自治活動の育成	4	【問 3】	【問 3】	【問 3】	⇒ 福祉活動の参加 を選択		
	【問 1】	必要な時だけのお付合い	福祉に関する体験学習	1	【問 3】	【問 3】	【問 3】	「地域活動に参加したくない」望む回答者		
	【問 1】	会えば、挨拶程度	その他（意見↓）	1	【問 3】	【問 3】	【問 3】	⇒ 地域に特に必要なものはない を選択		
	【問 1】	日頃から積極的	・育児支援の強化は至急必要と思う		【問 3】	【問 3】	【問 3】			
【問 25】	たまに、立ち話をする程度	・親子が集まれる場が欲しい		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	不明	・働く場があればいい		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	近所付合いは していない	・自分や家族のことで精一杯		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	誰が住んでいるか 知らない	・地域活動をしているが今後何年出来るか不安		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	その他（意見↓）	・支える側が高齢化しており、いずれ支えきれなくなる		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	・つきあいは面倒 ・越して来たばかり何もしていない	・若い人材を転入できる仕組みに力を入れることが急務		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	・積極的、必要な時の中間のほど良い付合い	・子供と地域の係りを作る		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	・自治会活動 ・町内会 ・助け合い	・若手、中年の地域を引っ張る人材の育成		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	・ケースバイケース ・高齢者倶楽部や友人	・若い人が住めるような支援		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
	・近所でも色々あるので一つは選択できない	・自治会の活動協力、祭り事など活動者は多いが		【問 3】	【問 3】	【問 3】				
◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 1】 ◆		必要性を感じていない人達へのアプローチが必要		◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 1】 ◆						
【問 25】	「 男女別に見た 近所付合い			◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 1】 ◆						
【問 1】	男女の差はほとんどない ⇒ 積極性は幾分女性あり			◆ クロス分析 【問 25】 と 【問 1】 ◆						

地区・年代の分析概要 （項目ごとの特徴的な傾向を地区別、年代別に標記しています）

この欄の見方⇒★厚田⇒「地区」★477/640⇒「640人」中「477人」が回答★74.5%⇒「割合」

属性	項目	厚田区			日常生活					防災			交通			地域活動									
		魅力は？	課題と感じている所は？		住みやすい地域？	不便困り事は？		困った時に頼める人いる？		厚田でいつまで生活したい？	避難場所知っている？	携帯電話持っている？	メール使える？	主な交通手段は何？		交通事情で感じていることは？		近所づきあいの程度は？		地域との係り何が必要？	地域活動参加してる？				
地区	厚田 477/640 74.5%		買物不便 厚田・別狩			除雪濃屋	草刈厚別濃	別居家族濃屋	いない濃・安瀬	仕事を 終わるまで 別狩・濃屋	7割 安瀬	持っている3割 安瀬	使える4割 濃・安	自分又は家族運転の車 安瀬		いつまで運転できるか不安 安瀬	交通費負担が大きい別狩	必要な時だけ濃屋・安瀬	挨拶程度別狩	福祉サービスに関する情報 安瀬	不参加 安瀬				
	発足 50/55 90.9%			少子高齡化 発足 古潭 正利冠				近所の人 発足		発足	知っている 8割		使える8割				積極的 発足								
	古潭 58/110 52.7%	自然古潭			交通不便 小谷			別居家族小谷	友人知人嶺泊	いつまでも嶺泊・古潭			持っている5割 桂沢	使える3割 小谷				嶺泊小谷			不参加 小谷				
	望来 269/361 74.5%		買物不便 望来 桂沢 虹が原		越後沢 虹が原		後継者不足 正利冠	同居家族越後沢	近所の人越・桂沢	正利冠				家族運転の車 桂沢	有償運送 ライフト 越後			桂沢	必要な時だけ越後沢	助け合いの仕組み 正・桂	各種団体参加 越後沢				
	聚富 412/617 66.8%	自然聚・虹										持っている9割 虹が原			交通費負担が大きい 虹が原			挨拶程度 虹が原			自治会行事 聚富				
年代	10代 29/58 50.0%		買物不便	交通不便	住みにくい	交通 日常の足				卒業まで		8割	持っている9割	使える9割	バス		バスが不便	交通費負担が大きい	挨拶程度	福祉に関する体験学習	不参加				
	20代 53/109 48.6%						友人知人		5年以内	7割以下										助け合いの仕組み					
	30代 92/143 64.3%																			互いに支援する仕組み					
	40代 156/218 71.6%	自然			住みやすい	買物	同居家族		仕事を 終わるまで いつまでも	知っている8割以上	持っている9割	使える9割	自分が運転する車				必要な時だけ	助け合いの仕組み	PTA 役員として参加						
	50代 180/260 69.2%																								
	60代 294/369 79.7%	災害が少ない		少子高齡化	住みやすい	除雪		別居家族														7割	4割		いつまで運転できるか不安
	70代 288/362 79.6%																								
	80代 163/264 61.7%									買物	通院介護	近所の人		4割	家族が運転する車				積極的						

IV. 分析結果を踏まえた提言

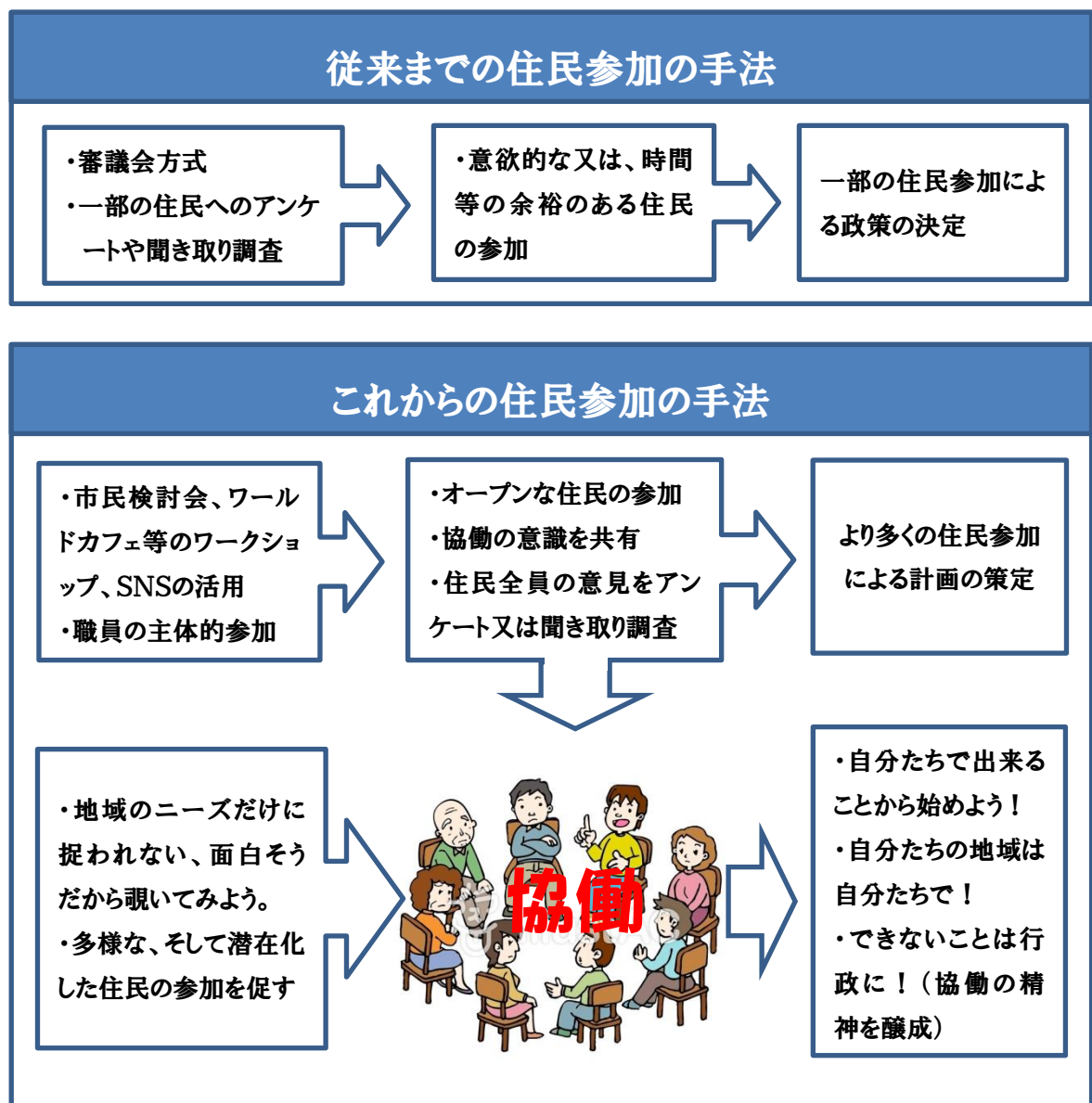
1. 住民参加の手法

【問 9】の厚田区の課題について、住民の約 7 割が①少子高齢化、②公共交通、③買物の不便さをあげています。この 3 つは、日本全体の課題で、避けて通れない課題となっています。

少子高齢化→人口減少→公共交通の撤退→買物難民の出現→生活の不安から都市部へ流出→過疎化

この負の循環が、将来的に地域消失という最悪の事態を招くことになります。

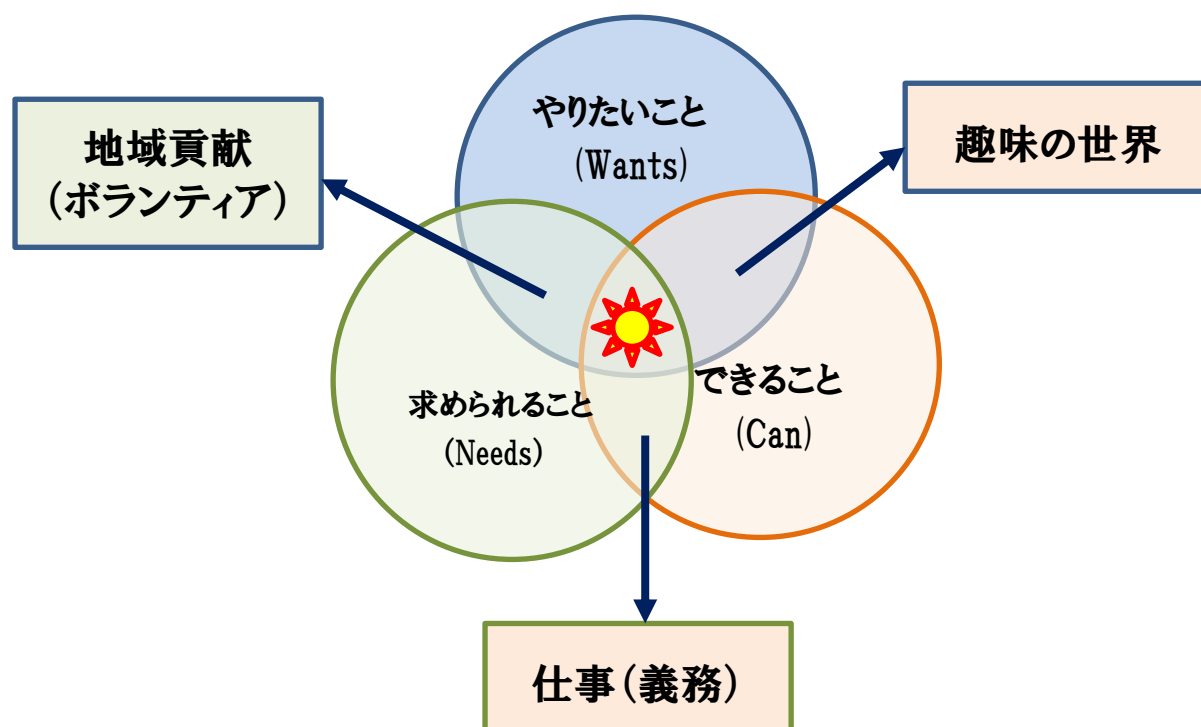
この課題の解決には国や自治体の行政的対策だけでは不可能です。生き残りをかけたコミュニティ住民の一人ひとりの行動が将来に希望をもたらします。



従来までの住民参加の方法だと、各種委員の顔ぶれが同じで、積極的に活動する「人」が固定化されてしまいます。この傾向が続くと、地域のために一生懸命、時間や労力を提供してくれる住民がいる一方、苦情や要求はするものの、地域活動には協力しない住民や全く関心を示さない住民を増やすことにもなります。

少子高齢化・過疎化が進むと、地域のために汗を流してくれる人材の確保が難しくなります。

人材の確保には、“地域が求めていること”の敷居を低くして“自分がやってみたいこと”の対象を増やし、厚田区内外を問わず、様々なイベントに参加できる仕組みを作ることが必要と考えます。



従来までの地域貢献は、地域から求められる事 (Needs) と自分のやりたい事(Wants)がうまく一致した人々、又は退職後自分の経験を活かし、自分のできる事(I can)をボランティアとして行う人々を地域は期待してまかせてきました。特に、上の図のように (★) 三拍子そろって地域を革新的にけん引する人材 (トリガー的人材) を探すことは極めて難しいと言われています。

このように、人材の確保が難しくなっている現在、地域貢献の仕方を趣味の世界 (地域のニーズはあまり考えない)、自分のやりたい事、自分のできる事を楽しむ方向に舵を切る必要があります。

少子高齢化の問題は全国各地で起きている現象であり、国の政策をもってしても解決の糸口がつかめない困難な状況です。このような状況下で、地域が求めるニーズは、全国各地で同じような対策が掲げられています。同じような地域ニーズに対し、地域貢献者 (トリガー的人材) の獲得競争になってしまいます。そのような人材確保に有利な条件として、都市圏に近く、交通・買物の比較的便利な田舎、手軽な住環境と地域教育力の高さ、そこに地域住民のやる気・元気が加わります。

少子高齢化・過疎化対策の地域ニーズに応えられる人材を探すのは大変です。

このような状況で、発想を転換して、各地で困難を呈しているニーズに振り回されず、地域に潜

在化している「やりたい事」「できる事」をコミュニティとして活躍できる場の提供を準備し、その活動を通して地域の人々が「自分たちの地域で何が必要かを、自分たちで考え、行動する環境」を整えることも今後必要になると思われます。

2. 「やりたい事」「できる事」



日常生活の支援

- ・ 防災・防犯ボランティア
- ・ ライフサポートのサポーターへの参加
- ・ 除雪・草刈などのボランティア
- ・ 簡単な大工仕事など



地域教育力

- ・ 読み聞かせボランティア
- ・ 農業体験、校内菜園支援
- ・ 学童保育、部活支援
- ・ サマースクール支援
- ・ 学業ボランティア



地産地消の推進

- ・ 山、海、畑の幸の加工品を企画開発
- ・ 家庭菜園、花卉栽培を推進、イベントで販売
- ・ 地産地消を推進するサークルの立ち上げ



芸術・文化活動

- ・ 望来獅子舞保存会
- ・ 心叫太鼓（厚嵐会）
- ・ 水彩画（アクアレール）への参加
- ・ 絵画展、写真展の企画
- ・ 俳句・和歌・読書会などの趣味の会企画、参加
- ・ 音楽鑑賞、合唱、楽器演奏など趣味の企画、参加



おもてなし(交流)

- ・ おもてなしイベント企画
- ・ 観光案内ボランティア
- ・ 地産地消のおもてなし料理イベント企画
- ・ ユニークな婚活イベントの企画



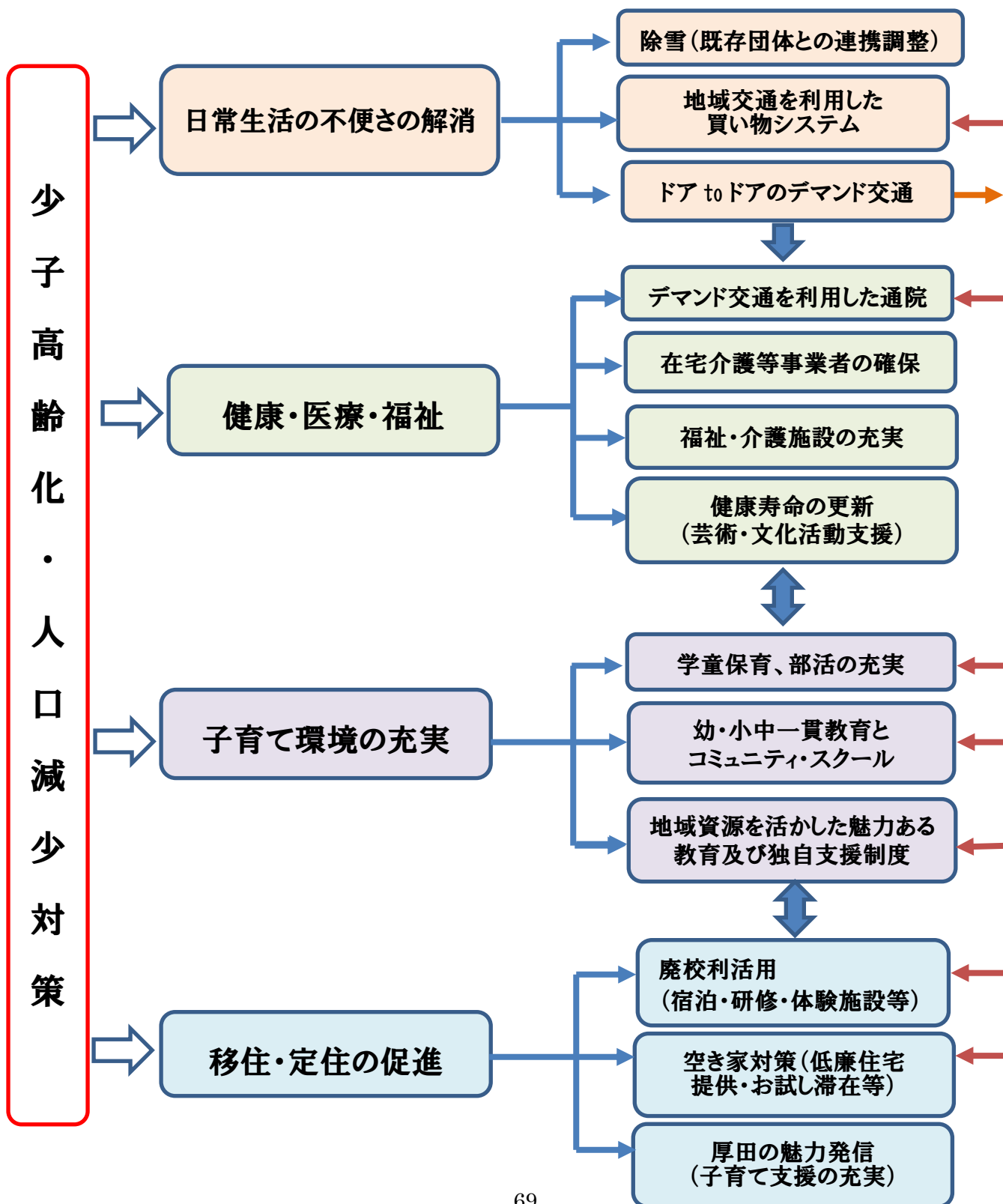
自然環境の魅力

- ・ 豊かな自然の魅力をSNSで発信
- ・ 厚田の自然を絵画、写真、動画、文章、文学で発信
- ・ 星を見る会（夏）、雪で遊ぶ会（冬）の体験観光ボランティアへの参加
- ・ アウトドア・スポーツで魅力発信

「やりたい事」「できる事」を厚田の課題解決に結び付ける組織体が必要です。

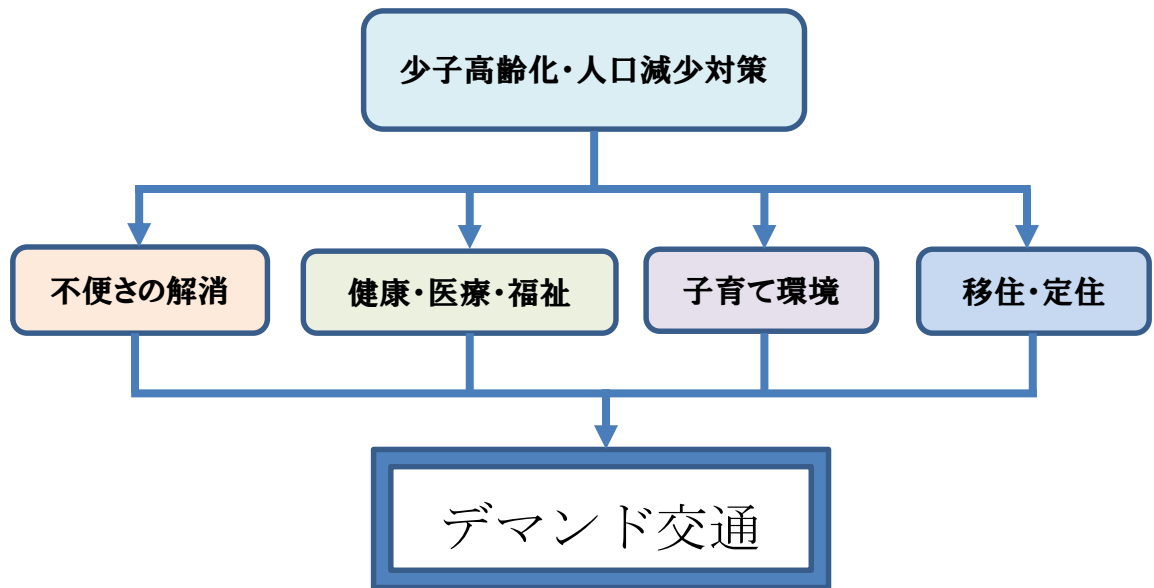
2. 厚田の課題を整理

アンケート会議では委員一人ひとりが、分析結果を見ながら課題に対する対策（アイディア）や解決に向けた方向性、そして課題解決の目標となるポイントを示しました。それがP78の表です。この表を基に整理すると以下のようになります。



厚田の課題を整理すると、①日常生活の不便さの解消、②安心の医療・福祉、③子育て環境の充実、④移住・定住の4つとなります。

更にこの4つの共通する社会基盤が、地域交通の充実ということになると思います。



3. 人口減少の要因

(1) 20～39歳の若年女性の減少

- ・9割以上の子どもがこの層から生まれる。
- ・第二次ベビーブーム世代はすでに40歳。それ以下の世代の人数は急減。
(2025年問題、2040年問題)

(2) 若者の地方から都市部への流出

- ・地方から都市部への若者の流出 ⇒ 人口の再生産力が喪失される。
- ・止まらない札幌一極集中 ⇒ 人口移動の流れを変えることができるか？

(3) 高齢者の地方から都市部への流出

- ・ひとり暮らし又は後期高齢者世帯は、日常生活の不便さ、医療機関への通院等のため、都市部で働く子ども達を頼って流出。

(4) 「消滅可能性都市」とは (日本創成会議)

- ・人口の再生産力 ⇒ 「20～39歳の若年女性人口」
「消滅可能性都市」の定義 ⇒ 2010年から2040年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村
消滅可能性<5割<持続可能性

例えば、ある自治体で、生まれてから20～39歳になるまでに、男女ともに3割程度の人口流出があるとする。

- ・出生率1.4が続くとする、概ね30～40年後に若年女性は現在の5割に減少する。
- ・減少を回避し人口を維持するためには、直ちに2.8～2.9の出生率が必要だが、実現は難しいと言われている。

以下の表は、厚田区における 20 歳～39 歳の女性の割合を示したものです。

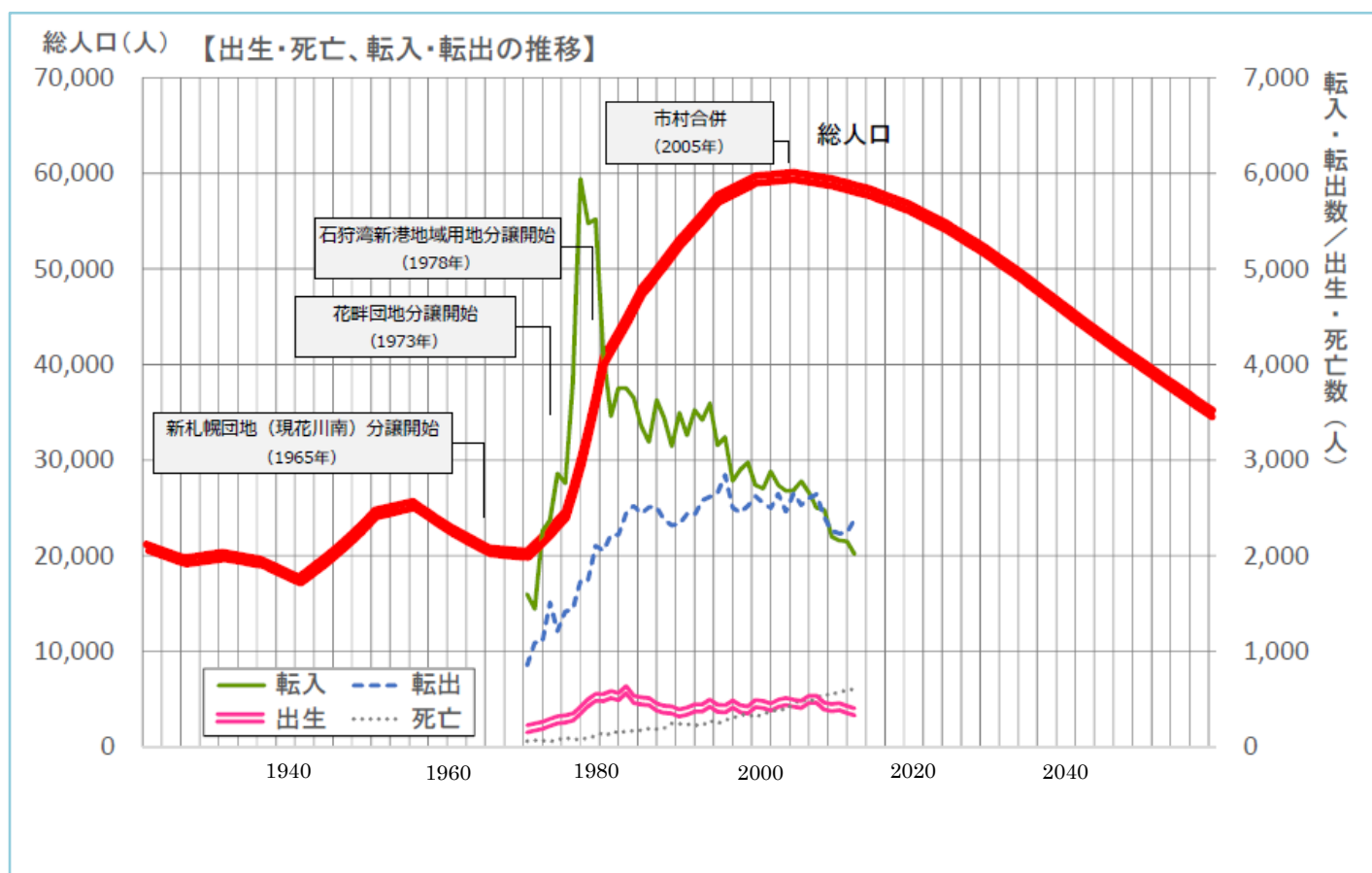
項 目	男性	女性	計
20 歳～39 歳	141	111	252
厚田の人口	943	931	1,874
割 合	15.0%	11.9%	13.4%

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

この表からもわかるように、20 歳から 39 歳の若年女性人口は 111 人、厚田の人口が 1,874 人ですから、厚田の人口に対する若年女性人口の割合は 5.9%となります。厚田地域としては将来的に大きな課題を抱えていることが分かります。

石狩市全体では、20 歳から 39 歳の若年女性の人口増減は、2010 年で 6,743 人ですが、2040 年になると 3,572 人となり、その減少率は 47%にもなります。参考までに、2010 年の石狩市の人口構成比率は、15 歳未満が 13.56%、15 歳から 64 歳の労働人口比率は 63.29%、65 歳以上の高齢化率は 23.15%です。

更に、以下のグラフは、石狩市における出生・死亡・転入・転出の推移です。2010 年頃から転入・転出が逆転して、転出が増えていきます。

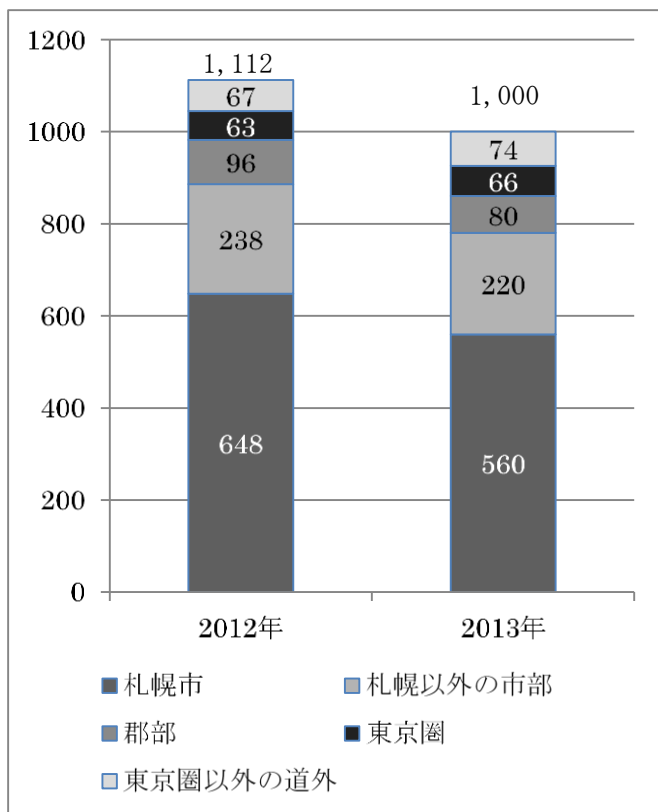


※ 2010 年までは国勢調査により作成、2015 年以降は社人研推計値に準拠して作成

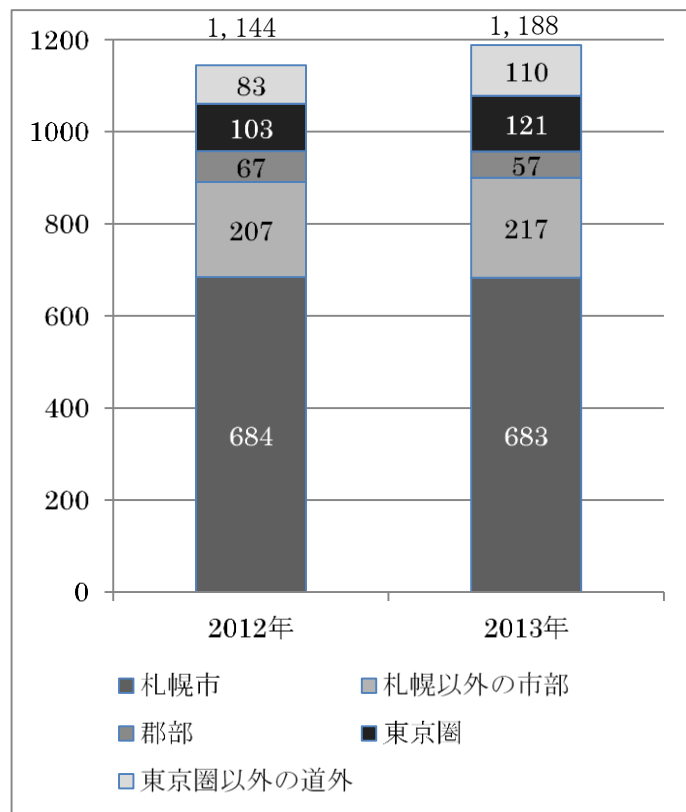
※ 市村合併以前 (2005 年以前) の人口は、旧石狩市、旧厚田村、旧浜益村の合計値を示す

※ 1970 年以降の転入・転出数及び出生・死亡数は市民課調べ

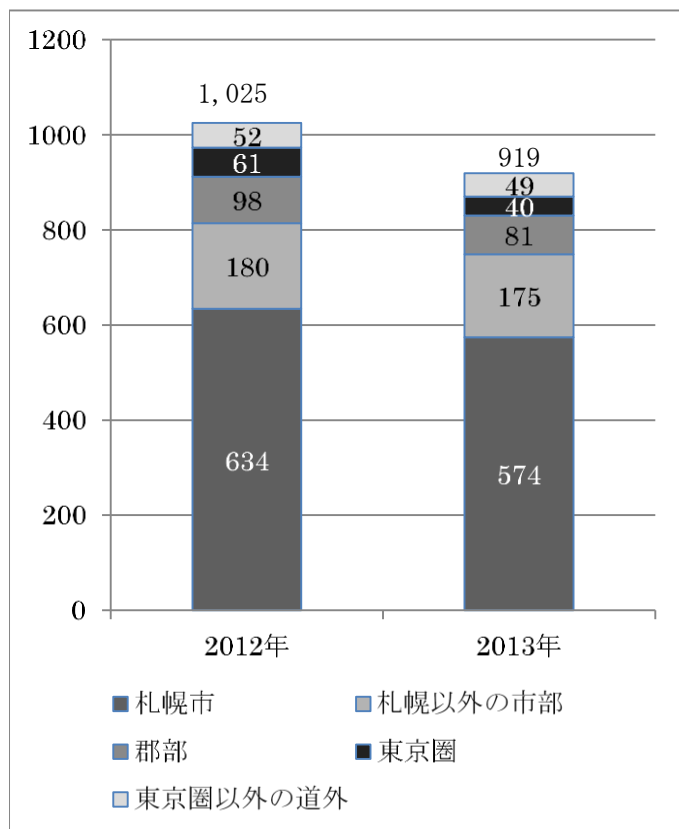
以下のグラフは、石狩市の最近の状況で、男性及び女性の転入数と転出数を示したものです。
男性より女性の転出が多くなっています



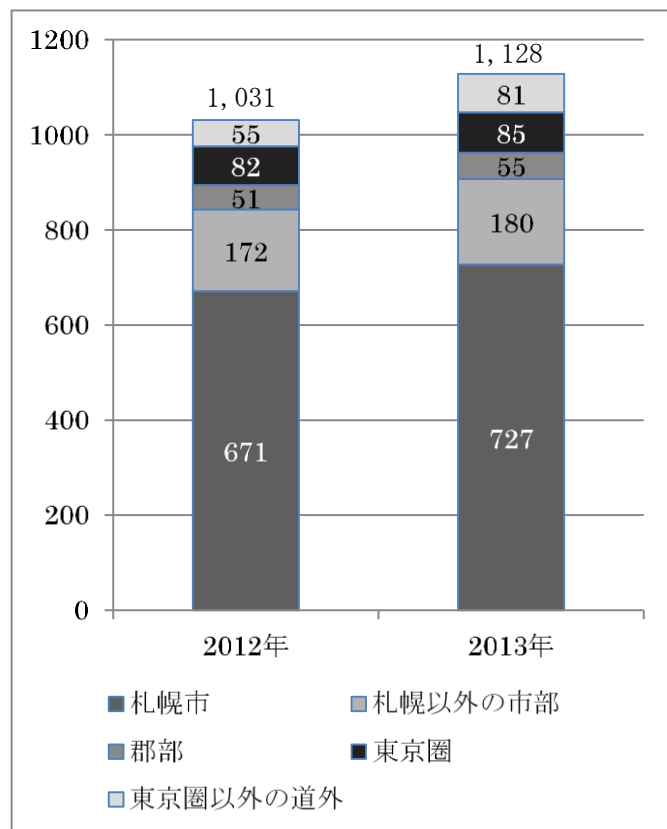
男性の転入数（人）



男性の転出数（人）



女性の転入数（人）



女性の転出数（人）

4. 若者の転入者を増やす対策

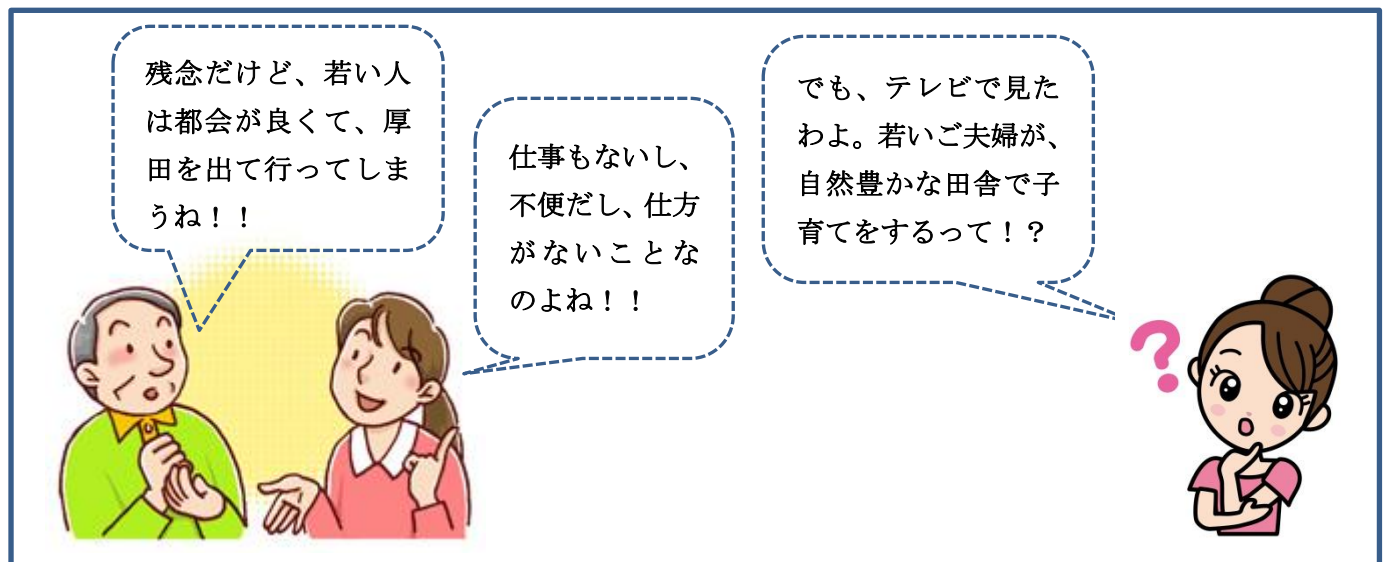
住民アンケートで、職業欄で「学生」と答えた人に、次のような質問をしています。【問 10】あなたは卒業後も厚田に住みたいと思いますか。

「住みたくない」が最も多く、次が「どちらとも言えない」で、この2つで約 67%、7 割弱となります。

「仕事がない」ことも大きな要因となりますが、不便さも要因として加わります。

このような状況にある過疎地で、若者を増やすというのは、大胆な施策無しでは難しい課題と言えます。

No.	カテゴリー名	n	%
1	ぜひ住みたいと思う	1	3.0%
2	仕事があれば住みたい	5	15.2%
3	他の地域に進学や就職をしてもいつか厚田に戻りたい	4	12.1%
4	どちらとも言えない	9	27.3%
5	住みたくない	13	39.4%
6	その他	1	3.0%
	全体	33	100%



- ・「住」：若者が住めるよう低廉な住宅の提供
- ・「就」：仕事を見つけるための支援
- ・「業」：農林漁業等の後継者支援
- ・「逢」：出会いの場・時・機会を提供
- ・「結」：新婚世帯への経済的支援
- ・「暮」：暮らす上での不安除去対策
- ・「誕」：産前・産後の支援事業
- ・「育」：子育て支援、ブックスタート事業

ブックスタートとは、赤ちゃんと一緒に絵本を開く楽しい体験とともに、絵本を手渡すことで、赤ちゃんの保護者がゆっくり向き合い、楽しくあたたかい時間をもつきっかけづくりを応援する事業です。1992年に英国で始まり、日本では2000年に紹介され、全国に広まっています。石狩市では、2006年から開始しています。

- ・「教」：公教育（コミュニティ・スクール）の充実とライフ・デザイン教育の実施
- ・「絆」：地域による助け合い・交流等の場の提供
- ・「郷」：郷土を知る歴史文化まちづくり
- ・「愛」：豊かな自然環境を生かした情緒豊かな感情・芸術を育む
- ・「整」：暮らしやすいまちづくり、地域交通の整備

厚田は、札幌から1時間範囲の“便利な田舎”という地の利を生かした対策が可能。

厚田の地の利を活かし、前述した対策をできるところから一つひとつ、地域が協力して実行する姿が、都会生活に疲れた人々や、自然派の若者の心を惹きつけ、移住・定住を促す可能性が高いと思われます。今回の住民アンケート調査の自由記述でも、このような意見が多くみられています。

5. 移住・定住促進に欠かせない地域交通対策

今回の市民アンケートにおいても、地域課題として最も大きな期待が寄せられたのが、地域交通への要望でした。本案件については、平成29年10月に「石狩市地域公共交通活性化協議会」が設置され、第6回協議会で「網形成計画が決定」される予定になっておりますので、ここでは詳しい提言は行いませんが地域活性化の大きなカギを握っているのが、この地域交通の問題であることは、今回のアンケートでも明らかになっています。

6. 地域の教育力の高さが移住・定住を促進

望来小学校は、本年度（平成30年度）、地域の皆さんに惜しまれつつ、121年という長き歴史と伝統に幕を閉じました。厚田の地域教育力の高さには定評があり、先進的な読み聞かせの分野、農業・漁業という第1次産業の分野、PTA活動、おやじいの会、クラブ活動、伝統的な「望来獅子舞」、心叫太鼓厚嵐会など、地域の人々の様々な貢献がなされてきました。

このような状況を反映して、第3期地域協議会において地域教育分科会を設置し、「学校運営協議会制度（愛称：コミュニティ・スクール）」を利用した地域と学校との連携・支援の在り方について学習会を行った経緯があります。（『地域の活性化は地域の教育力から』平成23年3月24日）

知識偏重教育の見直しが各方面で言われ、私たちの教育的価値観に変化が見られるようになり、体験重視の主体的学びの重要性が認識されるようになってきました。教科書中心の学習から教科書の内容を深め考えさせる意味からも、狭い教室から飛び出し体験的・主体的に学ぶことが重視されています。更には、教室で学んだことを教室の外でも考え続ける体験的な学びを奨励しています。これらの体験重視の学びの傾向は、必然的に地域にある身近な教育資源を学習材として利用することに結びつきます。

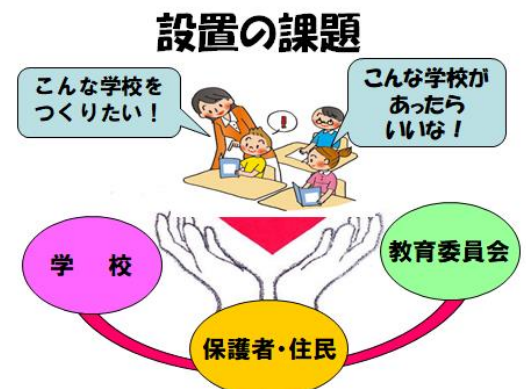
このような教育資源が、私たち地域教育分科会が目指している地域教育力の資源（人的資源と環境資源）であります。（『地域の活性化は地域の教育力から』より）

【制度導入の目的】

- ・保護者や地域住民の様々な意見を反映
- ・地域に開かれ、信頼される学校づくり
- ・保護者や地域住民の協力なしには困難
- ・学校運営に反映させる仕組みが

「コミュニティ・スクール」である

（文部科学省の「手引き」より）



コミュニティ・ スクール構想



【制度導入による成果】

- ・ 学校での子どもの様子がよくわかる
- ・ 保護者が協力的になった
- ・ 特色ある学校づくりができる
- ・ 地域が協力的になった
- ・ 学校が活性化した
- ・ 地域が活性化した
- ・ 教員の意識が変わった
- ・ 地域教育力が高まった

(制度導入実践校の事例より)

平成 32 年 4 月に石狩市では最初の小中一貫校「厚田学園」がオープンし、そこに学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置が予定されています。

小中一貫校、コミュニティ・スクール等の特徴あるユニークな教育や地域教育力の高さは、移住・定住の大きな動機となります。

7. 地域活性化のカギとなるカンパニー構想

色々なイベントに参加しても、顔触れはいつも同じだよ！！

アンケートでは機会があればやってみたいという人がいるのにね！

なんだかんだ言う人はいるけど、中心になってやってくれる人がいないのかしら（ドーナツ現象？）



ドーナツ現象とは、住民参加ワークショップ等のアイディアの多くは行政への期待や提案で、**自らが挑戦する、核となる人材のいない**ことを指します。



少子高齢化・過疎化が進むと、地域のために汗を流してくれる人材の確保が難しくなります。周りには「意見する人」や「支援する人」、あるいはワークショップなどで「アイディアを出す人」は沢山いますが、自分が中心になって地域を引っ張っていく「トリガー的人材」がいません。ドーナツ化現象というのは、中心になる人がいない、地域創生が空洞化していることを指す言葉です。

地域創生のカギになるのは、けん引する人材を探し出すということだと思います。最近では、国

や地方公共団体などの支援や地域金融機関による地方創生ファンドなどが設立され、ドーナツの輪の部分が準備されているが、肝心の「トリガー的人材」がいなかったため、負の循環（少子高齢化→人口減少→足の確保が困難→買物難民の出現→生活不安から地域から流出→過疎化）に陥ったままの地域が続出しています。このような負の循環を抜け出す方法として、「トリガー的人材」の発掘と地域の人々が、自分のやりたいこと(Wants)を、いつでも・だれでも参加できる拠点（コミュニティ・センター）をつくり、そこで地域の魅力を発信し経済活動に結び付けることが肝心です。

その構想が、カンパニー構想です。



8. カンパニー構想実現へのロードマップ

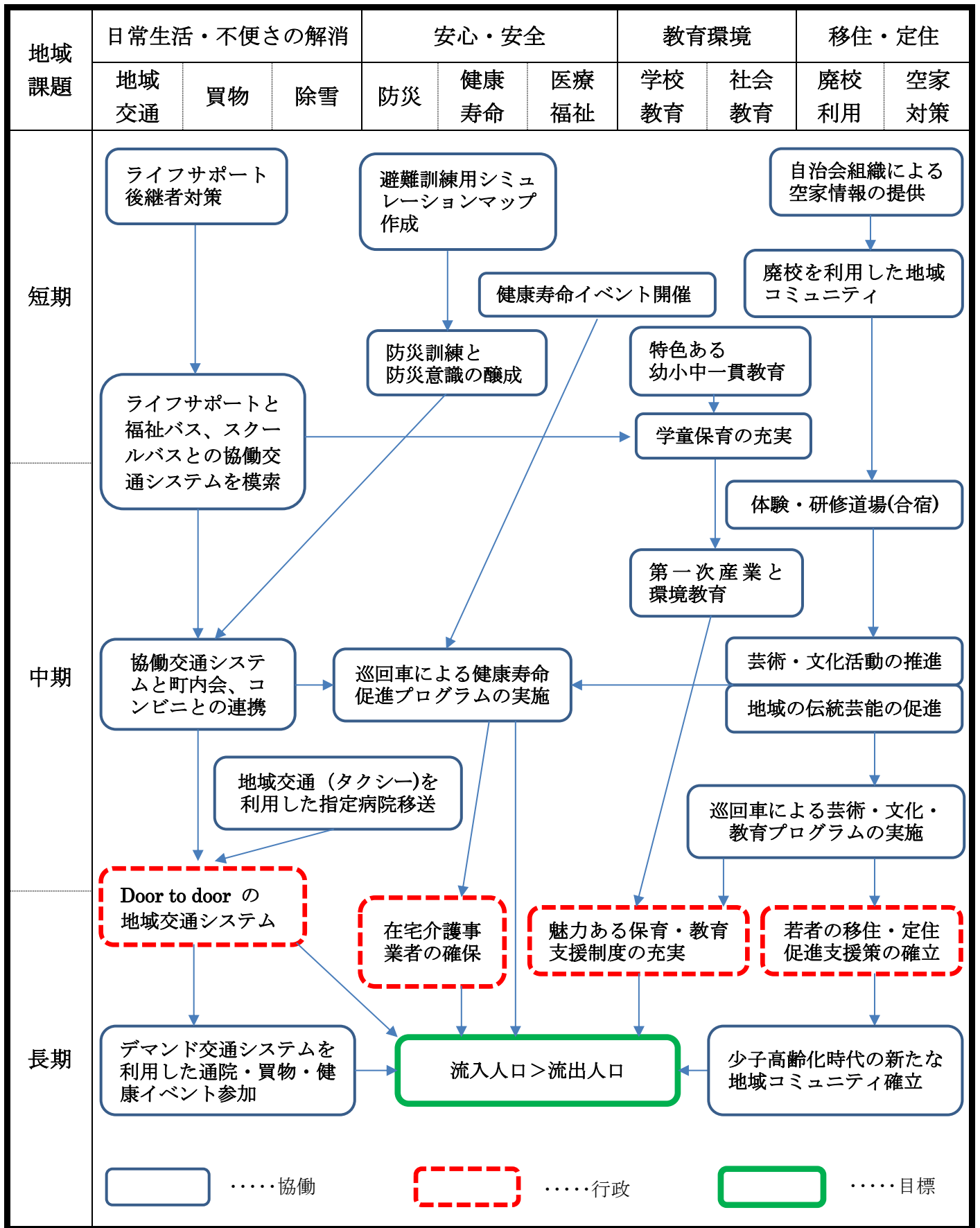
ロードマップとは、目標を立て、そこに至るまでの作業行程を表にしたものです。目標を立てると言っても、夢に近い大きな目標からすぐ手が届く具体的な目標といろいろです。一般に、大きくて遠い目標を「方向目標」といい、小さくて近い目標を「具体目標」又は「到達目標」といいます。

ここでは、ロードマップとして次のページのように、目標を時間軸で表現して短期目標から中期目標、長期目標の三段階にわけています。

このロードマップは、住民アンケート会議の委員が、アンケート集計や中間報告を参照しながら地域課題解決に向けたアイディア（対策）を示したものです。

過疎地の経済活動は収益が小さいので、活動資金が必要になります。色々な支援を受けるためにもNPOの法人化は必須条件になります。

カンパニー構想実現へのロードマップ



住民アンケート会議 委員によるアンケート結果の『地域課題に対するアイディア（対策）』 一覧

大項目	小項目	提案数	アイディア（対策）	方向性（目指す形）	ポイント（目標）
日常生活の支援	地域交通	14	・タクシー（ダイコク交通）の活用 ・ライフサポートの活用 ・仕組みの構築（デマンドバス） ・学生（若者）も利用できるミニバス ・規制緩和（国・道）を求める ・横断的に活用できる仕組み（縦割り廃止）	・区民が望む仕組みの構築（ドア to ドア） ・既存交通（タクシー）の活用 ・学生（若者）を含む乗合い交通の実現 ・縦割りのな利用を改善（横断的な利活用） ・ライフサポートとの連携（33年度末廃止？）	・発想の転換 ⇒ 横断的な交通体系の構築 ・人のみならず『物』も運ぶ ⇒ 利用頻度を広める ・個々の利用 ⇒ 『乗合い』『混乗』 ⇒ 負担軽減 ・低料金システム ⇒ 誰もが使いたくなる ⇒ 料金体系 ・維持費試算 ⇒ 利用促進・転換（免許返上） ・ニーズ調査 ⇒ 学生・高齢者・バス利用者等
	買い物	9	・地域運営型移動スーパー展開 ・移動スーパー集まれ店舗（月2回） ・買い物ツアー ・買い物代行（助け合いシステム） ・既存事業者との連携、立寄り場所を増やす ・スーパーの誘致 ・地域交通確立、活用により改善する	・試験的な取り組みから将来の可能性を探る ・代行（助け合い）の可能性と仕組みづくり ・地域交通との関連性を具体化	・地域交通（デマンド交通）で一部解消（対応） ・大学ゼミとの連携（試験営業：検証）
	除 雪	11	・会員制（登録制）による助け合い（ライフサポートの仕組み引継ぐ）有償支援 ・若者ボランティアの導入 ・ボランティア「ポイント」の導入（特典付与） ・小型除雪機の導入・活用 ・業者、市除雪、NPO等棲み分けした仕組みづくり	・助け合いの仕組みづくり ・既存の仕組み活用	・ボランティア人材の確保、見通し（既存団体との連携調整）（ポイントによる特典付与システム） ・ルールづくり（事業者毎の『棲み分け』）
少子高齢化	少子高齢化	5	・コミュニティ・スクールの活用 ・良さが体感できるツアー企画を実践提供 ・みよし園の活用（地域ニーズはどんな施設） ・移住促進（古民家・空き家斡旋・登記・片付）		
	人口減少	11	・移住定住促進（空き家情報収集斡旋登記等手伝い）（良さをPR:札幌から一番近い田舎）（家財等の片付け助成、片付け登録低料金） ・コミュニティ・スクールの活用 ・お試し移住体験 ・空き家リノベーション利活用等（空き家対策を打つ） ・空き地の利用 ・ニッポン移住・交流ナビ（JOIN）等、インターネットを活用した情報発信	・移住定住促進に向けた本気の取り組み（助成制度、斡旋、PR、お試し、物件整理） ・コミュニティ・スクールの計画的な事業展開（厚田でしかできない教育）（地域資源を活用した教育）	・移住定住者を含む検討組織の立上げ ・学校運営協議会制度活用と地域の取り組み ・みよし園の利活用（デイサービス・入所者受入OK）
安心安全	医療・福祉	6	・病院指定移送交通の確立 ・既存お迎えバスの活用 ・医療や福祉サービスに関する相談窓口の適切な周知 ・安心して在宅生活を送れる介護体制の維持	・地域交通との関連性を具体化	・地域交通（デマンド交通）で通院解消（対応）
	防 災	4	・危機意識を高める訓練の積み重ね	・自治会単位による訓練と参加者の拡大 ・自分の命は自分で守る意識の高揚 ・町内会単位での助け合いを意識した訓練	・防災意識の高揚
教育と働き口	子育て環境	7	・廃校舎を活用した遊びの場を作る ・区独自の子育て支援制度を確立する ・学童保育（放課後児童クラブ）の確立 ・保育料無償化（子育て世代に特典） ・母親同士が楽しく子育てできる環境の創出 ・子どもと高齢者がコラボできる場づくり	・学童保育（放課後児童）教員OB・OG活用（再任用） ・子育て世代が魅力と感じる支援制度の確立 ・子どもと高齢者の融合の場づくり（提供）	・魅力ある独自支援制度の整備 ・学童保育（放課後児童クラブ）の充実 ・コミュニティ・スクールを活かす計画的な取組み
	働き口	5	・短時間で働ける場の斡旋 ・障がい者への作業委託（清掃・除雪など） ・厚田での就業者に対する特典を付与（特産品）	・人材確保に向けた仕組み（コーディネーター）	・人材バンク → コーディネート ⇒ 仕組み活用
その他	自主組織の活性化	1	・助け合い・支え合いの仕組みの必要性を感じている人は多いが、自分が役割を持って参加するという認識が薄い	・本気の人材を見つけ出す	
		1	・ご近所と仲良く過ごし、頼みごとをしやすい関係を構築する		
		1	・敬老会、配食、祭りなどの住民同士の係りの機会をボランティア団体などに補助金を出し、企画運営してもらい、地域活性化・世代間・地域間交流を深める	・助け合い、コーディネーター、地域ボランティア	
	人材	1	・地域おこし協力隊『拠点』から、新たな「視点」「発想」「展開」にチャレンジ・試みる - 外部視点、新たな発想の取り込み：地域おこし協力隊 - 地域住民との連携：新たな人材の取り込み - 若い力：大学生等との連携	・地元（内側）からの地域おこし、活性化には限界あり ・外部視点、移住者、若者との連携によりチャレンジ	・人材確保

V. おわりに

厚田区は 190 万都市・札幌から車で約 1 時間、海・山の美しい自然と長閑な田園地帯に恵まれた、人情の厚い、訪れて良し・住んで良しの「まち」です。地域協議会・住民アンケート会議が行ったアンケートでも、地域の魅力は、「自然に恵まれ」「大きな災害の心配が少ない」「知り合いが多く、安心して暮らせる」「落ち着きと安らぎがある」等とラブコールを送っていただきました。

平成 17 年 10 月の合併により石狩市の仲間入りをしましたが、厚田という地域の個性や魅力・風土や文化を絶やすことなく、今後ともさらに地域の魅力を引き出しながら住みやすい地域となるよう、住民一団となって「まちづくり活動」を進めていく必要があります。

住民アンケート会議では、9 割近い住民の皆様の声が反映され、『自然と人が共生し、安心して暮らせる活力あふれる地域』に向けた具体的な提案をさせていただきました。

地域のまちづくりを進めるにあたっては、今後ともさまざまな課題の発生が予想され、地域住民だけでは山積する課題の克服が難しい局面もあります。

「いつまでも住みなれた厚田で暮らしたい」という地域住民のささやかな声をも大切にして、少しでも地域を良くしようとする住民と、それに応える行政機関との協働によって“近説遠来”の実現に向け、混とんとする時代の新たな地域コミュニティづくりに一人でも多くの人々の参加を願うばかりです。

住民アンケート会議は、本報告をもって解散となりますが、アンケートに協力いただいた地域の皆様、そして委員の皆様には心から感謝申し上げますとともに、この調査が、地域住民一人ひとりのまちづくりを考える資料となり動機づけとなり、更には豊かな自然と文化に育まれた人情味あふれる地域性を活かしたまちづくりに取り組まれることを切に願っております。

『活力と魅力あふれる厚田』が実現されることを期待して最終の報告とさせていただきます。

平成 31 年 3 月 31 日

厚田区地域協議会 住民アンケート会議
座長 河合 徳秋

住民アンケート会議委員

所属	地域協議会	自治会	民生委員児童委員 連絡協議会	地域振興団体	サポーター （支所職員）	
1	渡邊教門（厚田）	河合保郎（厚田）	鎌田憲一（厚田）	佐藤勝彦（望来）	高田靖仁（望来）	地域振興課
2	小山玲子（厚田）	平賀敏和（発足）	小笠原孝子（発足）	伊藤一治（発足）	今田竹哉（厚田）	地域振興担当
3	今 光江（古潭）	中西元典（望来）	朝倉留美子（聚富）	柴田 肇（望来）	佐藤政喜（聚富）	〃
4	築田敏彦（望来）	上出友紀（聚富）	笹川三弥（厚田）	津川禎祥（厚田）	川村祐子（古潭）	〃
5	大内さつき（聚富）		座長 河合徳秋（発足）		相原真一（古潭）	市民福祉課
6					高田憲一（聚富）	地域福祉・介護保険担当
7					小池真輝（発足）	〃 社会福祉士
8					富木えり子（聚富）	介護・保健・支援担当
9	◇ メンバーは、4つの組織から構成 ◇ 括弧書きのとおり、詳細の検討は地区毎に進めた（発足・古潭は1グループ） ◇ サポーターとして支所職員が加わった				片岡真由美（望来）	〃
10					加藤由美子（厚田）	〃
小計	5	4	4	5	10	
合計	28					

VI. 資料編

1. アンケート用紙

★【あなた自身】（回答者）のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別は	1. 男性	2. 女性
問2 あなたの年齢は	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代	4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
問3 あなたのお住まいの地区は	1. 濃屋 2. 安瀬 3. 厚田 4. 別狩 5. 発足	6. 小谷 7. 古潭 8. 嶺泊 9. 桂沢 10. 越後沢 11. 望来 12. 正利冠 13. 聚富（国道より海側） 14. 聚富（国道より山側） 15. 虹が原
問4 厚田に住んで何年になりますか	1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～20年未満	4. 20～30年未満 5. 30年以上
問5 あなたの家族構成は	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親子（二世帯）	4. 親・子・孫（三世帯） 5. その他 （具体的に_____）
問6 あなたの職業は	1. 勤め人（フルタイム） 2. 自営業・家族従業 3. パート・アルバイト 4. 家事専従（主婦など）	5. 学生 6. 無職 7. その他 （具体的に_____）
問7 主な勤務先は ※問6で1から3を選択した方	1. 厚田区 2. 石狩市（厚田区以外） 3. 札幌市	4. その他 （具体的に_____）

★【厚田区】についてお聞きします

問8 あなたは厚田区のどのようなところを良いところ、好きなところと感じていますか（主なもの3つまで）

1. 自然環境に恵まれている	6. 各種の地域活動が活発に行われている
2. 地域の連帯感がある	7. 他の地域に自慢できる産品がある
3. 落ち着きと安らぎがある	8. その他（具体的に_____）
4. 知り合いが多く、安心して暮らせる	
5. 大きな災害の心配が少ない	9. 良いところ、好きなところはない

問9 あなたは厚田区のどのようなところを課題と感じていますか（主なもの3つまで）

1. 歴史や文化の保全が十分でない	8. バス等の公共交通機関
2. 日常の買物で不便を感じる	9. 広場、公園等の施設設備
3. 昔なじみの隣人、知人が少なくなった	10. 高齢化、人口減少
4. 高齢者、障がい者等の医療・福祉対策	11. 住民交流の拠点がない
5. 地震や風水害等の災害に対する取り組み	12. その他（具体的に_____）
6. 子育てを支援する取り組み	
7. 自然環境を保全する取り組み	13. 特に課題や問題点はない

問10 問6で「5. 学生」を選んだ方にお聞きします。あなたは卒業後も厚田に住みたいと思いますか（○はひとつだけ）

1. ぜひ住みたいと思う	4. どちらとも言えない
2. 仕事などがあれば住みたい	5. 住みたくない
3. 他の地域に進学や就職をしても いつか厚田に戻りたい	6. その他（具体的に_____）

問11 あなたにとって厚田区は住みやすい地域ですか。（○はひとつだけ）

1. とても住みやすい	4. どちらかというに住みにくい
2. どちらかというに住みやすい	5. とても住みにくい
3. どちらとも言えない	

問12 「住みやすい」、または「住みにくい」理由について、具体的にお書きください。

★【日常生活】についてお聞きします

問13 あなたは、今の生活で不便を感じることや困っていることはありますか。
（主なものを3つまで）

1. 除雪	9. 金融機関（ＡＴＭでの出入金）
2. 交通（日常の足）	10. 子育て環境
3. 買い物	11. 通院・介護環境
4. 家事（食事の支度・掃除・洗濯など）	12. 人手、後継者不足
5. 草刈、庭の手入れ	13. 仕事がない
6. ゴミ出し	14. その他（具体的に_____）
7. 日曜大工仕事や繕い物	
8. 電球交換や家屋の簡単な修繕	15. 特に不便なことはない

問14 あなたは、困っていることを誰かに頼んでいますか（主なものを2つまで）

- | | |
|----------|---------------------|
| 1. 同居の家族 | 6. 自治会役員 |
| 2. 別居の家族 | 7. ケアマネージャーなどの福祉関係者 |
| 3. 友人・知人 | 8. ボランティア |
| 4. 近所の人 | 9. その他（具体的に_____） |
| 5. 民生委員 | 10. 頼める人がいない |

問15 あなたは、何かあればすぐに駆けつけてくれる人はいますか（○はひとつだけ）

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. いる（具体的に：_____） | 2. いない |
|-------------------|--------|

問16 あなたは、いつまで厚田で生活したいと思いますか（○はひとつだけ）

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 1年以内 | 4. 自分が学校を卒業するまで |
| 2. 5年以内 | 5. 仕事を終える（引退）まで |
| 3. 10～20年以内 | 6. いくつになっても住み続けたい（問17へ） |

問17 問16で「いくつになっても住み続けたい」と回答した方、なぜそう思いますか。
（主なものを2つまで）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 長年住みなれているから | 5. 仕事があるから |
| 2. 環境が良いから | 6. 他に住みたいところがないから |
| 3. 家族や友人がいるから | 7. その他（具体的に_____） |
| 4. 子育てに良い環境だから | |

問18 これからもあなたが厚田で生活していくために、地域に何が必要だと思いますか。
（主なものを3つまで）

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 地域交通 | 8. 医療・福祉サービスの充実 |
| 2. 働くところ | 9. 安心して子育てできる環境 |
| 3. 災害時の備え | 10. 高齢者住宅など、いつまでも安心して暮らせる住宅 |
| 4. 困りごとを相談できるところ | 11. その他（具体的に_____） |
| 5. 一人暮らしの見守り | 12. 特になし |
| 6. 地域活動の担い手 | |
| 7. 移住促進 | |

★【防災】についてお聞きします

問19 あなたは、地震や水害等の自然災害が起きたときに、どこに避難すればよいか知っていますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問20 災害時はできるだけ早く情報を得ることがとても重要です。あなたは、携帯電話を持っていますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

問21 問20で「持っている」と回答した方、メール機能は使っていますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 使っている | 2. 使っていない |
|----------|-----------|

問22 あなたは、自然災害に備えて、どのような準備をされていますか。(いくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 家族で避難する場所、連絡方法の確認を行っている |
| 2. 石狩市メール配信サービスなどで災害情報を得る準備をしている |
| 3. 自治会の防災訓練などに参加している |
| 4. 懐中電灯やラジオ、非常持ち出し袋を用意している |
| 5. 家具等の固定や転倒防止器具を取り付けている |
| 6. その他(具体的に_____) |
| 7. 特に何もしていない |

★【地域交通】についてお聞きします

問23 あなたが、現在厚田区で利用している交通手段をお選びください。(いくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 自分で運転する自家用車 | 7. 『あつたライフサポートの会』(※)の運送事業 |
| 2. 家族が運転する自家用車 | 8. 高齢者や障がい福祉の移送支援 |
| 3. 路線バス | 9. その他(具体的に_____) |
| 4. デマンドバス | 10. 外出していない |
| 5. スクールバス(混乗含む) | |
| 6. タクシー | |

※『あつたライフサポートの会』とは、
居宅から最寄のバス停、集会施設及び高齢者福祉施設まで有償にて運送事業を実施
している団体。(会員制で登録した厚田区民が利用対象)

問24 あなたは、厚田区内の交通事情についてどのようにお感じですか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 自分・家族がいつまで運転できるか不安 | 4. 将来、路線が維持されるか不安 |
| 2. バス路線が限られた時間のみで不便 | 5. その他(具体的に_____) |
| 3. 交通費の負担が大きい | 6. 現状で満足、今のところ不便はない |

★【地域活動】についてお聞きします

問25 あなたのお宅では、ご近所のおつきあいをどのようにしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 日頃から何でも相談し合うなど、積極的な
おつきあい | 4. 会えば、あいさつをする程度 |
| 2. 必要な時だけのおつきあい | 5. 近所づきあいはしていない |
| 3. たまに、立ち話をする程度 | 6. 誰が住んでいるか知らない |
| | 7. その他(具体的に_____) |

問26 あなたは、地域とのかかわりで特に何が重要だと思いますか。(主なものを3つまで)

1. 地域住民がお互いに助け合える仕組み
2. 健康づくりや生きがいづくりへの支援
3. ボランティアやNPOなど住民の自主活動の育成
4. 福祉に関する体験学習（手話講習会やヘルパー講座など）
5. 身近に利用できる福祉サービスに関する情報
6. 気軽に相談できる窓口の設置
7. 地域で支援される人、支援する人をつなぐ仕組み
8. 地域で集まり活動できる場所
9. その他（具体的に_____）
10. 特に何もしなくても十分

問 27 あなたは、これまでに次のような地域活動に参加したことがありますか。(いくつでも)

1. 自治会の行事
2. 少年団や高齢者クラブ、消防団などの各種団体の役員または委員
3. PTA の役員
4. 地域振興団体、ボランティア団体、NPO 団体
5. その他（具体的に_____）
6. 特に何もやっていない

問 28 あなたは、今後どのような地域の活動に参加したいと思いますか。(いくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの健全育成活動 | 8. スポーツや健康づくりを推進する活動 |
| 2. 高齢者、障がい者等を対象とする福祉活動 | 9. 文化や芸術、芸能活動 |
| 3. ゴミ、リサイクル等の環境活動 | 10. お祭りやイベントへの参加 |
| 4. 防犯活動 | 11. 趣味や経験、技能を活かしたボランティア |
| 5. 交通安全に関する活動 | 12. その他（具体的に_____） |
| 6. 自然環境を保全するための活動 | |
| 7. 世代間の交流や住民同士の交流活動 | 13. 特に地域の活動には参加したくない |

★最後に厚田区への想い、ご意見がありましたらお書きください。

[illegible]

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

2. 問 1 2 の（自由回答）

（「住みやすい」、または「住みにくい」理由について、
具体的にお書きください。）

- ・地元だから。
- ・静かだから。
- ・住みやすいけど地域がよくない。
- ・不便である、交通、金融。
- ・スーパーがないこと。公園が少ないこと。雪が路に多いこと。病院を増やしてほしい。
- ・生まれた時から、厚田に住み、他に出て住みたいとは思わない。ただ最近、冬、雪の降る時期は運動がなかなか出来ないのという事もあるが、全体的には厚田は大好きです。
- ・気候が厳しい。
- ・銀行、スーパーなどがなく、買い物に行くとしても交通機関も満足でない。
- ・スーパーや銀行がない。医療機関が少ない。
- ・高校生のバスの本数が少なすぎるのは住みにくいと思う。
- ・バイトする場所が少ない。娯楽施設がない。公共交通機関が少ない。
- ・環境的にはいいが、交通機関やコンビニなどが足りていない。
- ・地元なので住みやすい。
- ・交通機関が少ない。
- ・自然が多く、知り合いも多いので安心して住みやすい。
- ・気候の悪さ。イナカすぎる。
- ・知り合いが多く、何かとつながっているので色々助かってる。
- ・家賃が高い。
- ・市営住宅の家賃が高い。
- ・自然環境（雪が多い）。買い物で不便。
- ・交通は不便さを感じるが、自然豊かなのが一番幸せを感じる。
- ・住みにくい…買い物不便、交通不便、仕事がない。
- ・別になし、若い人が少ない。
- ・自然環境に恵まれていて、海の幸、山の幸が豊かである。
- ・都会の喧騒から離れ、穏やかな気持ちでいられる。
- ・人同士のつながりが多く、日常生活に安心感をもたらす。
- ・冬、除雪。
- ・交通の便が悪い。医療機関が少なく不安。
- ・交通の便。
- ・厚田は自然が多く残っている。知り合い多く安心できる。
- ・病院等への交通が不便で車を手放せない事。コミュニティバス等があれば免許を返納できますが、吹雪の時等予約制なので行かなければならず事故を起こ

さない様大変な思いです。文化的な催しがない（月に一度でも絵、習字、レコードコンサート等）。

- ・自給自足、家庭農園をする。
- ・長年住みなれたところだから。
- ・病院に行くにも車代がない。
- ・自然豊か。
- ・住宅環境が悪すぎる。今も子供いても狭いところで困っている。
- ・水道料金が高すぎる。子供がいる世帯に対してもっと下げてもらいたい。
- ・人間関係としては良いけど、住宅環境はとても悪い。うちは今赤ん坊がいます。近くに夫の実家や、子連れで遊びに来てねといってくれる友人達があり、育児の相談もしやすい（保健師さんも話しやすい）ですが、とにかく子連れで住むための家、部屋が物凄く少ない。今入ってる部屋なんて夫婦二人の物すら入りきらず、夫と毎日ぶつかりそうになりながら暮らしてるほど狭い。たまに我が子も踏みそうになる。スペースも狭ければ収納もない、市営住宅なのに！！そしてその市営住宅の現在の担当は管理も運営もずさんすぎる。こちらが全うな意見、疑問を述べて、それも何度も話しに行って、やっと入れた部屋が今の狭い、老人向け一人暮らし用の部屋っておかしい。これから子供の服ですら他にも色んなものが増えるのに…至急速やかに、ファミリー用の住宅や棟をどんどん作ってほしい。せっかく厚田にまで来て、未来を担うべき子供を育てているのに、厚田に来なきゃ良かった、など思ってしまいます。快適に住めるようにしてください。
- ・冬期間は、特に吹雪による交通障害がひどい。住宅が不十分である。必要なものを購入できるところが少ない。市道の除雪が悪い（道幅が狭い）。夜間に利用できる飲食店がない。バスの本数が少なく不便である。
- ・町の方々が優しく色々教えてくれてとても助かってます。
- ・地域の方は、厚田に情熱を持っている方が多く親切な所がすみやすいと思います。あと除雪が札幌、石狩他に比べこまめにされ助かります。店や交通など人口減に伴って減っているのも、高齢の方は苦勞されているのではと思います。（住みにくい点）…国道を猛スピードで走る車が多く、ガードレールなどの安全対策がもっとされればと思います。町内会長が地域を毎日見守ってくださりありがたいです。
- ・冬はホワイトアウトになることがあり、用事があって花川方面へ行くのが大変なことがあるので。
- ・長年すんでいるから。
- ・公共交通機関、スーパーの不足。
- ・冬の交通に関するところ。日常の買い物（農協がなくなったこと）。うわさ話が多いところ。交通費がかさむ。
- ・何となく無気力感がただよう。
- ・野菜、魚等新鮮な食材が近くにあり、自然が沢山あり人情あふれる方が多く、安心して生活できる。

- ・夏は自然が豊かで気持ちにもゆとりができるくらいのんびりしているところが良いが、これから先年齢を重ねていくと冬のことを考えると、どうしようかと考え中です。
- ・とても不便（買い物、病院）。
- ・買い物に不便である。大きな病院が遠い。
- ・ほとんどの人が顔見知りである。
- ・まだ自然が残っている。
- ・公共交通機関がバスしかなく本数が少ない。買い物をするお店が少ない。
- ・自然に恵まれている。いなかが良い。
- ・自然に恵まれている。冬は厳しすぎる。除雪の仕方が悪い（生活道路等）。
- ・バス交通が不便で老人には、かわいそうな地域だと思います。
- ・生まれた場所で愛着があるため。
- ・どこをみても知り合いばかりなので安心です。
- ・交通、仕事がない。
- ・交通の便が悪い。
- ・札幌までの距離が遠く、公共交通機関も乏しいため。
- ・買い物、停電にすぐなる。口うるさい人が多い。
- ・子どもを保育園に入れるまでの間に子どもを連れて遊べる場所（公園など）がなく、遊び場を探すのが大変でした。車で遠くの公園まで行っていました（石狩市内）。
- ・ほしい品物を買いに行く店がない。
- ・友人、知人が大切にしてくれる。良くも悪くもウワサがすぐ広がる。
- ・陸の孤島。
- ・人だけでなく鳥も猫も虫も・・・いろいろな生き物も生きている。猫のことが不憫で、かわいそうに思う。農薬をまかない、不妊手術をする、地域ネコのようにみんなでかわいがるなど、猫にとってのしあわせがたくさんありますように。
- ・生鮮食品が買いやすいと良いと思います。
- ・自然環境、居住環境は申し分ないと思います。ただやはり買い物と交通の便はやはり厳しく、これら相殺して「どちらとも言えない」となりました。
- ・住みやすい…自然が豊か、落ち着いた環境 住みにくい…地域行事の担い手が少ない。
- ・ほど良く田舎暮らしができる。
- ・冬に吹雪で石狩まで買い物へ行くのが大変。コンビニは高いので、スーパーがあればうれしいです。
- ・店がない。町まで遠い。
- ・交通が悪い。
- ・友達がいない。
- ・自然がいい。
- ・買い物する場所がない。夜コンビニに行っても早くに閉まっている。ガソリン

- スタンドで給油したくても自由に立ち寄れない（事前に電話で確認しないと店にいない。灯油依頼も同じ）。常設の食事をする場所がない。又は限られている。来客時に一緒に食事をする場所がない。
- ・自然に恵まれ、昔からの住民たちの連帯感も強く、気持ちの温かい人が多い。交通の便他冬の厳しさを補う山海の恵みもある。
 - ・知人がたくさんいる。姉妹仲良くしてる。
 - ・災害がないから。
 - ・自然豊か。都心部にも近い。
 - ・吹雪の時、車で走りづらい。
 - ・水道料金が安い。高齢化、人口減少、働くところも少なく衰退している。医師不在。
 - ・住みにくいと思うこと…若い世代の働く場所がもう少しあってもいいと思う。
 - ・住みにくいと思うこと…台風や冬期間での大きい強風が吹くたびに家の屋根とか、壁がはがれてくるのではないかという不安と心配。
 - ・住みやすい。
 - ・長年住みなれていて生活環境がいいから。
 - ・自然が豊かで、食べ物もおいしい事。ただ、交通の便が悪く、買い物等に不便であり、年老いた時、いつまで住めるか不安である。
 - ・札幌からそれほど遠くないので、住みやすいと思う。
 - ・自然環境に恵まれ、近隣の方々が気にかけてくれる。
 - ・玄関あけたらすぐ外の世界は自然がいっぱい。海からは波の音、風は厳しくも清々しい。
 - ・人工物もなく人間の生きやすい空間がある。空は広くて気持ちがいい。土がいっぱいで恵みが多い。他に何が必要というのでしょうか。
 - ・子供のころから住んでいるから。
 - ・札幌に近い。海が見える。
 - ・人々の心がとても温かい。水産物や農産物など他の地域に自慢出来る産品があること。
 - ・海産物、農産物に恵まれている。
 - ・自然や食べ物に恵まれているところはいいところだと思う。（それを気軽に買える場所は朝市くらいしかないけど）厚田の人は温かいと言うけれど、そうでもないところもあると思う。私たちが若い頃の方が地域としての一体感があったと思う（望来や聚富はわかりませんが…）。
 - ・自然が！
 - ・米、魚（高値ではあるが）など新鮮。住んでいる人たちが温かい（田舎ならではの手助けがしたい）。
 - ・災害が少ない。ただし、運転ができなくなれば、病気になればと先を考えると不安ですが、今のところ住みやすい。
 - ・厚田内では、店がない～コンビニではだめ。狭いところではあるが、人の口がうるさい（うわさ等多い）。

- ・自然があり、住みやすい。一方で医療や福祉、公共交通で住みにくくなっているし、不安である。
- ・自然環境が良い所で、知り合いが多い事。
- ・高齢化、就労先の減少など地域生活も疲弊している様に思う。また学生通学も時間や予算もかかり、水道料金も年の3〜4倍と住みにくい！
- ・交通便が悪い。
- ・厚田にはあまりお店がありません。一番不便です。石狩市、札幌市に行って買ってくる状況です。
- ・交流がない、町内会での役員要請に対してまったく協力性がない。特に昔役場勤務の人（自分が良ければ他人は無関係と考えている）。
- ・全てにおいて利便性に欠ける。
- ・除雪の問題。交通手段が限られている。
- ・買い物の不便。交通機関。
- ・自然豊かで住みやすいです。でも交通の便が悪く困ることがある。
- ・知り合いが多いから。
- ・日常の買い物で不便を感じる。
- ・冬の吹雪。
- ・生まれ育ったところなので落ち着く。
- ・雪の多さ。
- ・自家用車がないと買い物や病院など通えなくなる。巡回バスなどを出してくれたら助かる！お客さんが来てもお食事処がない！
- ・札幌に近いので、お店や病院、銀行などはすぐ行けてしまうから便利だけど、地元が寂しくなっている気がする（特に商店が）。そうすると車があると良いが、車がないと不便（バスも少なくなっている）。
- ・車がないと通院は特に大変かと思う。冬場は除雪も細かく行ってくれるため（特に札幌や石狩の他に比べて）すごく住みやすい。
- ・人数が少なく、知り合いがたくさんいる。
- ・地域の絆も強く、慣れたらとても住みやすい場所ですが、冬場の気候や札幌からの距離を考えると、車がなくては住むのは厳しいと思う。
- ・昔からの友人、知人がいて、花川、札幌までそれ程時間がかからない（自分は車があるからか…）。
- ・初めは買い物をする上で住みにくさ（不便）を感じていましたが、週末まとめて買いに行く等リズムが出来ると特に不便に感じることもなくなりました。札幌から厚田に引っ越してきて特に感じているのは、住民の方がとても気さくで親切にしてくださるので、人対人の距離間が近く住みやすいということです。
- ・住みやすい→地域連帯感があり、誰とでも話しやすい雰囲気である。
- ・先のことを考えると住みにくい…今はまだ良いけど。自分が若い内は、多少の不便な所は（たとえば買い物や病院への通院等）全く苦ではないけれど歳と共に衰えてきた時に、この厚田に住んでいて不便な生活を続けられるか？と考

えたら…無理かな…。

- ・交通機関。
- ・山があり、川もあり、海もある。自然がいっぱいの中で生活ができ、ゆっくり人生を送ることができ、幸せを感じる！
- ・札幌に近いから。
- ・海に近いから。
- ・買い物、通学が不便。
- ・自然に囲まれた静かな環境が好きなので住みやすいと思っている。お盆時期、春秋の山菜採り時期に車が増えるのは仕方ないと思っているが、たまに暴走族が走っているのは、うるさくて住みにくいと思う。
- ・友達も多く、人間同士のあたたかさがある。山菜、魚などもあり住みやすい地区である。
- ・海、山大好き。漁師の方とても人柄が良い。友人知人が多く、楽しい住みやすい厚田です。
- ・自然環境に恵まれており、食べ物も豊富でおいしい。人と人とのつながりも多く楽しみながら生活ができる。もちつもたれつ（共助）の関係がいい。
- ・車があるか無いかで決まると思います。
- ・交通の便が悪い。
- ・地域の方々と交流が出来楽しいです。
- ・知り合いが多く、地域の連帯感がある。
- ・自然が多くていいと思いますが、バスの本数が少なく不便。
- ・住みやすい。自然を感じることができるから。
- ・自然に恵まれている。静か。落ち着きがある。
- ・交通手段がなく住みにくい。森などは住みやすい。農業が盛ん。
- ・近所のトラブルが少ない。
- ・交通機関がないので札幌に行くのが不便だから。
- ・自治会の連帯感がある。
- ・自然豊かで環境がいい。
- ・50年以上暮らした所だもの。
- ・自然環境が良いから。
- ・自然環境が良いから。
- ・どこに行くにも遠い。
- ・車がないと何も用を足せない。
- ・外の地域で住んだことが無いから。
- ・自然が多くストレスがない。近所づきあい、町内会のイベントがなく快適。星や夕日がきれいで空気や水が美味しい。薪ストーブをたいたりバーベキューをしたりカラオケをしてもまわりから文句を言われたい。漁港が近くにあり新鮮な魚が手に入る。農家さんから有機野菜を分けてもらえる。
- ・落ちつきと安らぎがある。
- ・①バス停まで遠く歩行困難。関節障害である。②高齢者収用所を早急に作って

ほしい。

- ・住みにくい。病院での検査が出来ない。交通の便が悪すぎる。地域の情報が無い。店での品が少ない。
- ・店も無くなり、又貯金の出し入れも厚田か望来まで行かなければ出来ない。今は自分で車で行き来できるが今後が心配です。
- ・海産物農産物が身近にあり食事等に便利さがある。
- ・今は車を運転出来るので買物、病院に行くにしても良いけれど…もし運転が出来なくなったらバスの便も少なく不安を感じる次第です。
- ・今のところ車で何処にでも行けるので不便は感じてないが、もし運転出来なくなった時の事を考えると不安になります。子どもの近くに行こうかと…。運転できなくなり、バス停までも遠く、病気をした時の事を思うと不安になります。
- ・住みなれているから。
- ・自分の家が一番安らげるので。
- ・交通手段（バス）の本数が足りない。
- ・何となく長く住んでいるから。
- ・買い物に不便で魅力的な仕事も少ない。冬は吹雪が怖いし、夏は墓参りや海の客で道路が混む。
- ・医療機関が選べない。冬期間、通えない。
- ・夏は住みやすいが冬は買い物、除雪、通院など日常の生活に不便を感じることもある。
- ・夏季は快適ですが、公共交通が不便であること、医療機関が不足していることもあり、冬季は何よりも悪天候と除雪作業が年齢とともに困難になっています。
- ・夏は涼しくアスパラ、ウニ、メロン等、たくさん美味しいものがあり、車があれば住みやすい。冬は雪かき悪天候等とても大変。
- ・今の自分にとっては、運転が苦ではないので、買い物などへ行くのも30分程の運転なら良いと思う。それよりも海が近かったり、田舎の環境が自分にとっては好きで、どちらかというなら住みやすい方を選んだ。ただ、今後歳をとったり、子供のことを考えると住みにくさも感じてくるように思う。また、今後厚田に学校を新しく作るのであれば、スーパーもできると良いと思う。
- ・買い物、病院に行くのが大変。小さい子供がいるので、急な発熱など花川や札幌まで出るのが大変。今後の子育てにも不安がある。子供の数が少ないので子供同士のコミュニケーション能力の発達や習い事もさせたいが周りに無いので出来ない。学校を厚田か八幡を選ぶようにしてほしい。
- ・長年住み慣れている。
- ・全ていい。
- ・慣れているから。
- ・知り合いが多いので楽しく過ごせる。
- ・ほどほど札幌に近くて自然が良い。
- ・とても住みにくい！

- ・公共交通機関が乏しい。
- ・昔から住んでいて近所などの知り合いがいるから。
- ・今はいいが今後のバスなどが少なくなると困ります。
- ・過疎化の為医療、買い物等が不便。仕事もなく自然環境が厳しい為、移住してくる人も少ない。
- ・住み慣れているので住みやすい。
- ・生まれ育った所なので。
- ・生まれ育った土地である。知り合いばかり。豊かな農・漁業資源。
- ・冬が大変。
- ・自然の多さ。家族がいる。仕事が家で出来る。道路が車で走りやすい。しかし、店の減少、病院がない、学校が遠い、など生活に必要な建物が近くにならない。若い人に魅力的なものがない。働き先があまりない。
- ・昔からいるから今の生活が普通と思っている。
- ・環境がいいから。海もあるし良い。
- ・気楽に暮らせる。
- ・自然が豊か。教育に力を入れている。
- ・自然が豊かでかつ、札幌に近く便利。
- ・買い物環境が…遠いです。ネットの整備ももう少し整っていたら住みやすいです。ホワイトアウトが怖い。
- ・静かな環境。冬の荒れる天候はどうすることもできないので諦めている。
- ・買い物、病院が遠くて、交通の便が悪い。
- ・意外と自然災害が少ないから。
- ・買い物、医療の施設。
- ・田舎だからよろしい(国道側に住んでいるので)。
- ・山菜やお魚がたくさんあるのと、野菜づくり等ができてとても生き甲斐があります。
- ・自然が豊かで、美味しいものが一杯あるところは、北海道内たくさんあると思うのですが、私が「住みやすい」「これからも住みたい」と思うポイントは「ご近所さんに恵まれている」ところです。めっちゃ良い人が多くて、いつも助けて頂いています。ずっと、ここに住めたらなあと思っています。
- ・職業柄、朝早く夜遅いときがあるため、買い物が不便。
- ・友達、知人がいる。
- ・私は「しがらみのない自然のまま」を求めて移住したので、その点では満足している。
- ・自然に恵まれている。
- ・長年住んでいるので慣れているため。老後には住みにくいと思う。
- ・住みやすいところですが、今は良いけれど(車に乗れるまで)今後、交通の便が良くないので心配です。
- ・生活面で不安ばかりです。近くに医者がいない。でかけるにもバス等の運行が少ない。銀行等がない。

- ・都会と違い好きなことができる。
- ・都会と違ってゆっくりした気持ちで生活できる。
- ・交通及び買い物が不便。
- ・買い物する場所がコンビニしかない。
- ・自然が豊かだから静かで空気が綺麗。
- ・車の運転ができるので花川、麻生で買い物、病院などの用が足せる。車の運転ができなくなれば、現在の交通機関では地域を離れることがあるかも知れない。
- ・交通の便が悪いため。バスの時間を増やして欲しいが、簡単に増便はできないと思うので、せめて石狩庁舎行きの誰でも乗れる乗り合いバスのようなものを作って欲しい。そうすると進学しても厚田を離れるということを少しは抑制できると思う。
- ・冬がとっても吹雪くから。
- ・住民同士の助け合いの精神があるので。
- ・吹雪がなければ住みやすい。
- ・地域住民の人柄や協力、自然は他にはないほど素晴らしい。ただ交通機関や買い物が不便。バスの本数をもう少し増やして運行できたり、スーパーなどがあるととても住みやすくなると思います。
- ・自然の豊かさと地域住人の暖かさ。
- ・自然環境が豊かで産品もあり活気を感じられる。地域のイベントも多く、過ごしやすさと楽しさを感じることができる。セイコーマート、JA、郵便局の存在もありがたい。交通と冬期の買い物にやや不便を感じる。
- ・知人がたくさんいます。望来生まれですから。
- ・静かで夜眠りやすいところ、交通（公共）が不便。
- ・早朝の草刈りの音。交通が不便。仕事が少ない。除雪が遅い。
- ・冬が大変、買い物をするところがない。
- ・デメリット…食料品や日用品の買い物に不便。スタンドの時間や、やっているのかやっていないのか分からず車の燃料が入れられない。セコマが1軒しかないので急な用事に不便。人口が少ないから何かと寄付金を集めるのは急な出費。寄付＝強制になっている？ メリット…雪が積もればすぐに除雪してくれる。道路や家の前を綺麗にしてくれる。
- ・自分たちの理想とする生活スタイルを実現できる。
- ・自分たちのしたいことをのびのびとできる環境。スーパーまで遠い。
- ・自然豊かである。ライフサポートがあって助かっている。魚が美味しい。山の幸も美味しい。できればこの地に暮らしたいと思っている。
- ・交通の便が悪すぎる上に交通費が高い。買い物をするための店が少なすぎる。
- ・住みにくい。中学生の子どもの（土、日曜日）の部活動の送迎は、各家庭で行うので大変です。同時期に高校生がいたら、公共のバスの便数が少ないので、こちら送迎の機会が多く、両方の送迎の時間的やりくりがとても大変で負担に感じます。親は送迎のために時間を割くのでフルタイムや（土、日曜日）

の仕事に就くのが難しいです。私の周りで送迎をしづらい状況の家庭の子は、部活などいろいろなことを諦めています。交通費も高校生二人分のバスの定期券（一ヶ月分）に6万円もかかっていたので、負担が大きく、とても大変でした。

- ・安心してゆったりと暮らせます。
- ・住みやすい。欲を言えばきりが無い。
- ・住みやすい点…自然に恵まれており、夕日や星空が美しく、人が少ない。
- ・住みにくい点…冬の交通障害や上下水道の不備。買い物難民に陥りやすい状況が続く。
- ・住みやすい点は自然が美しく、都会的な騒音が無くのんびり暮らせることです。住みにくい点は移ってきて18年経ちますが、上下水道について全く善処されていないので、大変お金がかかっていること、冬期間の除雪問題、いまは自分で車を運転して買い物も通院もできますが、将来できなくなったときの不安があります。
- ・のどかで自然に恵まれている。
- ・交通の便が悪い。
- ・今のところは住みやすいが、主人が元気でなくなったらとても住みづらくならないと思います。
- ・災害がない。自然が多い。
- ・慣れているため。何人か知人がいるため。
- ・買い物が不便。学校が遠い。公園がない。学童クラブがない。
- ・買い物は、自分で品物を見て買いたいと思う。今はできているが、これからできなくなると思う。これからは、除雪もできなくなるでしょう。
- ・聚富はとても良い所です。でもこれからの人はどうでしょう？学校もない所に子供、孫に住めとは言えません。
- ・利用するバス停、郵便局まで国道に歩道がなく、危険です。土曜・日曜・休日は郵便局が休みの為、他を利用するには車を使うしかない。
- ・夏は住みやすいが冬が大変。冬で国道に出るとき除雪の雪をおかれて出れなくなる事。
- ・長年住んでいるし、自然がある。
- ・冬は吹雪で家から出られない。飲食店がない。交通機関が少ない（夜間）。
- ・友達が近くにいます。
- ・街中に比べてわずらわしさが少ない。
- ・比較的最近では冬も以前より穏やかで過ごしやすい。
- ・交通の便。スーパー、コンビニまったく無い、無理。
- ・冬の除雪が大変。
- ・交通機関、買い物、医療の不便さ、高齢化、過疎化、特に良い所はありません。
- ・交通機関（吹雪の時にストップしてしまうこと）仕方ないのですが。
- ・自然が多く静かでほっとする。空気が良い。
- ・高齢化と共に医療機関が遠いこと、買い物が不便なこと（特に車の運転免許が

- ある時は良いが、乗れなくなったときの交通手段が少なく厳しい。
- ・やはり交通の便が悪い。この先が不安です。
 - ・近所が遠いので音など気を使わなくて良い。騒音や公害がない。海水浴場、スキー場が近い。
 - ・騒音が少ない。自然が多く、子育てするのも安心してできる。
 - ・人がいい。のんびりしてる。
 - ・交通の便が悪い。
 - ・広々としている。厚田区といえども浜益、厚田（広い）の人は遠く大変だと思います。聚富は石狩川河口で良い。聚富で良かったと思います。
 - ・近所の家との距離が適度にある。
 - ・今は自分で車の運転をして病院や買い物などに外出できるが、運転ができなくなると住みにくさを感じると思う。除雪の面でも自分でできなくなったら住めないと思う。
 - ・自分のいる所は農地なので、ネコをはなし飼いにできること。
 - ・厚田に生まれ育ち、長く住みなれた所に愛着があり、他町村と見比べても何がおとっているのか。それなりに生活が出来、不便さも欲になるときりがありません。昔よりは近所同士顔を合わせる事が少なくコミュニケーション等集う事等少ない。定年退職でまだまだ若い優秀な人々が活用する事を願います。
 - ・交通、買い物、病院などの不便さ。
 - ・自然環境に恵まれている。
 - ・自然が豊かで騒音も少ない(野鳥や獣、山菜も豊富。里山も隣接している)
 - ・冬に雪が多い点のみ住みにくい理由。その点以外は非常に住んでいて気持ちがいいところ。
 - ・車社会なので若い時はさほど不便を感じないが、高齢になるにつれ交通手段、買い物、通院等で生活が大変である。
 - ・交通の便が悪い。
 - ・冬期間、今は早朝から除雪が入り通勤できているが、聚富小中学校が廃校になり、また、生徒がいなくなったら今までのように早朝から除雪が入るのか。除雪の回数が減るのではないかと不安を感じる。
 - ・長年住んでいて親しみがあるので住みやすい。
 - ・交通バス停が遠く、免許返納の後が心配です。
 - ・車が無いと厳しいものがある。
 - ・今の所は住み良い。今後、自動車がなくなった時は不安である。
 - ・交通手段が少ない(バスの便数など)。
 - ・環境としては静かで落ち着いているし、ゴミの収集等きちんとされているのは良いのですが、意外と交通事故、事件があったり、車が無いと買物弱者になったり、救急車の到着に時間が掛かったり、冬の除排雪の頻度が少なかったり、これから高齢者になる事を考えると何か不慮な出来事が起きた時に困るかもと思います。実際、今高齢の親の定期通院の送迎をしています、病院まで時間が掛かるので苦労してます。

- ・ 住みやすい→静か、事故などが少ない。
- ・ 住みにくい→交通機関が少ない、不便、コンビニさえ遠い。
- ・ 札幌に近い（仕事、買物に便利）。
- ・ 住みやすいのは自然が豊かで街と比べると落ち着いている。
- ・ 住みにくいのは冬の厳しさと若者の減少、買物が不便。
- ・ 夏は住みやすいが、冬は雪が多く吹雪くと大変なのでどちらとも言えない。
- ・ 「住みやすい」…豊かな自然（河川工事をする前は家の前にリスが見られた）。電気、ガス、水道の整備（田舎暮らしで最低限の文化的な生活ができる※田舎暮らしを選択したということは、それなりの不便さがあるということを自覚しています）。「住みにくい」…冬の吹雪、豪雪等による通行止め。バス等の本数が少ない（石狩まではけっこう本数があるのだが、トーメン、厚田となると少なくて不便）。
- ・ 交通の便が少なく、通学通勤がとても不便だから。
- ・ 冬、雪が多く除雪が大変。
- ・ 生まれたときからいるので、地域的に過ごしやすいが買物などでやはり遠く感じます。
- ・ バス路線が少なく不便だから。
- ・ 自然環境に恵まれているため。
- ・ 自然環境がいい。
- ・ 買物や病院が不便。吹雪が多い。
- ・ 交通が不便。バスの本数が少ない（1日中）。車対応しかない。運転が出来なくなると高齢になってからが心配。
- ・ 病院、買物などに不便。
- ・ 冬期間、吹雪等交通障害。
- ・ 路線バスを花川までいいですから、1時間に1本でもあるとよいです。主人がいなければどこへも出かけられません。
- ・ 地域産業の大きな発展が望めない。人口減、活気が無い、近い将来限界集落になるかも？
- ・ 静かな、緑もあり買物もさほど遠くない。鮮魚も港で入手可能な点。
- ・ 路線バスが日曜厚田発 7:05 と 9:45 の間に 8:00 か 8:30 のバスがあると札幌に 10 時前に付けます。さらに日曜日の午後ターミナル発 11:05-15:30 まで無いことも。時間待ちが大変で中間にもう一本 14 時台に有ると便利だと思います（デパートの開店時間や公演会の開始時間も午前 10:00 の場合が多く午前中に用事が終わっても帰るバスが無く待つのが大変です）。
- ・ 買物、病院等は遠いが住環境が良い。
- ・ 元気な時は自然がいっぱいあって住みやすい。病気をした時の病院の通院の事を考えると不安。あまりにもバスの回数が少なすぎる。
- ・ とにかく交通の便が悪すぎる。通勤時間帯にバスがない。札幌の病院にいくとき利用しているバスも冬になると時間が遅くなって午前中の診療に間に合わない。冬こそ雪で遅れるから早くすべきなのに逆である。せめて市役所前まで

循環バスがあればいいと思う。高齢者に免許証を返納するようにという動きがあるが、厚田は免許返納したら生活していけない。住民の足であるバスをもう少し利用しやすくしていただきたい。

- ・とても良い地域だけど隣人がいやだ。問題ばかり起こす。それ以外はとても良い。
- ・冬の吹雪。近くにスーパー、病院がない。
- ・自然豊かで、落ち着いて住みやすい。都心まで遠かったり、吹雪や、バスが少なかったり、少し、寒くて不便。
- ・厚田に住んで30年になりますが、今だに隣人との事で苦勞しています。隣人のために町内を離れた人も多くいます。今年に入り又トラブルが始まりました。今年班長になって欲しいと言われましたが断りました。近所の人と話をするだけで警察を呼ぶのでなにも出来ません。雪なげするだけでも大変です。
- ・冬やばいから。
- ・雪が多いし地吹雪がひどい。買物、仕事も命がけ。バスも本数が少ないし、花川地区（生協）にも行けない。車運転出来なくなれば生活するのは無理。近所にとってもやっかいな人がいる。
- ・住みやすい理由としては環境がいい所。住みにくい理由としては石狩市、札幌市へのアクセスが悪い。それに伴う病院等への通院、買物等、生活活動が車を所有していなければ非常に不便。又、冬期間の吹雪対策不足等が課題。
- ・空気がいい、のどか。
- ・自分でまだ運転できるから良いが、バスの時間数が少ないため、買物等不便だと思う。
- ・スーパー、コンビニがない。交通機関が少なすぎる。金融機関がない。虹が原の団地内の除雪（排雪）がほとんどされていない。テキトーに除雪（排雪）されている感じがある。
- ・交通が不便（土日のバスの少なさとか）。
- ・交通不便（買物等）。
- ・静かで自然があるところ。
- ・近くに食料品スーパーの買物出来る所が無い。高齢者にとって不便な所。
- ・知人が多く、近所も良い人だから。
- ・車を運転できるのでまだ買物や職場への移動ができたりするが、もし車が運転できなくなるとバスの便や買物に不便を感じる。子供が高校に通うにもバスの便が少なく、土日はバスの便も少ないし、帰りのバスがタイミングよくなくて大変困ります。
- ・ご近所さんなど知り合いも多く、安心して暮らすことができる。除雪など整備がきちんとしていて、学校に行きやすいです。
- ・高齢者医療、障害者など対策がなっていない。
- ・農家なので、米、野菜を自分で作れるし、魚は野菜と物々交換でいただけるし、たまに豚肉ももらえる。おいしいもの天国だと思う。それでいて都会にも近い。
- ・公共交通機関や商店が少ないため。

- ・交通の便が悪い。近く医療施設がない。スーパーがない。子どもを長時間預かってくれる所がない。
- ・住みやすい…住宅が安い。静かな環境。
- ・住みにくい…仕事が無い。町まで遠い。子どもが少ない。
- ・春～秋にかけては自然環境も良く静かで住みやすい。冬の厳しさは年齢を増すごとに辛いものがある。
- ・除雪問題と通勤、自家用車が無ければ生活できない。バスの本数が減少している。
- ・住みやすい…静かな環境。自然が身近。海が近い。
- ・住みにくい…病院が遠い。買物も遠い。車が無ければ住むのはムリかなあ～
- ・春～秋にかけては自然が豊かで良いと思いますが、冬は雪のため買物、金融機関、病院等出かけるのがおっくうになります。
- ・となり近所との交流があり、安心できる。
- ・仕事場が遠い、冬が大変過ぎる。
- ・昼夜とも静かで過ごしやすい。
- ・公共交通機関が少ないので、でかける時に不便を感じるから少し住みにくい。
自然が沢山あるので、四季の移ろいが見えて住んでいて楽しい。
- ・自然がたくさんあって、昆虫採集などは良いが、公共交通機関が少なく、JRがないのに中央バスの本数も少ないので、高校生の子供の通学や、運転免許のない大人の利用がとても不便である。商業施設も、厚田の商店街ではなくスーパーに買物に行くのに片道車だと20分、バスだと乗換えをしないとたどり着けないから大変である。病院が近くにない。銀行が無い。
- ・不便！！車の運転ができない者にとっては、買物、通院、金融機関（ATMだけでなく納税やその他の支払い等々。支払い出来るコンビニさえも近くにない）。郵便局が歩きでは遠い為、送金、送付する物等がある時は行けない等、（小包は集荷して頂けるのでOK）バスの本数がないので大変不便。行きのバスがあっても帰りのバスが何時間もない等大きな問題。高齢者が暮らせる所ではない！！冬期間は特にバスの本数が減り、時刻も遅くなり病院の最終受付にも間に合わない（9時40分では…）。（夏時刻は9時15分があり、間に合う）7時半のバスを利用しないと間に合わない（8時台や9時でも早めの時間がない為）。バスの本数が少なすぎ！！
- ・静か、家が密集しすぎてない。
- ・冬期間が住みにくい。特に車での移動。除雪。
- ・自然があり、住については問題なし。しかし銀行（ATM）、スーパーがないと不便（郵便局の土曜営業望む）。
- ・静かで落ち着ける。家の敷地で野菜を作れる。
- ・自然が豊かで静かに暮らせるところ。冬が厳しい。
- ・札幌の通勤圏だが不動産が安い。やはり冬の雪と強風が住みにくい要素。
- ・自然豊かで空気がきれい。近くにスーパーがなく、買物が不便。雪が多いこと。
- ・札幌市内の住宅街のようにごちゃごちゃしていない。駐車場の不便がない。車

が使用できれば住みやすいと思います。

- 環境がとても住みやすいが、雪の排雪などの問題、交通の便の悪い所はとても困りますね。車を所有していないと、住めないという感じは大きいです。
- よそ者への差別がひどすぎる。役所が率先してやっている。
- 公共交通機関が極端に悪い。ホワイトアウト？による道路通行止め。
- 日常的買物、病院へ行く、娯楽等、自家用車がメインですが、年を取るにつれ運転のことが心配である。景色もいいのに、観光＋スキー等、冬のメインになる遊ぶものがない。又、小さくても温泉がない。人を引きつけるようなものがないと思います。景色（夕日の海等）がきれいなことなど生かしながら1日ゆっくりできる工夫のもの、単独ではありますが、総合的に誰が行っても、又行きたいと思う場所があればいいと思います。
- 住みやすい…住宅が密集していない。住みにくい…日常生活が不便、近くに何も無い。

3. 厚田区への想い、意見（自由回答）

（★最後に厚田区への想い、ご意見がありましたらお書きください。）

- 高齢化が進む現状を飛躍的に改善することは難しいですが、厚田に興味を持ち、移住を志す若者を増やすための取り組みが活発化することが、地域の「生き残る」方法のひとつではないかと思います。
- 若い子育て世代の人が移住してきて子育て、教育の環境が良くなったらできるだけ長く住みたい。
- 若い人が少ないので、交通の便を良くして、厚田に移住を考えている人たちに補助金など与えるなどして、外から若い人を集めていかないと働き手などいなくなり、廃れていくだけだと思うので、何か制度を設けて農業や漁業などのPRをして人をもう少し集めて欲しいと思います。
- 人口減少・高齢化は、多くの自治体が抱える問題です。私たち夫婦は18年前、札幌から厚田へ移って参りましたが、その頃、都会から環境の良い、しかも札幌から1時間程度の距離であるという安心感のある土地を目指して、移住したり別荘を建てる人が多くいました。そういう動きに対して自治体はどんな気持ちで受け入れてきたのか分かりませんが、あまり歓迎された記憶がありません。（現在は親切にして頂いております）現在、石狩への移住に手厚くしていこうというムードが感じられます。もう残された人口から増加は考えられません。移り住むメリットを提供し、ルールを作り厚田がもっと商業を活性化させて、新しい風を取り入れて欲しいと思います。道の駅ができて立ち寄る人が多くなるのは好機です。厚田の魅力を最大限発揮してください。
- 若い人たちが少なく、これからどんどん子供達も減っていくと考えられるので、他の地域からの移住者が増えるような子育てしやすい地域づくりをして欲しいと思います。
- 厚田区全体を視野に入れた過疎対策として移住の促進を官民一体で実行出来るとまだまだ可能性が広がると思われます。
- 移住を本気で進めることが大事だと思う。
- 厚田には若い人が住みたいと思う要素がたくさんあると思います。大自然、海、景色がいい、魚がおいしい。そして都会に近い。ギリギリ札幌に通勤できます。子育て世代に空き家を安く貸すなど、現役世代の移住促進をもっとがんばると良いと思います。
- アンケートは良いが、具体的な取り組み方針なり、取り組み事項を示し住民の参加を進めていくことを望みます。アンケートの取りまとめで終わらせないでください。
- こんな内容の意識調査をしなくても現状は分かっているはずではないか。今後何をすべきか自ずから分かると思われるが。この前は商工会のアンケート、いつも似たような内容であり、こんなものでは必要ないと思う。

- アンケートの目的が不明に感じられます。厚田の過疎対策へのデータ集めでしょうか？消極な守りの対策を住民の意向と確定するものに利用しないで下さい。積極的な移住促進を行い、地域の持続的な発展を行っている町村の例があります。厚田は大都市札幌に近く、自然が豊かで農水産物も旨い恵まれた所です。皆様の活躍を望みます。
- 病院に外科の先生を置いてほしい。
- 人口問題―人口を増やすためには福祉の手当てをもう少し援助を積極的にしてほしい。
- ライフサポートの会の活動に関心があります。
- スーパーや病院を増やしてほしい。
- スーパーとか買い物（特に薬局とか）すぐそばにあればいいなと思う。
- 店がない。
- 厚田区にはセイコーマート以外の店はない地域で、店が出せる様な厚田区にしてほしい。
- 今後、子供の小学校が厚田になると思うので小さなスーパーがあると助かる。できる事は協力したい。宜しくお願いします。
- 買い物できる場所が厚田内にできたら…ネット環境を気軽に整えられることができたら…もっと若い世代は住みやすくなると思ってます。
- 地元厚田は好きですが、いろいろと不便なことが多いです。小さくても良いのでスーパー的なお店があると良いです。
- スーパーコンビニまったくない。無理。
- スーパーやコンビニなどの生活の便利がないです、トーメン団地は。
- セイコーマート以外のコンビニ（ローソン・セブンイレブン）やイオンなどの大きなスーパーや専門店が、近くに出来ることを願います。
- いつの日か大型スーパーが出来ること！
- 風の強い地域だから停電しないよう、電線を強化するなど。
- 北海道銀行のＡＴＭもあったらうれしい。
- 災害時における津波対策、河川洪水対策等早急な工事対策が必要。自分の生まれ育った厚田以前のような地域住民一人一人がなににもなくても笑顔で安心して住める地域になるようお願いします。
- 道の駅ができるのに国道がガタガタでひどすぎる。
- 道路の矢印（？）が無いところに付けて頂けると嬉しいです。灯りが消えてしまっているところもあるので。
- 乱立する別荘の管理状態が悪く、景観を損ねるほか不法投棄や治安の面でも心配、不安になります。
- 施設のトイレをもっと使いやすくしてほしい。足の悪い人や高齢者には和式では困ります。
- 吹雪対策。
- 温泉を作ってほしい。沖に釣りの出来る島を作ってほしい。
- 土地があるのに良い公園がないのが残念。景色を生かした公園がもっとあれ

ばいい。

- 自然環境が素晴らしく、それといつも触れ合えることに喜びを感じています。
- こちらに引っ越してきてもうすぐ 1 年です。交通や買物への不便さはありますが、自然豊かな環境を気に入っています。子供にとっても、たくさん自然があり、とてもよい環境だと思います。子どもの数が少ないのが残念です。山村留学制度を取り入れてはどうかと思います。聚富小中学校はロケーションも、学校の雰囲気もよく、なくなってしまうのが非常に残念です。
- 団地、道路の整備（雨が降るとところどころ池になる）。街灯が少ない（月が出てないと真っ暗）。
- 子供をのびのび育てるには非常に良い環境なのに、住む家に困ったり、光熱費が高いと魅力が激減してしまいます。困って市の職員に相談しても対応してもらえず、非常に腹立たしい。
- 若い人は何もなく楽しくないかも知れないけど、札幌まで 1 時間、ただし車が必要だけど、冬は吹雪で大変だけど住むことを前提に考えたら人間にやさしい町は最高だと思います。ただ、もう少し役所の人の顔が見えるといいでしょうね。何かあったとき、役所の人に H E L P ができません。
- 現役で働いている中で、地域やボランティア活動への参加は難しく、今後家族の介護等も増える中、地域で支えあうことは、支える人が少なすぎて不可能だと考えます。公的なサービスを利用することが現実的だと思います。
- 税金が高い。高齢者、障害者を対象か？
- 地域住人がお互いに、といっても人口も減少し、地域で活動してくださっている役員の方がお元気な内は良いけれど、今後のことを考えると、行政が主導で進めていってもらわないところもあるのでは？と感じています。各地域に市職員が居住する等があると、災害の時も安心だと思います。
- 行政に携わる職員（地方公務員）の質の向上を図れ。現在の石狩市の職員はあまりにも劣悪である。
- 設問について全体的に自主的に動けと促しているように思う。市が動いて市民に促すつもりがあるのだろうか？
- 出来ることなら市の職員等は、地元に住み、生活できると良い。住民の話より自分の目で見て耳で聞くことが大切。
- 移住を促進するのも良いが、人口を増やす取り組みが必要。
- 人を増やすには交通や商いが必要。交通や商いを増やすには人が必要。これを市が将来に投資できるかどうかだと思います。
- 旧厚田村の時に設置してくれた防災無線がとても役に立ってます。最近調子が悪いのですが、メンテナンスはどうなっているのでしょうか？旧厚田村の時のような住民に対するきめ細かいサービスを期待しています。
- 市役所があまりに公務員的すぎる。この様なアンケートを取って誰が活用するのでしょうか。所詮役所が「やりました」と形だけの事でしょう。石狩市では心が伝わりません。
- 自家用車でなくても移動しやすくなってほしい。通勤、通学、通院手段として

- のバスを充実させてほしい。
- バス路線の維持と医療機関の維持は最低限必要だと思う。
 - たまに使う路線バス（中央バス）等は利用者が少なく申し訳なく思うことがあります。もう少し小さい、例えばスクールバスのようなものはダメなのでしょうか？
 - バスの便を増やしてほしい。
 - 交通手段（バスなど）をどうにかしてほしい。
 - 生まれ育った地なので好きな場所なのですが、これからの教育に不安がある。中央バスもかなり減っていますし子供も減っています。
 - 一人暮らしの老人が多いが、外出先が少ないので元気に出かけるところがあれば良いと思います。来年できる道の駅が楽しみです、交通の便が心配です。
 - 交通の便については仕方がないことかも知れませんが、バスの本数が少ないことや時間が限られていること（最終バスの時間）、料金が高いことが利用しにくさに繋がっています。高校進学で交通の便が悪いことによって移住を余儀なくされてしまうのは少しもったいないというような印象があります。厚田から札幌方面へ気軽に出て行き、安心して厚田に帰ってこれる環境づくりをお願いしたいです。厚田に住んでいるから「高校で部活ができない」「友達と気軽に遊びに行けない」ということは悲しいです。簡単に車を出してもらえる環境がある人はそう多くないと感じます。厚田に住んでいて良かったと感じられる地域づくりをお願いいたします。
 - 交通機関の充実。
 - せっかく厚田地域に道の駅が出来ても、近くの住民や車に乗れる人が買物に行けても、少し離れた所に住み車のない人は行くことも出来ない、交通手段を少し考えて欲しい。医療機関がなく花川や札幌に出る為の交通の便が悪いので年寄りには厳しい町と思います。
 - 交通安全に関する「交通不便」。
 - 公共交通（バス）が徐々に減ってきている。仕方がない。
 - 一番気になるのは高齢化で、車に乗りたくなくても、車に乗らないと生活できない状況。自分たちも年をとったら、住めなくなるかと思って考えてしまいます。
 - 免許証の返納が間近かなという年齢になってきました。病院通いの足として公共交通機関がなっていない。時間といい本数といい全く利用勝手が悪い。一体何を考えているのか。前回のアンケートでも書いたが一向に進展が見られない。アンケートの結果等は広報にでもいいから発表してもらいたい。何の役にも立っていない。議員の発表会等はいらない。むしろ後期高齢者の事を考えるべきではないでしょうか。解決しないと免許の返納は考えにくい。
 - バスをください。せめて料金だけでも安く…（切実に）。
 - 自然が豊かで、天体観測（子供が学校で習ってきた星座など）、昆虫採集には最適な場所。家庭菜園をやる人は良い環境だと思う。でも商業施設（スーパー）、病院、銀行が車で 5～10 分以内になく、長い橋を渡って花川まで出なければ

ならないのが不便。車が運転できるうちは良いけれど、できなくなったら不安になる。

- 孤独死を無くすように隣近所が目配り出来るような人間関係を築いていける事が大事だと思います。
- 高齢者の健康づくりのための活動を継続してほしい。
- 老人が多い割に老人クラブに入会する人が全くいない。広報等でPRしてほしい！！
- シルバー人材センターなくみが、もっと拡大して、気軽に働けるしくみはどうだろうと考えたことはあります。
- 私も80歳に近い年齢に近づいている一人です。今現在どうにか運転できていますけれども、それも先のない話です。ただ、健康に関して言えることは、年間通して転倒予防教室というのに参加しています。とにかく楽しい雰囲気です。ある人の話では、ここへ来るとみんな笑顔だった!! 本当にそうなんです。私もこの教室に永く参加できることを願っています!!
- 地域の人や近所の人との付き合いは良いのですが、高齢者になっているので、これから車の運転ができなくなった時がとても心配です。
- 保健センターには運動器具が設置され、いつでも利用できますが、望来地区にはありません。みなくるの使用予定が入っていないときは解放して(利用料金は一回〇〇円と決め)、いつでも誰にでも運動器具を利用させてくださると嬉しいです。高齢者の温泉は、人数が減ってきているのでバスの余裕があるのであれば月二回でもいいのでは？バス賃が高額。石狩や札幌までの負担が多すぎます。
- 厚田の魅力発信の必要性から目的価値があると良いですね。例えば温泉などの浴施設、高齢者の買い物をサポートする専用バスの設置など、安心して暮らしができるライフラインになると良いと思います。
- 女性部からの流れで趣味兼ボケ防止にと思い、「踊り」をしています。幸い先生も地元におられまして、敬老会とか祭りとかにお声を掛けて頂き、恥ずかしながら発表の場があります。でも、会館代は区の方をお願いという訳にはなりませんでしょうか。老人の楽しみにもなっています。
- 子供向けのイベントを増やしてほしい（小学生以下）。
- 私たちが幼い頃は、犯罪なども少なかったもので、朝から暗くなる頃まで自転車でいろんな所に遊びに行ったりしていました。だから厚田の中の事も詳しく、お年寄りが困っていたらどうするとか、日常の中で学ぶことができました。でも今の子供たちは、まず放課後に行くところすらなかったり…時代の流れにもよるので仕方ないところもあるとは思いますが…。
- 学校も新しく出来た時にどういった体制になっていくのか気になっている。
- 小学校統合にあたり他の学校に転校する子供たちがいるので、新しい学校には大きな学校に負けないような学習をしてほしい。区の行事に子供たちの参加をお願いして活気を取り戻して欲しい。
- 子どもが安心して遊べる公園（みなくる内にあると良い）。

- 人口の減少で保育所、学校、お店等は次々と閉まっていき、とても寂しくいろいろと不便になっています。我が家の子ども達 3 人（大学生 2、中学生 1）は、将来厚田に住みたいと行っています。
- 市は地域インフラをどう捉えているのだろうか？水、電気、交通と並んで、就学年齢の子供が地元で通える学校が無くなるのは、子育て家庭はその地域に住まなくなるだろう！高校進学を期に、地域を離れる事例が市内でも郡部に見られる！子供の健全育成活動とは、地元にはいない子供を求めて他地区へ出かけて行かうか？他地域の子供を招いて行かうか？
- 子供が住みやすい環境作り。どんどん子どもが減っていくので、もっともって子育てのしやすい厚田区になってくれたら助かると思う。
- 保育所や学童保育の充実が必要かと思います。
- 古潭小学校の再利用、働き口を作る（海産物の加工など）。
- 安定した仕事と子育てをしやすい環境の 2 点が整うかどうか次第です。
- 工場などを誘致し、働く場所を作った方がよい。
- 新しく厚田に小中学校が出来ますが、児童の人数がとても少なく思います。厚田が住みやすく子育てしやすい場にならないと人は厚田に来ないと思います。厚田で働く所を増やし厚田に家庭が増え、将来的にも安定して住める所にしたいと思う。立派な建物、子ども達の為であるもの、そこが活かされる為にも一日も早く厚田で仕事出来る環境作りをして下さい。結果、もったいないと言われたいようにしてほしい。
- 厚田区（もしくは通勤圏内）に若い人々の働く場所の充実が必要かと思います。
- 厚田で仕事をして、暮らしています。市営団地の家賃が高すぎます。暮らして行けません。
- 少子高齢化に対応し、働き手が厚田に移住しやすい環境づくりを進めてほしい。子育て世代が増えることが大事だと思います。希望者が教員住宅や古い家屋などに入りやすくしてほしい。
- 望来団地を新しくして欲しい。厚田は新たに東団地があるのに望来は建て直してくれないのか。夏は家の中にわらじや蜘蛛が当たり前。風呂はぼろぼろ。
- 望来団地を新たにリフォーム or 建てて欲しい。床はゆがみ、壁は湿気でぼろぼろ。トイレはゆがみ、戸が締まらない。住む人がいないから作らない (!!) じゃなく、住むところがないから住めない (!) のでは…以前、団地に住みたいのか見に来た人がいましたが、ぼろぼろ過ぎて「ここ住めるんですか？」と聞いて帰って行きました。
- 一人でも暮らせる住まいを増やして欲しい。
- 道の駅ができたとしても、それにかかわる人と、地域の人たちとの温度差、どんどん高齢化が進み、空き家が多くなり淋しくなる厚田の街並み。厚田は本当にどうなって行くのでしょうか。
- これからの事を考えると…不安な事が沢山あるような…。
- いずれにしても、限界集落になって欲しくないですね。でもそうなる行くのかな？

- 介護サポートが十分にされるか心配。自分の就労が困難になるようでは困るなあ…と。
- 25年前はもう少し開けるかと思いここを永住地と思ったが、残念ながらどんどんさびれる一方でこんな不便な所で老いて暮らして行くことは私たちには無理でしょう。
- 除雪が雑すぎる。もう少し幅広くしてほしい（横押しするとか）。
- （公的）除雪も知り合いの所は除雪していくしー。とても変だと思います。厚田は長く居るところではないと思います！！
- 冬は除雪が大変。
- 今シーズンの除雪がとても雑です。昨シーズンはとても綺麗だったのに…とても残念です。
- 冬・雪かき、除雪の充実。
- 今後子供達が大人になるのにもっと子供達の事を一番に考える地域にしてほしい。今の年配の人や子供達がいらない人でももっと今後の厚田を考えている人はいないと思う。道の駅が出来る事よりも今後の10年を誰か考えている人はいないと思う。今が良ければの考えはダメだと思う。厚田に住みたいと思う人はいない。みんな出ていくのが現実。口では簡単に言える。悪いのは大人だから、子供達が少ない現実、もっとしっかりしてほしい。年寄りも大事、子供達も大事、良い話しててもダメだと思う。こんなアンケート何の役にたつ？厚田の事を良い町だと、住みたい町だって誰が言う？言った所で厚田に住んでない役所の人間には所詮関係ない話し。石狩になったからとか、めんどくさいならやめればいいのかに地域って言ったってキレイ事。まず厚田の事考えよう。10年20年子供達の事を考えよう。こんな事書いても意味ないと思うけど悪くしたのは大人だ。
- 自然環境がいいのに地域がわるいこと。活動に参加しない私ですけど、働いているうちはなににもできないけど、もともと地域が身近に考えることができなかったでしょうね。よくなっていきましょう。願います。
- 除雪のライフサポートは多人数で効率が悪い。
- 厚田区（浜益区）は本当に石狩市の地域に入っているのでしょうか。ただの一部としての見方しかないのでは。支所一つにしてもなんの権限もなく、職員にして地域の事を何も知らない人間ばかり。地域協議会など何の権限もない集まりでメンバーも何処で決めているのか知らない人間のほうが多いのではないのでしょうか。これからは地域住民がもっと行政の事がわかりやすくする透明性が必要だと思います。
- 環境が良かった。
- 少子高齢化はどこも同じ。余計な費用をかけて焼け石に水なことをするのはなく、自己管理で自分の生活を営んでいけばいい。
- 夫が死亡。娘が先に調べに行って妻の私が名義を直した。その後、開発の人も来た。村の係の人怒鳴りつけて来て「そんな大金どうするんだ。半分入金ならないなら」とわめいた（？）車庫と加工場と立ち退きが決まっていた。夫に金

額が決まったからいろいろなことがあります。家で設備ちゃんとして立て直すからと話して次の朝危篤で死亡しました。私は病院から帰ってきた。

- 住み慣れた厚田で老後を迎えたい。
- 隣人の〇〇さんが住んでなければとても良い。毎日毎日、音、人をずっと見て、ニラムなどなど。警察に相談したことも3回ある。あとは、お店がもう少し多かったらいい。30-50歳位までの方が楽しめる行事があればいい。安心して住める所です。
- 住みにくい。ここにきて失敗しました。
- 人と人との交流の場を作ってほしい。
- 道の駅、小中統合と新たな厚田が始まろうとしていて、関係される方々は準備に向けて大変なこともあるかと思いますが、厚田の活性化へとつなげていけるよう、皆さんとがんばっていただければと思います。
- 新しく学校も小中合同になるので、若い世代も安心して暮らせる場になるよう、広い世代の声を取り入れながら進めて言ってほしいと思います。
- 住んでいる住民はもちろんですが、他の色々なアイデアをもらいながら、”近接遠来”の実現を！！
- 一人一人が厚田のすばらしさ、良い所を認識し、自慢出来る町づくりにしていけると良いと思います。そのためには何が必要か若い人の意見を聞ける場を多く設け、長い目で見た取り組みが必要ではないでしょうか。
- 厚田地区の商店街の活性化。
- 何度も書きますが、何よりも厚田は「人々の心が温かいこと」それに尽きます。暮らしていく上では本当にありがたいことですし、未来を担う若者たちにもその温かさを守り育てていけるようにしたいといつも思っています。今の子供たち～高校生・大学生がこのふるさと厚田に誇りをもち、近い将来も遠い未来も（帰ってきて）ここに住んで働ける、家族と暮らすことが出来るような環境を教育はもちろん、知恵を出し合い協働体制を築いて創っていけるようにし、守り発展させていけたらと思います。
- 学校の先生にはできれば厚田に住んでもらいたいです。若い、若くないは別にして活気が違ってくるのではないかと思います。最後に、もっともっと外へPRできるようなことをしたら良いのではないのでしょうか？高齢化が進むのをどうにかするのは子供たちを増やす！それには若い世代に魅力を感じさせるような住居・施設・自治会（子ども会など）・・・単発ではなく長期的な取り組みを考えたらいいと思います。がんばってください。
- 高齢になり、病気になり、一人暮らしも無理なので、厚田を離れ住んでいた住宅も解体が現状。若い人達が戻ってきて働く仕事先もなし（農業・漁業は後継者がいるが）。若い人が働ける所を、産業を、工場を作らなくてはいけない。今居る私達が何から何をやっていったら良いのかわからない！厚田に住んでいる70代・80代の人達は昔自分達が働き盛りの頃、今の厚田の姿を、町の将来をどの様に考えておられたのか聞いてみたいです。魚の加工の工場（組合員全員出資）があればよかったですね。

- 夏はとても良い所ではないかと思いますが、冬は街に行くことが出来ないし、お店もコンビニ 1 軒だけだし、早く閉店するし厚田には魅力を感じません。厚田出身の人は、古くからいる人は仲良しですが、外部から入ると溶け込みにくいです。
- 厚田には道の駅も出来、統合校舎が建つ話もあり、将来楽しみでもある。一方、将来医療や福祉が充実していくなら、厚田に住み続けたいと思っている。
- 引っ越してくるまでは海を見に遊びに来る程度でした。海をながめると落ち着き安心できるので。引っ越してきて毎日のように海を見ていますが、厚田の海への気持ちは変わらず、それ以上に海産物の美味しさを知り、もっともっと好きになりました。住民の方の温かさを感じ、厚田は本当に素晴らしい場所だと思います。厚田の環境にも住民の方にも心から感謝しています。ありがとうございます。
- 石炭が採れるから街が出来て、採れなくなると人が去って街が無くなる。厚田はニシンが捕れて人が集まった。ニシンが捕れなくなって人が去って街が無くなる事も自然だと思うが、自分が生まれて育った所が無くなるのは悲しい。子供を産んで育てやすい環境をつくって頂きたい。海も山も別荘だらけ、元々厚田に住んでいる人は、厚田の自然のすばらしさが分からないと思う。インターネットの時代、自宅で仕事出来る人達の定住化も図れるのではないかなと思う。
- 将来の姿を描くための大切な調査であると認識し回答させていただきました。多くの方が真剣にお互い助け合う仕組みを早い段階より整備することを望みます。また、若い世代が住んでみたくなる様な街、地域として認めて頂ける、魅力ある地域づくりを進めてほしい。
- 行政と各地域の懇談会。
- できれば、長く死ぬまで住みたいです。普通に生活できるのが一番です。心が豊かに、皆が笑って暮らせる地域で・・・以上です。
- 厚田区以外の人でも厚田が好きな人は多い。住宅を整備すれば引っ越してくる人はいっぱいいると思う。厚田は歴史もあり、自然豊かで何もしなくていいと思う。看板等の人工物をつくるのはやめて純粋な自然を大事にする活動（ゴミ拾い、山の整備、一次産業への理解を深め保全型の取り組みを進めるなど）に力を入れて欲しい。
- 限界集落にならない方策を区民がもっと協議する場を作ってほしい！！
- 生まれ育った地域が高齢化過疎化で寂れていくのを見るのは辛い。日本全体の問題だと思うが少しでも早く具体的な解決法が必要。
- 人口減少、高齢化、いつか厚田がなくなってしまうのではと思い至るがなるべく孫の代まで先延ばしにできるように今どこで誰が何を出来るか考え自分にできることが何かないかなあと思っています。厚田が好きなので人も歴史も自然も。
- 住み始めまだ1年も経っていませんが、近所の方が優しく、すてきななあと思います。除雪もしてくださいます。

- 町内会について、町内会が小さくて住民参加の活動が少ないと思います。例えば、もっと大きな町内会にしているいろいろなことができる場を確保して(一つで良いから)何らかの活動と住民が参加できれば良いと思います。厚田区の町内会は「自治体の推進員制度・農協の農事組合等に」もとがあり、自主的活動に取り組める規模になっていないと思います。
- 風土・習慣について、生まれてから住んでいる人は○○ちゃんと名前と呼ばれます。移住の人は○○さんと名字と呼ばれます。「旅の人」という言葉もあります。移住者にとってはしがらみや壁を感じることもあります。この地で生まれ育った人が中心となって周りを巻き込んでいくような地域になればと思います。
- いままで行政でやっていたものが(行事など)地域におろしてやっている部分が多くなってきている。受け皿の地域では、同じ人がいろいろな役を持っている状況で、いつも同じ人が会議と仕事にあたっているので高齢になっても辞められないでいる。各組織の高齢化により、後継者がいないので考えて欲しい。
- 小さな頃から過ごしてきた母校や遊び場が無くなってしまうことは私たちの世代にとってとても悲しいことです。母校があることで大人になってまた懐かしい場所に戻ってこようというきっかけにもなるはずです。
- できることはどんどんする。できないことはきっぱり辞めて対策を考える(10年前といまとでは違う)厚田区の実情にあった無理のない自治活動の推進。買い物、交通などは更なる行政の関与。
- 他の地域にはない良さがたくさんある地域だと思うので一住民としてそうした良さを広げ続けていけるよう頑張りたい。
- いつまでも安心して暮らせる厚田であってほしいです。子どもから高齢者まで笑顔のあふれる厚田であって欲しい。
- 聚富小中学校の廃校はとても残念です。聚富住民のほとんどの人がそう思っています。まずは、廃校ありきの役所！1～3人のリーダー(役所より)の意見！信頼できるリーダーがいないとだめだと思います。(いつの間にかリーダーが決まってしまって…)末端の人は何も言えないのです。諦めるしかないのです。
- 厚田区としては、いろいろ交流の場を作ってもらってる気がしますし、少ない人数の中で、いろんなイベントがあるのはうれしいです。
- 仲良く地域の人と暮らしていきたい。
- ルーラン海岸が見られないのが残念。国道からルーラン海岸と夕日がみえた時の感動を忘れられない。復活を願う。ルーランの美しさ、全国、世界へ発信してほしい。厚田区を愛するみなさんの想いがさまざまな形となって、地域、住民の活性化につながりますように。
- 自然豊かな郷土と安全で安心の出来る地域社会の構築に官民が共に協力と誇りを持って次世代の子や孫に移行できるコミュニティを模索すべきと思います。
- 昔はどの川を見ても底まできれいに見ることができた(現状は環境破壊か)区内の各地域毎にモラル、考え方が違いなかなか打ち解けあうのが難しいのが

実感。近隣の人や地域のつながり等、人間関係が良くなり、人情深い厚田区になってもらいたい。中途半端な都会かぶれの町内を見ていると、寂しさを感じる。昔は良かった！！

- 厚田に昔から住んでいる人への配慮なのか、厚田区と言う表現は好きではない。同じ石狩市民であれば、厚田、浜益など部落差別につながるのでは？函館のように〇〇区などの表記を改めて（無くして）石狩市民としての一体感を持てればいいのではないか。
- 厚田区にこだわりはありません。石狩市民としての自覚をもてるよう意識を高める必要があると思います。
- 高齢者はどこも行く所がないから居るだけ。そんな所に若者が住める分けが無い。住民にアンケートを取らないとわからないのでは？
- 防災無線は1ヶ所では足りない。
- 住宅事情の悪さは前に書いた通りだが、子育てについてもう一つ。この辺の住居に義務でつけなきゃいけないみたいだが、放送のスピーカー。相当広い家でない限り、居間や居間に近いところに付いているので、放送が入ると寝ている子どもが起こされる。赤ん坊の夜間授乳で私もずっと寝不足のため昼寝で補うが（これ母親にもとても大切。育児は体力も使うし）私も起こされる。それでいて放送の内容は至急の知らせでもない。回覧板など音声によるものでないものに至急替えるべき。寝てないと育児に支障をきたします。子供抱っこしてて落としそうになったり。本当子育ての親子にやさしくない。
- 道の駅ができ、厚田が他の地域からも遊びに来てくれるような、又住んでる人にとって利用しやすい拠点になればと思う。道の駅には冬や雨の日でも子供が遊べる施設（八雲の道の駅のパノラマパークのようなところ）があると、集客につながるし、厚田に住む子育て世代も増えるのでは。
- 旬の食べ物や自然環境など厚田で味わえるものがたくさんある。道の駅を通してもっと多くの人に知ってほしい。
- 朝市、海水浴、キャンプ場、こだわり隊など雪のない時期はいろいろありますが、冬は集客できるものがないので……。スキー場の復活（2ヶ月くらいだけ）とか（その中で目玉商品かイベントか何か考える）天気の良い日は星がキレイに見えるところがたくさんあります。天候にもよりますが流星群の観賞会とか（冬もできます）。
- 自然に恵まれ新鮮な農産物、魚介類を食する事が出来るのが良い所。それを使用し特産物を作ることを検討してほしい。
- もう少し厚田をイメージしやすい、他地域からの集客を考えた名産品または、何かしらのパワースポットのような所をピックアップ。海が近いのにその為の海の家的なものが全くない。望来には少しあるが昔のような賑わいがない。
- 先日、偶然「マチュアライフ」という番組を観たら、厚田の道の駅のことが取り上げられていました。厚田が大好きで、厚田以外の場所で暮らしたいと思ったことは一度もなく、いつも厚田のために何かしたいと思っているのに、TVで初めて道の駅のいろいろなことを知った自分にびっくり、そしてがっか

り(笑)。とてもいい内容だったので、「再放送があるから観てー。」と友人知人にお知らせして観てもらいましたが、もっとたくさんの人にお知らせしたかったです。道の駅のオープンが、これからの厚田のターニングポイントになることを願いつつ、私は私にできることを(仕事や SNS を通して)厚田を知ってもらう活動をして行こうと思います。がんばるー!

- 道の駅がどうなるか楽しみでもあり、不安でもあります。頑張ってください。
- 厚田区にある恋人岬がありますが、アニメイベント等の開催をやってほしいと思います。痛車のイベントなど。
- 特に観光客が訪れるところではないので、観光の目玉でもできればと思います。
- 特にないが、道の駅が出来るという事で、それにともなって石狩中心部または札幌市にも車では約 30 分位で行き来も出来、自然も豊かな地域なのでそれぞれ相互にうまく考え、少しでも人々の流れが豊かになればと思う!
- 自然がたくさんで、おいしい野菜やお肉があって大好きです。特に、聚富小中学校から見る札幌の夜景がとてもきれいでお気に入りです。田舎で不便なところもたくさんあるけど、田舎ならではの良さもたくさんあるので、私はいろんな人に自慢したいと思います。
- 厚田区の歴史を大切にすること。
- 芸術的な活動、ライブ、イベント会場の提供がもっと出来たらいいと思います。